

表ヲ製シ翌年三月三十一日限り同省へ送付スヘシ又新ニ鐵道ヲ布設シ若ハ改築シタルトキハ其時時鐵道表ヲ製シ陸軍省へ送付スヘシ

第二十二條 (十九年閣令第十一號ヲ以テ刪除)

第二十三條 (全上)

第二十四條 北海道廳長官府縣知事ハ陸軍省ノ定ムル雜形ニ依リ三箇年毎ニ牛馬車輛及同屬具表及物産收穫表ヲ製シ郡區市長島司ヨリ產出シタル表ト共ニ翌年三月三十一日限り陸軍省へ送付スヘシ(三十一年勅令第三百三十三號ヲ以テ全條改正)

第二十五條 北海道廳長官府縣知事ハ海軍省ノ定ムル雜形ニ依リ工場表ヲ製シ毎年三月三十一日限り海軍省へ差出スヘシ(全上)

北海道廳長官府縣知事ハ海軍省ノ定ムル雜形ニ依リ汽船表ヲ製シ毎年三月三十一日限り(新ニ造リ若ハ新ニ買入タル船舶アル時ハ其時時)海軍省ニ送付スヘシ但シ海軍大臣ハ便宜ニ依リ船舶會社ヲシテ直ニ送付セシムルコトヲ得

第二十六條 徵發令第十二條第二項第六項第七項ニ掲クルモノハ總テ便用ノ爲メニ必用ナル屬具ヲ併セテ供給ス可キモノトス故ニ其屬具ニ對スル賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十七條 徵發令第十二條第六項ニ掲クル船舶中郵便船ニ限り其通信ノ用ニ供スル間ハ之ヲ借切ルコトヲ得ス又出船ノ定期若クハ航路ヲ變シテ微用スルコトヲ得ス

第二十八條 徵發令第十八條中居住者ノ起臥ニ必要ナル場所トハ寢所及ヒ庖厨ヲ指シ營業ニ必要ナル場所トハ商估ノ商舖農工ノ仕事場ヲ言フ又旅店等トハ料理店貸座敷貸厩等ヲ包含ス

第二十九條 宿舍ノ成狭ハ徵發令第十九條ニ從ヒ臨時ニ定ムルモノナリト雖モ戶長ニ於テ賦課ノ際標準ト爲ス可キモノヲ概定スルコト左ノ如シ

一 麻器

陸海軍官憲ヨリ指示スル所ノ室若クハ家屋

二 將官其參謀部ト共ニ 一家屋

三 上長官又ハ同等軍屬一名 一室

四 士官又ハ同等軍屬二名 一室

五 下士又ハ同等軍屬一名 一疊半乃至二疊

六 卒又ハ同等軍屬一名 一疊乃至一疊半

七 徵卒ニ應ジタル人員三名 二疊

第三十條 戶長ハ陸海軍ノ宿割主任官ニ商議シテ便宜ニ宿舍ノ適當ヲ定ム可シ

第三十一條 徵發令第二十一條ニ從ヒ町村ノ便宜ヲ以テ他ニ移轉セシムルコトヲ許サスト雖モ若シ該家ニ病者死者筭アルトキハ戶長他ニ相當ノ宿舍ヲ設ケテ轉移ヲ請求スルコトヲ得但之カ爲メ徵發令第二十二條ニ掲クル日限ヲ更新スルモノニアラス

第三十二條 徵發令第二十二條ニ從ヒ人馬ニ供給ス可キ食飼ノ定量大率子左ノ如シト雖トモ陸海軍給與ノ規則ニ由リ定量以內ヲ以テ臨時ニ變換或ハ減少スルコトアル可シ

一人 精米每食二合 朝夕飯一汁一菜漬物 午飯一菜漬物
二馬 駐軍中 朝大麥二升秣五百日喰糞百五十目 晝秣五百目喰糞百五十目 夕大麥二升秣五百日喰糞二百目
演習及ヒ行軍中 朝大麥二升秣五百目 晝大麥一升 夕大麥二升秣一貫日喰糞五百目

小麥ヲ大麥ニ喰糞ヲ秣糞ニ代用スルトキ朝小麥一升喰糞一貫目 糞小麥五合五夕小麥一升五合喰糞二貫目

搗麥又ハ稗麥ヲ大麥ニ喰糞ヲ秣糞ニ代用スルトキ朝搗麥又ハ稗麥一升喰糞一貫目

糞搗麥又ハ稗麥一升 夕搗麥又ハ稗麥二升喰糞一貫目

第三十三條 宿舍ノ徵發ヲ課セラレタルモノハ室内所要ノ燈火並ニ其地ノ慣用ニ從ヒ地

第三十四條 寢具ノ徵發ニ係ル賠償ハ宿舍ノ賠償金額中ニ包含セス徵發令第四十八條ニ從ヒ賠償ス

第三十五條 宿舍ノ徵發ヲ課セラレタルモノ(公有家屋社寺亦同シ)食餌ニ供ス可キ物品又ハ手傳人不足シ供給シ能ハサルノ證アルトキハ戶長ニ於テ賄ノ受負ヲ立ツル歟若クハ

第三十六條 町村ヨリ供給スル所ノ船舶ニシテ其乘載人馬ニ要スル食餌ノ物品不足スルトキハ戶長ニ於テ其物品ヲ供ス可シ但航海先ニ於テハ本條例第三十七條ニ准シテ處分

第三十七條 會社ヨリ供給スル所ノ船舶ニシテ其乘載人馬ノ食餌ヲ供給スルコト能ハサルヲ證明スルトキハ現品ヲ官給シ其費用ハ賠償金ヲ以テ差引ヲ立ツ可シ

第三十八條 食餌ノ定貨ナキ船舶ヲ徵用シ般主船長ヲシテ其食餌ヲ供給セシムルトキハ陸海軍官憲ニ於テ其時時賠償金額ヲ定ム可シ其借切トシテ徵用シタルトキ亦同シ

第三十九條 徵發物件ノ差出場所ハ各徵發區内ニ設ケルヲ定例トス時宜ニ依リ徵發區域外ニ設ケルコトヲ得(明治二十三年勅令第九十六號ヲ以テ改正)

第四十條 徵發區ハ徵發令第三十條ニ從ヒ徵發物件ヲ差出場所ニ輸送スルノ義務アルヲ以テ之カ爲メニ生シタル費用ハ其區ノ負擔トス可キモノトス

第四十一條 郡區長ハ徵發人馬ノ供給ヲ便宜ニセンカ爲メ豫テ隣郡區長ト商議シ近傍町村ヲ適宜ニ割合セ組合町村ヲ定ムルヲ得

第四十二條 賠償金請求ノ月日及ヒ場所ハ供給ヲ受ケシ陸海軍官憲ヨリ之ヲ其府知事(縣令)郡區長戶長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ニ指示スヘシ

第四十三條 府知事(縣令)郡區長戶長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ハ附錄第六號ノ例ニ准シ賠償金計算書ヲ調製シ陸海軍官憲ヨリ交付ノ受領證票ヲ添ヘ其請求ヲ爲ス可シ但徵發令第三十六條及ヒ第三十八條ニ掲クルモノアルトキハ其計算書ニ別項ヲ設ケテ差引ヲ立ツ可シ又評價ニ屬スル件目ノ賠償ハ別途ニ支給スルヲ以テ該件目ニ就テハ評價ノ二字ヲ記載スヘシ

第四十四條 徵發令第三十一條ニ定ムル三箇月ノ期限ハ受領證票ヲ交付シタル月ヨリ起算ス但陸海軍官憲ヨリ指示セシ請求ノ月日若クハ場所ヲ其請求者ニ於テ誤リタル爲メ又ハ賠償金計算書ノ違算若クハ不合式ニ依リ推問往復ノ爲メニ消費シタル時日ハ算入セス

第四十五條 徵發令第十二條第二項及第三項ノ徵發ニ係ルモノヲ終日若クハ連日使用スルトキ及ヒ六里以外ノ地ニ使用スルトキハ日割ヲ以テ賠償シ其他ノ場合ニ於テハ里程ニ應シテ賠償ス若シ差出場所ニ集合シタルモノ官ノ都合ニテ不用トナリタルトキハ日割ヲ以テ賠償フヘキモノハ半日分ヲ給シ里程ニ應シテ賠償スヘキモノハ其半額ヲ給ス

第四十六條 徵發物件ノ毀損シタルトキハ徵發令第三十三條ニ從ヒ其使用ヲ主管スル陸海軍官憲ニ届出可シ若シ引渡ヲ受ケタル後毀損ヲ發見セシトキハ其引渡ヲ爲セシ陸海軍官憲ニ届出可シ其官憲既ニ出發セシトキハ月長ニ届出可キモノトス

第四十七條 毀損ノ届出ヲ受ケタル陸海軍官憲ハ直ニ之ヲ調査シ其毀損果シテ使用ヨリ生シタルモノト檢定シタルトキハ其賠償金額ニ就キ供給者ト商議ス可シ若シ調和セサルトキハ評價委員ニ付ス可シ

月長若シ毀損ノ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ檢査シ其調査書ヲ作り(供給者ノ請求金額アルモノハ之ヲ添フ)其關係ノ陸海軍官憲ニ差出ス可シ但調査書ニハ毀損ノ事由實況並ニ請求金額ニ係ル自己ノ意見ヲ記スヘシ

第四十八條 徵發令第三十三條ニ掲クル期日ヲ超エタル届出ハ之ヲ受理ス可カラズ但變災厄難ニ罹リタルノ確證アルモノハ其變災厄難ヲ免レタル時ヨリ期日ヲ算ス可シ

第四十九條 徵發令第三十四條ニ從ヒ北海道廳府縣知事ハ陸軍省海軍省協議ノ上定ムル難形ニ依リ其管下市場三ヶ所以上ノ前三年間ノ平均物價表ヲ調製シ毎年三月三十一日限リ陸海軍省ニ差出スヘシ(三十一年勅令第三百三十三號ヲ以テ改正)

第五十條 徵發令第三十五條中平常ノ賃價トアルハ戰時若クハ事變ニ際シテハ勿論演習又ハ行車ノ際ニ於テモ之カ爲メ臨時ニ騰貴セサル以前ノ賃價ヲ言フ

徵發令中平常ノ賃價トアルモノハ皆此例ニ依ル

第五十一條 徵發令第三十五條及ヒ第三十八條ニ掲クル平常ノ賃價展貸借貸ハ郡區長確認ノ上供給ヲ受クル所ノ陸海軍官憲ニ申出可シ

其他徵發令中ニ掲クル平常ノ賃價損料及ヒ代價ハ月長ヨリ陸海軍官憲ニ申出可シ

第五十二條 徵發令第三十九條ニ從ヒ陸海軍省ニ於テ定ムヘキ所ノ賠償金ハ兩省同額タル可シト雖モ本條例第三十二條ニ從ヒ臨時ニ食糧ノ定量ヲ變換若クハ減少スルニ於テハ其現量ニ從ヒ賠償ス可シ

第五十三條 徵發令第四十二條中航泊實費トハ石炭油脂其他日用消耗品ノ航泊中現ニ消耗シタルモノノ代價ニシテ其物品ヲ船舶ニ積入タルトキノ現價ニ依リ計算ス可キモノトス

第五十四條 徵發物件ノ毀損其使用ノ爲メニ非ラサルモノ及ヒ操業者ノ過失ニ出ルモノハ賠償セス但船舶ヲ借切トシテ徵用シタルトキ並ニ物件ヲ操業者ト分別シテ徵用シタルトキノ毀損ハ總テ之ヲ賠償ス

第五十五條 評價委員ハ陸軍省若クハ海軍官憲二名徵發區ニ從ヒ府縣郡區吏員若クハ月長一名及ヒ其町村(評價ヲ爲ス場所)ノ住民ニシテ其事件ニ熟達シタルモノ(若シ熟達シタルモノナキトキハ他町村ノ住民ヲ用ユルモ妨ケナシ)二名若クハ四名ヲ以テ編制シ其評價ハ多數ニ依テ決ス

鐵道會社船舶會社ニ屬スルモノ及ヒ大演習ノ爲メニ生シタル地所ノ損害ニ係ル評價委員ハ陸軍省若クハ海軍官憲二名府縣吏員一名及ヒ其事件ニ熟達シタル人民二名若クハ四

名ヲ以テ編制ス

第五十六條 評價委員ニ撰用ス可キ人民ハ其事件ニ關係ナキモノニシテ地方吏員若クハ戸長ニ於テ撰舉ス可キモノトス

其撰舉セラレタルモノハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ辭スルヲ得ス

第五十七條 其撰舉セラレタルモノニハ陸軍若クハ海軍ヨリ該府縣會議員ト同一ノ旅費日當ヲ給ス可シ

第五十八條 評價ノ爲メ府縣郡區吏員若クハ戸長ノ派出ヲ要スルトキハ其事件ニ關係ノ陸海軍官憲ヨリ之ヲ府知事(縣令)郡區長若クハ戸長ニ通達ス可シ

第五十九條 評價ノ方法ハ評價ス可キモノノ種類ニ從ヒ精密ニ調査シ其價額ヲ評定スルヲ要トス左ニ地所損害ニ關スル評價ノ一例ヲ掲ク

演習ノ爲メ地所ノ損害ヲ届出タルトキハ評價委員ニ於テ實況ヲ查覈シ其請求スル所ノ賠償金額ノ當否ヲ審ニシ相當ナルトキハ直ニ之ヲ認可シ若シ其請求ノ金額定マラス或ハ過當ナリト認ムルトキハ實測スヘシ

評價委員ハ評價畢ルノ後左ニ掲クル要目ニ准シ所有主毎ニ評價明細書ヲ製ス可シ

- 一 評價ノ事項及ヒ事由
- 二 委員ノ氏名
- 三 地面ノ廣袤ハ何ヲ定メタルヤ(何圖面何番類ニ依リタル歟又ハ實測シタル歟)金額ノ算出ハ如何ナル方法ニ依リタルヤ(其季ノ收穫皆無タルニ依リ其植物ノ前何年平均ヲ以テ賠償金ヲ定メタル歟其損害ノ度幾分ニ止マリ其幾分ニ係ル賠償金額ヲ全部收穫ノ前何年平均額ヨリ算出シタルカ植物生熟ノ度ニ從ヒ其平均收穫量ニ應シ

賠償スヘキ金額中ヨリ幾分ノ手間賃及ヒ肥料ヲ扣除シタル歟又永存ノ草木ニシテ毎年收穫アルモノノ損害ヲ受ケタルトキハ其損害ノ收買ニ止マルト枝幹ニ係ルモノトニ從ヒ一年若クハ幾年分ノ收穫ヲ見込ミ賠償金額ヲ定メタル歟ノ類)

第六十條 評價委員ハ評價明細書ヲ製シ府知事(縣令)郡區長若クハ戸長ニ交付スヘシ府知事(縣令)郡區長若クハ戸長ハ其明細書ニ依リ賠償金計算書ヲ作り陸海軍官憲ノ指示ニ就テ賠償金額ヲ請求ス可シ

(附錄書式諸表雜形異ス)

十九年閣令第十一號ヲ以テ附錄第三號第五號及第七號雜形ヲ改正シ第四號雜形ヲ刪除ス、同閣令第二十九號ヲ以テ第四號表ヲ補填ス、三十一年勅令第三百三十三號ヲ以テ附錄第三號ノ一附錄第三號ノ二附錄第三號ノ三附錄第四號ノ一附錄第四號ノ二附錄第四號ノ三附錄第五號ノ一附錄第五號ノ二附錄第五號ノ三及附錄第七號ヲ廢止ス、三十一年陸軍省令第十八號ヲ以テ條例第二十一條第二十四條及第四十九號諸表ノ雜形ヲ定ム、三十二年海軍省令第四號ヲ以テ條例第二十五條諸表ノ雜形ヲ定ム

徵發費用意納者處分並ニ其費用ニ關シ出訴方 (明治十六年八月第三十一號布告)
徵發令ニ依リ負擔ス可キ費用ノ意納者ハ(明治十年十一月)第七十九號布告ニ依リ處分ス可シ但財産公賣ノ際買受人ナキトキハ徵發區ニ没入シ不足金アルトキハ其區ノ損失ニ歸ス(明治二十二年十二月法律第三十二號ヲ以テ國稅滯納處分法ヲ制定シ明治十年十一月第七十九號布告ハ廢止ス)

右費用ニ關スル處分ニ就キ不服アル者ハ明治十五年五月第二十二號布告ニ依ル可シ
●徵發令第十二條ノ馬匹車輛並屬具等員數取調差出方 (明治二十年十二月陸軍省)訓令甲第十五號

徵發令第十二條第二項ノ馬匹車輛並ニ屬具員數取調ノ條昨十九年十二月訓令甲第二號ニ基キ既ニ本年二月迄ニ各府縣ヨリ所管鎮臺ヘ差出シタル諸表中其員數ノ増減ハ來ル二十年ヨリ毎年二月迄日迄ニ無遲滯所管鎮臺ヘ申報スヘシ
但車輛ニ關スル増減ハ別ニ申報スルヲ要セス

(參照)

○陸軍省訓令(明治十九年十二月甲第二號)徵發令第十二條第二項ノ乘馬馱馬駕馬車輛並ニ屬具員數入用候條左ノ項目ニ依リ取調左ノ書式ノ表面ヲ製シ來二十年二月二十八日迄ニ無遲滯所管鎮臺ニ差出スヘシ

但徵發令第十四條並ニ乘馬飼養令ニ據リ飼養スル馬匹ハ調査ヲ要セス

第一 馬匹(乘馬馱馬馱馬耕馬)ハ來二十年々齡五歲以上十六歲未滿ノモノニシテ第二項ヨリ第四項ニ適當ノ者ヲ合格トシ其他ノ者ヲ不合格トシ調査スヘシ

但年齡ハ生年チ一歲トシテ計算スヘシ

第二 乘馬ハ身幹四尺五寸(曲尺)以上ニシテ現在乘馬ニ役スルモノ又ハ曾テ乘馬ニ役セシ者ヲ算入スヘシ

第三 馱馬ハ身幹四尺三寸以上ニシテ現在馱馬ニ役スルモノ又ハ曾テ馱馬ニ役セシ者ヲ算入スヘシ

但現在耕馬ニ役スルモノ又ハ曾テ耕馬ニ役スルモノハ本項ノ馱馬ニ算入スヘシ

第四 駕馬ハ身幹四尺五寸以上ニシテ現在駕馭ニ役スルモノ又ハ曾テ駕馭ニ役セシ者ヲ算入スヘシ

第五 車輛ハ二輪又ハ四輪ノ人乘馬車荷馬車(馬ヲ駕シ得ルモノハ總テ含有ス)ニ限ル又器

具完全ニシテ數日ノ運轉ニ耐ユルモノヲ甲トシ器具完全ナラサルモノ一時ノ用ニ供シ得ヘキモノヲ乙トシ調査スヘシ

第六 屬具ハ挽具馱鞍(附屬繩共)ニ限ル又其材料完全ニシテ數日間ノ使用ニ耐ユルモノヲ甲トシ材料完全ナラサルモノ一時ノ用ニ供シ得ヘキモノヲ乙トシ調査スヘシ

●徵發事務條例中徵發物件表取調送付方 (明治二十三年九月陸軍省訓令甲第十五號)

今般勅令第九十六號ヲ以テ徵發事務條例第二十四條改正ニ依リ三年毎ニ徵發物件表ヲ製シ翌年三月三十一日限リ陸軍省ニ送付スルハ本年十二月調ヲ以テ第一回トシ二十五年十二月調ヲ以テ第二回トシ自後之ニ準スル儀ト心得ヘシ
但條例第二十一條ニ依リ郡區長ニ於テ製表ノ儀モ毎年調製ヲ要セス本文同様ノ儀ト心得ヘシ

●馬匹徵發事務細則 (明治三十二年十月二十六日陸軍省令第三十一號)

第一章 總 則

第一條 本則ハ動員ノ爲メ師團ニ於テ行フ馬匹徵發ニ關スル準備及實施ノ事務ヲ規定スルモノトス

第二條 馬匹ノ徵發ハ附表ニ示ス徵馬管區ニ從テ之ヲ行フ

第三條 徵馬管區内ノ地方官衙公署ニ於ケル馬匹徵發ニ關スル準備及實施ノ事務ハ本則ニ依ルノ外尙ホ當該管區ヲ管轄スル師團長ノ規定スル所ニ從フヘシ

第四條 師團長ハ徵發馬匹差出場所ニ於テ馬匹ノ検査ヲ爲シ且該所ニ於ケル徵發及輸送ノ事務ヲ掌ラシムル爲メ馬匹徵發委員ヲ設ケ又徵發馬匹輸送途中ニ於ケル宿泊及給養ノ事務ヲ掌ラシムル爲メ馬匹給養委員ヲ設ケルモノトス

第五條 徵發馬匹ヲ其差出場所ヨリ到着地ニ輸送スル爲メニハ馬匹ノ操業者ヲ徵用スルモノトス

第六條 馬匹徵發ノ實施ニ關シ官衙公署間送ニ發送スル文書ノ封筒ハ動員用封筒(第一様式)ヲ用井之ヲ受領シタル者ハ其封筒ニ受領時刻ヲ記入シ受領證區畫ニ捺印ノ上之ヲ返附スヘシ其本人ニ代テ受領シタル者ハ受領證區畫ニ氏名ヲ記シ捺印スヘシ

第七條 本則中到着地トアルハ徵發馬匹ヲ受領スル部隊ノ所在地ヲ謂フ

第八條 本則中地方官トアルハ東京府ニ在テハ警視總監ヲ警察署長トアルハ警察分署長ヲ村長トアルハ戸長及之ニ準スヘキ者ヲ包含シ又市長トアルハ東京市京都市大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長ニ郡長トアルハ北海道ノ郡ニ在テハ支廳長ニ對馬ニ在テハ島司ニ該當ス

市トアルハ東京市京都市大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區ニ該當ス

第二章 徵發準備

第九條 師團長ハ定期若ハ臨時ニ地方官衙公署ニ於ケル馬匹徵發準備ノ整否ヲ閱視シ又ハ部下將校ヲシテ閱視セシム

第十條 地方長官ハ師團長ヨリ徵發馬匹差出場所及同宿泊所表ヲ受クレンハ直ニ之ヲ差出場所若クハ宿泊所ヲ設置スヘキ地ヲ管轄スル郡市長(東京市京都市大阪市ニ在テハ市長ヲ經テ)及警察署長ニ達スヘシ

第十一條 地方長官ハ徵發馬匹差出場所及同宿泊所ノ設備ニ關シ師團長ヨリ要求アルトキハ其準備ヲナスヘシ

第十二條 憲兵隊長ハ師團長ヨリ徵發馬匹差出場所及同宿泊所表ヲ受クレンハ直ニ警察署

長ト協議ノ上該所ニ於ケル取締ニ關シ必要ノ準備ヲナスヘシ

第十三條 警察署長ハ地方長官ヨリ第十條ノ達ヲ受クレンハ憲兵隊長ト協議ノ上其取締ニ關シ必要ノ準備ヲナスヘシ

第十四條 郡長ハ師團長ヨリ徵發馬匹配當及差出日割表ヲ受クレンハ直ニ馬匹調査及檢査施行規則第四條ニ規定スル馬匹調査表ニ依リ徵發スヘキ馬匹ヲ町村ニ配當シ(爾後要スレハ同規則第七條ニ規定シタル馬匹出入表ニヨリ之ヲ變更ス)何時ニテモ迅速確實ニ師團長ノ指定スル期日ニ於テ其指定ノ馬數ヲ差出シ得ヘキ準備ヲナスヘシ

第十五條 市長ハ師團長ヨリ徵發馬匹配當及差出日割表ヲ受クレンハ直ニ馬匹調査及檢査施行規則第三條ニ規定スル馬匹現在届書又ハ馬匹出入届書ニ依リ差出スヘキ馬匹ヲ條定シ何時ニテモ迅速確實ニ師團長ノ指定スル期日ニ於テ其指定ノ馬數ヲ差出シ得ヘキ準備ヲナスヘシ

第十六條 郡市長ハ師團長ヨリ馬匹徵發書ヲ受クレンハ確實ニ之ヲ保管スヘシ但此徵發書ハ師團動員發令ノ時ヨリ初メテ其効力ヲ有スルモノトス

第十七條 郡市長ハ馬匹ノ異動ニ依リ師團長ヨリ指定ノ馬數ヲ差出ス能ハサルコトヲ豫知シタルトキハ速ニ其旨ヲ師團長ニ申告シ其指示ヲ請クヘシ

第十八條 郡市長ハ師團長ノ要求ニ依リ徵發馬匹差出場所及同宿泊所ノ設備ニ要スル費用ノ豫算其他馬匹徵發ニ關スル準備ノ爲メ所要ノ調査ヲナスヘシ

第十九條 馬匹徵發ニ關シ郡役所ニ於テハ町村徵發馬匹配當書類町村徵發馬匹差出場所到着ノ日割書類及動員用封筒ヲ市役所及町村役場ニ於テハ動員用封筒ヲ準備シ置クヘシ

第三章 徵發實施

- 第二十條 馬匹ノ徵發ハ當該師團動員發令ノ時ヨリ實施スヘキモノトス
- 馬匹ノ徵發スル郡市若クハ徵發馬匹差出場所又ハ同宿泊所ノ設置スヘキ郡市ニ在テハ徵馬管區ヲ管轄スル師團長ヨリ動員令ヲ當該地方長官及郡市長ニ通達スヘシ
- 第二十一條 地方長官ハ師團長ヨリ動員令ノ通達ヲ受ケレハ直ニ之ヲ警察署長ニ達スヘシ
- 第二十二條 憲兵隊長ハ師團長ヨリ動員令ノ通達ヲ受ケレハ直ニ之ヲ部下ニ達シ豫定ノ計畫ニ從ヒ憲兵ヲ徵發馬匹差出場所及同宿泊所ニ派遣シ馬匹徵發委員及馬匹給養委員ノ常駐市町村ト協議ノ上其取締ニ關シ相當ノ處置ヲ爲サシムヘシ
- 第二十三條 警察署長ハ地方長官ヨリ動員令ノ通達ヲ受ケレハ直ニ之ヲ部下ニ達シ豫定ノ計畫ニ從ヒ警察官吏ヲ徵發馬匹差出場所及同宿泊所ニ派遣シ馬匹徵發委員及馬匹給養委員並ニ當該市町村長ト協議ノ上其取締ニ關シ相當ノ處置ヲ爲サシムヘシ
- 第二十四條 郡市長ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官(第二十條第二項ニ當ル郡市ニ在テハ師團長)ヨリ動員令ノ通達ヲ受ケレハ其違書ニ指示スル動員ノ區分ト豫テ保管スル馬匹徵發書ニ記スル所ノ馬匹ノ員數(此員數若シ徵發馬匹配當及差出日割表ニ記セル員數ト差違アルトキハ徵發書ニ示ス所ニ依ルトニ基キ郡長ニ在テハ直ニ馬匹ノ配當及徵發馬匹差出場所到著日割ヲ町村長ニ達シ市町村長ニ在テハ徵發スヘキ馬匹ノ所有者ニ達スヘシ)
- 第二十五條 郡市長ハ前條徵發馬匹差出場所到著日割ヲ定ムルニハ第十四條ニ示ス徵發馬匹差出場所到著日割表ノ日次ヲ動員令ニ指定スル動員第一日ヨリ起リ曆日ニ換算シ

ヲ定ムヘシ

- 第二十六條 郡市長ハ第二十四條及第二十五條ノ手續ヲ終ルトキハ直ニ徵發馬匹出場所ノ調製シタルモノヲ其儘應用ス(之ヲ携ヘテ徵發馬匹ノ到著期日前ニ其差出場所ニ到著シ其一通ヲ馬匹徵發委員長ニ差出シ當該郡市徵發馬匹ノ検査ニ立會フヘシ)
- 第二十七條 郡市長ハ馬匹徵發委員長ヨリ検査ニ合格シタル馬匹ノ爲メ徵發馬匹受領證票(第三機式)ヲ受ケレハ其乙號ハ自ラ之ヲ保管シ丙號ハ馬匹所有者ニ交付スヘシ
- 第二十八條 徵發馬匹差出場所若クハ同宿泊所ヲ設置スヘキ地ヲ管轄スル郡市長ハ師團長若クハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ動員令ノ通達ヲ受ケレハ豫定ノ計畫ニ從ヒ直ニ其設備ニ著手シ當該委員到著スルハ尙ホ之ト協議ノ上速ニ其完成ヲ期スヘシ
- 第二十九條 郡市長ハ徵發令ニ依リ前給ヲ要スル貨價ハ馬匹徵發委員長ニ徵發馬匹買上代換業者徵發賃金及徵發區外ニ於ケル輸送賃金其他賠償ニ關スル金額ハ當該師團司令官ニ請求スヘシ但馬匹買上代ノ請求書ニハ乙號ノ徵發馬匹受領證票ヲ添フヘシ
- 第三十條 徵發馬匹差出場所若クハ同宿泊所ノ設備ヲ擔任スル郡市長ハ其費用ヲ當該委員長ニ請求スヘシ
- 第三十一條 馬匹徵發ノ違ヲ受ケタル馬匹ノ所有者若クハ其代理者ハ馬匹ヲ牽連レ出發シ二十四時間ニ陸路約十里ノ割合ヲ以テ旅行シ市町村長ノ指定スル徵發馬匹差出場所到著期日ノ午前六時ヨリ午後六時迄ノ間ニ差出場所ニ到著シ當該郡市長ニ届出ツヘシ
- 第三十二條 馬匹徵發ノ違ヲ受ケタル馬匹ノ所有者其馬匹疾病ノ爲メ徵發ニ應スル能ハサルトキハ違ヲ受ケタル時ヨリ二十四時間以内ニ憲兵若クハ警察官吏ノ證明書ヲ以テ

- 一 徵發馬匹出場名簿ノ上何地トハ差出場所ノ地名ヲ指ス
 - 二 検査ノ成績トハ徵發委員ノ檢定セシ結果即チ合否ヲ記入スルモノトス
 - 三 徵發區ノ境界ヨリ差出場所ニ至ル里程ハ馬匹所有者ノ居住町村ヨリ差出場所ニ至ル距離ニ就キ調査シ一町未満ノ間數ハ除算スヘキモノトス
 - 四 用紙ハ郵紙
- 第三様式

徵發馬匹受領證票

甲號 何第何號

馬匹所有者住所氏名	
操業者住所氏名	
性用役及等級	
徵發月日	

買上代

明治年月日

何市(町)(村)ニ於テ
何師團馬匹徵發委員長
官 氏 名 印

師團司

令部印

徵發馬匹受領證票

乙號 何第何號

馬匹所有者住所氏名	
操業者住所氏名	
性用役及等級	
徵發月日	
買上代	

明治年月日

何市(町)(村)ニ於テ

何師團馬匹徵發委員長
官 氏 名 印



徵發馬匹受領證票

丙號

馬匹所有者住所氏名	
操業者住所氏名	
性用役及等級	
徵發月日	
買上代	
明治年月日	

何市(町)(村)ニ於テ
何師團馬匹徵發委員長
官 氏 名 印

一 番號ハ徵發馬匹番號札ノ番號ヲ記入スルモノトス
二 性用役及等級ノ區畫ニハ徵發馬匹番號札ノ牡(牝)乘(挽)駄(駄)及甲(乙)(丙)ヲ記入スルモノトス

徵馬管區表

師團管	近 衛		第 一				第 二		
	府	縣	東 京	群 馬	埼 玉	新 潟	宮 城	福 島	
郡	市	區	悉皆	悉皆	北葛飾、南埼玉、北足立	北埼玉、大里、兒玉、比企、入間、秩父、	岩船、東蒲原、西蒲原、北蒲原、中蒲原、佐土、新潟市、	牡鹿、桃生、遠山、志田、玉造、加美、黒川、宮城、名取、柴田、刈田、伊具、互理、仙臺市	悉皆

第 四										第 三					
同	茨	三	滋	和	奈	兵	大	京	山	長	靜	三	愛	神	
山	城	重	賀	歌	瓦	庫	阪	都	梨	野	岡	重	知	奈	
阿賀、碧多、上房、川上、賀陽、都宇、窪谷、下道、淺口、小田、後月、	悉皆	阿山、名賀	悉皆	悉皆	悉皆	津名、三原	北河内、南河内、中河内、月成、泉北、泉南、大阪市、堺市、	愛宕、葛野、宇治、紀井、乙訓、久世、綴喜、相樂、京都市	悉皆	上伊那、下伊那、四筑摩、諏訪南佐久、北佐久、小縣、埴科、上高井、下高井、上水内、下水内、長野市	悉皆	桑名、員辨、三重、鈴鹿、河越、安濃、一志、飯南、多紀、會度、志摩、北牟婁、南牟婁、津市、四日市市	悉皆	鎌倉、高座、中、足柄上、足柄下、茅甲、津久井、久良岐、梅樹、都筑、横濱市	悉皆

第 八				第 七	第 六				第 五				
宮	殿	山	秋	青	北	宮	鹿	熊	長	大	山	島	廣
山	手	形	田	森	海	崎	島	本	崎	分	口	根	島
悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆	道	悉皆	悉皆	玉名、飽託、上益城、下益城、宇土、天草、八代、球磨、熊本、熊本市	悉皆	大分、北海部、速見	悉皆	悉皆	悉皆

第九		第十					第十一		
石川	悉皆	兵庫	鳥取	岡山	福井	栃木	徳島	香川	愛媛
岐阜	悉皆	出石、城崎、美方、養父、朝來、水上、多紀、川邊、有馬、武庫、明石、美濃、加古、加東、加西、多可、印旛、神崎、飾磨、赤松、揖保、佐用、赤穂、神戸市、姫路市	悉皆	吉野、英田、和氣、勝北、勝南、磐梨、邑久、東北條、東南條、四西條、西北條、久米南條、久米北條、大庭、真島、赤阪、津高、上道、兒島、御野、岡山市	三方、遠敷、大飯	悉皆	悉皆	悉皆	悉皆
長野	北安曇、南安曇、更級、東筑摩	京都	大阪	新潟	三島、豊野、西成	北桑田、南桑田、船井、加佐、天田、何鹿、與謝、竹野、中、熊野	三島、刈羽、中魚沼、東頸城、四頸城、中頸城、古志、南蒲原、北魚沼、南魚沼		
福井	大野、阪井、吉田、足羽、丹生、今立、南條、敦賀、福井市								
大分	東國東、西國東、宇佐、下毛、日田、玖珠、直入、大野、南海部								
熊本	菊池、阿蘇、鹿本								

●馬匹ノ調査及検査ニ關スル件 (明治二十九年四月法律第六十六號)

- 第一條 戦時若ハ事變ノ際軍馬ノ補給ヲ確實ナラシムル爲馬匹ノ調査及検査ヲ行フ
- 第二條 馬匹ノ調査ハ島司、郡市長村長之ヲ行ヒ其ノ検査ハ陸軍官憲之ヲ行フ但シ検査ハ一年一回ヲ越ユルコトナシ
- 第三條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ調査ニ必要ナル事項ヲ届出ヘシ
- 第四條 馬匹ノ所有者ハ指定ノ検査場ニ於テ馬匹ノ検査ヲ受クヘシ
- 第五條 馬匹ノ検査ヲ受ケタル馬匹所有者ニハ手當及旅費ヲ給ス
- 第六條 徵發令ニ依リ徵發ノ免除ヲ受クヘキ馬匹ニハ此ノ法律ヲ適用セス
- 第七條 馬匹ノ調査及検査ヲ行フヘキ區域、時期、馬匹ノ種類、第三條ノ届出事項及第四條ノ手當、旅費ノ金額ニ關スル規程並此ノ法律施行ノ爲必要ナル規程ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附則

第七條 東京市、京都市、大阪市ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市長ノ職務ハ區長之ヲ行フ

市制、町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ此ノ法律ニ規定シタル市長村長ノ職務ハ區長、戸長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第八條 此ノ法律ハ明治三十年四月一日ヨリ施行ス

●馬匹調査及検査施行規則 (明治三十年二月(陸軍省令第四號)(明治三十二年十月陸軍省令第三十號ヲ以テ本則中改正)

第一條 馬匹ノ所有者ハ毎年十一月一日(北海道ニ在テハ九月一日)調ヲ以テ馬匹ノ現在届書(第一號書式若ハ第二號書式)ヲ同日ヨリ十日(北海道ニ在テハ二十日)以内(到達ノ期ヲ指ス以下同シ)ニ現住地ノ市町村長ニ差出スヘシ

第二條 馬匹ノ所有者ハ其ノ馬匹ニ出(讓渡シ、死亡シ、撲殺シ、屠殺シ、失踪シ若ハ飼養所ヲ現住ノ市町村外ヘ轉シ又ハ徵發免除ノ資格ヲ得タルトキヲ謂フ)入(讓受ケ、出生シ踪跡ヲ發見シ若ハ飼養所ヲ現住ノ市町村内ニ轉シ又ハ徵發免除ノ資格ヲ失ヒタルトキヲ謂フ)アルトキハ其ノ都度十日(北海道ニ在テハ二十日)以内ニ該馬匹ノ出届書(第三號書式)若ハ入届書(第四號書式)ヲ現住地ノ市町村長ニ差出スヘシ但馬匹ヲ引連レ住所ヲ他ノ市町村ニ轉シタルトキハ舊住地ノ市町村長ニハ該馬匹ノ出届ヲナシ新住地ノ市町村長ニハ該馬匹ノ入届ヲナスモノトス

第三條 市町村長馬匹ノ現在届書ヲ受領シタルトキハ其ノ普通ノ所有者ニ屬スル分ト營

業所有者(馬匹ノ賣買ヲ營業トスル者ヲ謂フ)ニ屬スル分トニ分類シ且左ノ部別ニ依リ級リ置クヘシ

- 同 牡五歳以上乗馬向ノ部
- 同 同 鞍馬向ノ部
- 同 同 駄馬向ノ部
- 同 牡四歳以下乗馬向ノ部
- 同 同 鞍馬向ノ部
- 同 同 駄馬向ノ部
- 同 同 用役未定ノ部
- 同 牝五歳以上乗馬向ノ部
- 同 同 鞍馬向ノ部
- 同 同 駄馬向ノ部
- 同 牝四歳以下乗馬向ノ部
- 同 同 鞍馬向ノ部
- 同 同 駄馬向ノ部
- 同 同 用役未定ノ部

市町村長馬匹ノ出入届書ヲ受領シタルトキハ其ノ出ニ屬スル分ト入ニ屬スル分トニ區分ヲ立テ且前項ノ分類及部別ニ依リ綴リ置クヘシ

第四條 町村長ハ馬匹ノ現在届書ニ依リ馬匹調査表(第五號書式)ヲ調製シ毎年十一月二十五日(北海道ニ在テハ十一月二十日)迄(到達ノ期ヲ指ス以下同シ)ニ郡長ニ差出スヘシ

- 郡長ハ町村長ヨリ差出シタル馬匹調査表ニ依リ其郡内一般ニ渉ル馬匹調査表(第五號書式)ニ通テ調製シ毎年十二月十日(北海道ニ在テハ十二月十日)迄ニ微馬管區(馬匹徵發事務細則附表ヲ謂フ以下同シ)内ノ師團長ニ差出スヘシ
- 第五條 市長ハ馬匹ノ現在届書ニ依リ馬匹調査表(第五號書式)ニ通テ調製シ毎年十二月十日迄ニ微馬管區内ノ師團長ニ差出スヘシ
- 第六條 師團長第四條第二項及第五條ノ馬匹調査表ヲ受領シタルトキハ其ノ一通ヲ軍馬補充部木部長ニ送付スヘシ
- 第七條 町村長ハ馬匹ノ出入届書ニ依リ毎年三月一日、六月一日及七月一日(北海道ニ在テハ一月一日及五月一日)調テ以テ馬匹出入表(第六號書式)ヲ調製シ當月十五日(北海道ニ在テハ當月盡日)迄ニ郡長ニ差出スヘシ
- 郡長ハ町村長ヨリ差出シタル馬匹出入表ニ依リ其ノ郡内一般ニ渉ル馬匹出入表(第六號書式)ヲ調製シ翌月一日(北海道ニ在テハ翌月二十日)迄ニ微馬管區内ノ師團長ニ差出スヘシ
- 第八條 市長ハ馬匹ノ出入届書ニ依リ毎年三月一日、六月一日及七月一日(北海道ニ在テハ一月一日及五月一日)調テ以テ馬匹出入表(第六號書式)ヲ調製シ翌月一日(北海道ニ在テハ翌月二十日)迄ニ微馬管區内ノ師團長ニ差出スヘシ
- 第九條 市町村長馬匹出入表ノ調製ヲ了ルトキハ其ノ都度第三條第一項ノ届書綴及第二項ノ入届書綴中ヨリ其ノ出ニ屬シタル馬匹ノ届書ヲ訂正若ハ除去シ尙ホ入届書ニ殘餘アルトキハ第一項ノ届書綴ニ編入スヘシ
- 第十條 馬匹検査ハ師團長委員ヲ設ケテ其ノ微馬管區内ニ之レヲ行フ

- 第十一條 馬匹検査場ハ検査ヲ受ケヘキ馬匹ノ所在地ヨリ該検査場ヘ一日間ニ往復シ得ル區域毎ニ一箇所トシ郡市長ノ下調ニ依リ師團長之レヲ定ム但一所ニ多數ノ馬匹ヲ置ク者アルトキハ別ニ其ノ馬匹ノ所在地ヲ以テ検査場ニ充ツルコトヲ得
- 第十二條 師團長馬匹ノ検査ヲ行ハントスルトキハ豫メ其ノ時期馬匹ノ區別一日間ノ検査馬數其ノ他必要ノ事項ヲ郡市長ニ達スヘシ
- 第十三條 郡市長第十二條ノ達ヲ受ケタルトキハ馬匹調査表若クハ最近馬匹出入表ニ依リ馬匹下調表(第七號書式)ヲ調製シ師團長ニ差出スヘシ
- 第十四條 師團長ハ馬匹検査ノ計畫既ニ成ルトキハ馬匹検査場ノ位置検査ヲ行フヘキ馬匹ノ區別馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ町村ノ日割日々検査ヲ行フヘキ馬匹ノ概數其ノ他必要ノ事項ヲ郡市長ニ達スヘシ
- 第十五條 郡長第十四條ノ達ヲ受ケタルトキハ馬匹検査場ノ位置検査ヲ受ケヘキ馬匹ノ區別馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ町村ノ日割日々検査ヲ受ケヘキ馬匹ノ概數其ノ他必要ノ事項ヲ町村長ニ達スヘシ
- 町村長前項ノ達ヲ受ケタルトキハ検査ヲ受ケヘキ馬匹ノ所有者若ハ總代人又ハ管理人ヲ調ヘ其ノ馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘキ日割ヲ定メ馬匹検査場ノ位置其ノ他必要ノ事項ト共ニ該所有者若ハ總代人又ハ管理人ニ通知スヘシ
- 町村長前項ノ通知ヲ爲シタル後新ニ検査ヲ受ケヘキ馬匹ノ所有者若ハ總代人又ハ管理人トナリタル者アルトキハ其ノ都度同様ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第十六條 市長第十四條ノ達ヲ受ケタルトキハ第十五條第二項第三項ト同様ノ手續ヲ爲スヘシ

第十七條 市長ハ第十四條町村長ハ第十五條第一項ノ達ヲ受ケタル當日調ヲ以テ出場馬匹名簿(第八號書式)ヲ調製シ爾後馬匹検査當日迄ノ間ニ於テ検査ヲ受クヘキ馬匹ニ出入アルトキハ其ノ都度該名簿ヲ訂正シ馬匹検査ノ際馬匹検査委員ニ差出スヘシ

第十八條 馬匹ノ所有者第十五條第二項第三項若ハ第十六條ノ通知ヲ受ケタルトキハ該通知ニ應シ其ノ馬匹ヲ検査ニ出場セシムヘシ

第十九條 馬匹ノ所有者ハ馬匹ノ疾病傷痕分婉其ノ他正當ノ理由ニ依テ検査ニ出場セシムルコト能ハサルトキハ獸醫ノ診斷書若ハ月主二名ノ證明書ヲ添ヘテ其ノ旨ヲ現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ

第二十條 馬匹検査委員ハ出場馬匹名簿ニ依リ検査ヲ行フヘシ

第二十一條 郡市町村吏員(北海道ニ在テハ郡吏員ヲ除ク)ハ馬匹ノ検査ニ立會フヘシ

第二十二條 馬匹ノ検査及検査ニ關スル法律第四條ノ手當及旅費ハ左ノ支給方ニ依ル

- 一 手當ハ馬匹一頭ニ付拾錢ヲ給ス
- 一 旅費ハ馬匹一頭ニ付一里毎ニ貳錢五厘ヲ給ス但往復里程ハ通算シ一里未滿ノ端數ハ給セス

第二十三條 馬匹ノ所有者其ノ馬匹ヲ現住町村外ニ置クトキハ該馬匹所在ノ市町村毎ニ該市町村内ノ現住者中ヨリ該馬匹ノ管理人ヲ設ケヘシ但馬匹所在地ニシテ二箇以上ノ市町村ニ跨ルトキハ該馬匹ノ管理人ハ該市町村内ノ現住者一人トシ又馬匹所在地ニシテ該馬匹ノ所有者現住ノ市町村ト他ノ市町村トニ跨ルトキ若ハ本規則未行地ナルトキハ管理人ヲ設ケルヲ要セス

馬匹ノ所有者ハ其ノ馬匹ノ管理人ヲ設ケ若ハ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ都度十日(北海道ニ在テハ二十日)以内ニ該管理人ノ住所氏名ヲ記シ其ノ旨ヲ該管理人現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ

馬匹ノ管理人ハ其ノ管理スル馬匹ニ就テハ該馬匹ノ所有者ニ代リ第一條第二條第十八條第十九條ノ事項ヲ辨スヘシ

第二十四條 馬匹ノ共有者ハ該共有者中ヨリ一人ノ總代人ヲ設ケ該總代人ノ住所氏名ヲ記シ一同連署ノ上十日(北海道ニ在テハ二十日)以内ニ該總代人現住地ノ市町村長ニ届出ヘシ其ノ總代人ヲ變更シタルトキ亦同シ

前項ノ總代人ハ前項ノ各共有者ニ代リ第一條第二條第十八條第十九條第二十三條第一項第二項ノ事項ヲ辨スヘシ

第二十五條 馬匹ノ所有者第一條第二條第二十三條第二項第二十四條第一項ノ届出ヲ怠リタルトキ第二十四條第一項ノ總代人ヲ設ケサルトキ第十八條第二十三條第一項ニ違犯シタルトキ第十九條ノ届出ヲ怠リ若ハ詐偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ五錢以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

前項ノ罰則ハ馬匹管理人又ハ總代人ニ於テ處辨スヘキ事項ニ在テハ其ノ管理人又ハ總代人ニ適用スルモノトス

附 則

第二十六條 本規則中市トアルハ東京市京都市大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區ニ該當ス

第二十七條 本規則中市長ノ職務ハ東京市京都市大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長之ヲ行ヒ郡長ノ職務ハ北海道ノ郡ニ在テハ支廳長對馬ニ在テハ島司之ヲ行ヒ町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ月長及之ニ準スヘキモノ之ヲ行フ

第二十八條 臺灣沖繩縣北海道所屬ノ島嶼其ノ他町村制ヲ施行セサル島嶼(對馬ヲ除ク)ニハ當分本規則ヲ施行セス但該地方ノ現住者中其ノ所有ノ馬匹ヲ本規則施行地ニ置ク者其ノ馬匹ニ關シテハ此ノ限ニアラス

第二十九條 削除

第三十條 全上

第三十一條 全上

第三十二條 全上

第三十三條 全上

(書式略ス)全上

第二章 徵兵 國民軍 屯田兵

●徵兵令 (明治廿二年一月法律第一號)

第一章 總則

第一條 日本帝國臣民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス

第二條 兵役ハ分テ常備兵役後備兵役補充兵役及國民兵役トス (廿八年法律第十五號ヲ以テ補充兵役ノ四字ヲ加フ)

第三條 常備兵役ハ分テ現役及豫備役トス

現役ハ陸軍ハ三箇年海軍ハ四箇年ニシテ滿二十歳ニ至リタル者之ニ服シ豫備役ハ陸軍ハ四箇年四箇月海軍ハ三箇年ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス (廿八年法律第十五號ヲ以テ陸軍ハ四箇年ノ下「四個月」ノ三字ヲ加フ)

第四條 後備兵役ハ五箇年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス

第五條 補充兵役ハ陸軍ニ在テハ第一補充兵役第二補充兵役トシ第一補充兵役ハ七箇年四箇月ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者ノ中所要ノ人員之ニ服シ第二補充兵役ハ一箇年四箇月ニシテ其年所要ノ第一補充兵員ニ超過スル者之ニ服ス又海軍ニ在テハ一箇年ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者之ニ服ス (廿八年法律第十五號ヲ以テ本條追加)

第六條 國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役トス

第一國民兵役ハ後備兵役及ヒ第一補充兵役ヲ終リタル者之ニ服シ第二國民兵役ハ常備兵役後備兵役補充兵役及ヒ第一國民兵役ニ在ラサル者之ニ服ス (廿八年法律第十五號ヲ以テ第五條ヲ第六條トシ改正)

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ時變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ擧アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期ヲ延スコトアルヘシ (廿八年法律第十五號ヲ以テ第六條ヲ七條トシ第九條迄順次繰下)

第八條 重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルコトヲ許サス

第二章 服役

第九條 陸軍現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應シ壯丁ノ身材藝能職業ニ從ヒ步兵騎兵砲兵工兵輜重兵職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ（廿八年法律第十五號ヲ以テ陸軍現役兵ノ下及補充兵ノ四字ヲ加フ）

海軍現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應シ沿海地方及島嶼ノ壯丁ヲ調査シ海軍ニ適スル職業ニ從ヒ水兵火夫職工及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ當籤ノ者ヲ以テ之ニ充ツ但海軍志願兵徵募規則ニ依リ服役スル者ハ本令ノ限ニ在ラス（廿八年法律第十五號ヲ以テ陸軍現役兵ノ下及補充兵ノ四字ヲ加フ）

警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁（近衛師團ニ編入スル者ヲ除ク）ハ總テ之ヲ警備隊ニ充テ其地ニ於テ服役セシム但在營期限ハ一年以内トス（廿八年法律第十五號ヲ以テ割註追加）

第十條 雜卒ノ現役期限ハ其職務ニ因リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但シ常備兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

第十一條 抽籤番號順序ニ由リ其年ノ補充兵役所要員ニ超過スル者ハ國民兵役ニ服セシム（廿八年法律第十五號ヲ以テ本條追加）

第十二條 二十歳ニ至ラスト雖トモ滿十七歳以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服スルコトヲ得（廿八年法律第十五號ヲ以テ第十條ヲ第十三條トシ第十四條マテ順次繰下）

第十三條 滿十七歳以上二十八歳以下ニシテ官立學校（小學校及撰科等ノ學科ヲ除ク）府縣

立師範學校中學校若クハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校若クハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校ノ卒業證書ヲ所持シ若クハ陸軍試驗委員ノ試験ニ及第シ服役中食料被服裝具等ノ費用ヲ自辨シ豫備後備將校タル冀望ヲ有スル者ハ志願ニ由リ一箇年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得但費用ノ全額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ニハ其幾部ヲ官給スルコトアルヘシ（廿二年法律第二十九號ヲ以テ本項割註ヲ改正ス、廿六年法律第四號ヲ以テ本條中廿六歳トアルヲ廿八歳ト改メ、廿八年法律第十五號ヲ以テ自辨スルヲ「自辨シ豫備後備將校タル冀望ヲ有スル」ニ改ム）

一年志願兵ノ豫備役後備役年期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（廿八年法律第十五號ヲ以テ改正）滿十七歳以上滿二十八歳以下ニシテ官立府縣立師範學校ノ卒業證書ヲ所持シ官立公立小學校ノ教職ニアル者ハ六箇月間陸軍現役ニ服セシム其服役ニ關スル費用ハ官給トス（廿六年法律第四號ヲ以テ改正）

前項ノ現役ヲ終リタル者ハ直チニ國民兵役ニ服セシム

第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歳迄ニ其教職ヲ罷ムル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシア更ニ二箇年間陸軍現役及常例ノ豫備役後備役ニ服セシム但第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス（廿二年法律第廿九號ヲ以テ本項ヲ追加シ、廿六年法律第四號ヲ以テ廿六歳トアルヲ廿八歳ト改メ、廿八年法律第十五號ヲ以テ常例ノ

兵役トアルヲ「二箇年間陸軍現役及常例ノ豫備役後備役」ニ改ム

第十四條 禁錮ノ刑ニ處セラレ若クハ賭博犯ニ由懲罰ニ處セラタル者ハ一年志願兵タルコトヲ許サス

第十五條 現役中殊ニ勤務ニ熱シ品行方正ナルモノハ歸休ヲ命スルコトアル可シ

第十六條 豫備兵後備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一度六十日以内勤務演習ノ爲メ之ヲ召集シ又毎年一度簡閱點呼ヲ爲ス（廿八年法律第十五號ヲ以テ豫備兵ノ下後備兵ノ三字ヲ加フ）

第十七條 第一補充兵及ヒ海軍補充兵ハ現役兵ノ補缺ニ充テ又戰時若クハ時變ニ際シ之ヲ召集ス但第一補充兵ヲ以テ現役兵ノ補缺ニ充ツルハ其服役ノ初年ニ限ル

第一補充兵ハ平常ニ在テ百五十日以内教育ノ爲メ之ヲ召集ス其他勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スコト豫備兵ニ同シ第二補充兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ第一補充兵ヲ召集ス仍ホ兵員ヲ要スルトキ之ヲ召集ス（廿八年法律第十五號ヲ以テ本條追加）

第十八條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ後備兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキニ限リ之ヲ召集ス（廿八年法律第十五號ヲ以テ第十六條ヲ第十八條トナシ第二十二條迄順次繰下ク）

第三章 免役延期及猶豫

第十九條 兵役ヲ免スルハ廢疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査規則ニ照シ兵役ニ堪ヘサル者ニ

限ル

第二十條 左ニ掲クル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ仍ホ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服

セシム

第一 體格完全且強壯ナルモ身幹未タ定尺ニ滿タサル者

第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者

第二十一條 公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重輕罪ノ爲メ訊問若クハ拘留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

第二十二條 徵集ニ應スルトキハ其家族自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ國民兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル者ハ其願ヲ許可セス

第二十三條 第十三條第一項ニ掲クル學校ニ在校ノ者ハ本人ノ願ニ由リ滿二十八歲迄徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十八歲迄ニ止ミ又ハ二十八歲ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス但第三十條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者及第十三條第三項ニ依リ服役スル者ハ此限ニ在ラス（廿二年一月法律第廿九號ヲ以テ本項ヲ改正シ、廿六年三月法律第四號ヲ以テ廿六歲トアルヲ廿八歲ト改メ、廿八年法律第十五號ヲ以テ第十一條トアルヲ第十三條ト改ム）

外國ニ在ル者(朝鮮國ニアル者ヲ除ク)ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ猶豫ス滿三十二歳迄ニ歸朝スル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集シ三十二歳ヲ過クル者ハ國民兵役ニ服セシム但第十三條第一項ニ依リ一年志願兵ヲ志願スル者ハ此限ニ在ラス(廿八年法律第十五號ヲ以テ本項改正)

第二十四條 餘人ヲ以テ代フ可カサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長助役及收入役ハ豫備兵後備兵ニ在ルト第一補充兵ニ在ルトヲ問ハス勤務演習簡點呼ノ爲召集スルコトナシ(廿八年三月法律第十五號ヲ以テ「ニ在ルト後備兵」ヲ「後備兵ニアルト第一補充兵」ニ改ム)

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

第四章 雜則

(廿八年三月法律第十五號ヲ以テ第四章豫備徵兵トアリシヲ削リ以下逐章繰上ク)

第二十五條 毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歳ト爲ル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ又第二十三條第一項ニ當ル者ニシテ二十八歳迄ニ事故止ミ同條第二項ニ當ル者ニシテ三十二歳迄ニ歸朝シタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ(戸主ニ非サル者ハ其戸主ヨリ本籍ノ市町村長ニ届出可シ但二十歳未滿ニシテ現役ヲ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ハ本條ノ届出ヲ爲スニ及ハス(廿八年法律第十五號ヲ以テ改正))

第二十六條 徵集ハ本籍所在ノ徵募區ニ於テスルモノトス(同上)

第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ徵集ス

第二十八條 兵役ヲ免レンカ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潜匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

第二十九條 服役年期ノ計算ハ現役豫備役補充役及海軍後備役ニ在テハ各其役ニ就ク年ノ十二月一日(第十三條第三項ニ依リ服役スル者ノ現役年期ノ計算ハ別ニ勅令ヲ以テ規定スル月日ヨリ起算ス)ヨリ陸軍後備役ニ在テハ其役ニ就ク年ノ四月一日ヨリ起算ス但第七條ニ依リ延期シタルモノト雖モ服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ(二十八年法律第十五號ヲ以テ改正)

現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者其刑期中及逃亡中ノ日數ハ現役年期ニ算入セス其豫備役年期ハ現役ヲ終ル年ヨリ起算シ陸軍ニ在テハ六年目ノ三月三十一日迄海軍ニ在テハ第五年目ノ十一月三十日迄トス但第十條ニ依リ現役年期ヲ短縮シタルモノハ其現役ヲ短縮シタル場合ニ於ケル豫備役年期ニ應シ本項ニ準シテ計算ス

豫備役後備役及補充役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル者其召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セス

第五章 罰則

第三十條 第二十五條ノ届出ヲ爲ササル者及正當ノ事故ナクシテ身體ノ検査ヲ受ケサル者

ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潜匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ一月以上一年以上以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第六章 附則

第三十二條 本令ハ明治廿二年一月ヨリ施行ス但第二十五條ノ届出期限ハ明治廿二年ニ限リ二月一日ヨリ同月十五日迄トス

第三十三條 本令ハ北海道ニ於テ函館江差福山ノ外及沖繩縣並東京府管下小笠原島ニハ漸クテ之ヲ施行ス其時期區域及特ニ徵集ヲ免除シ若クハ猶豫スヘキモノハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(廿八年法律第十五號ヲ以テ本條改正)

第三十四條 本令中市町村長トアルハ市制町村制ヲ實施スル迄ノ間戸長ノコトトス

第三十五條 現今陸軍豫備役ニ在ル者ノ服役年期ハ第三條ニ依ル其後備役ニ在ル者ハ常備役年期ヲ通シテ十二箇年四箇月トス(同上)

第三十六條 舊令第十七條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十七條 舊令第十八條第二項ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十八條 舊令第十八項及第二十一條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ徵集ヲ延期シ其事故七箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第三十九條 舊令第十八條第三項ノ生徒ニシテ第一豫備徵員ト爲リ仍ホ在校ノ者ハ該徵員タルコトヲ止メ滿二十七歳迄徵集ヲ猶豫シ其事故二十七歳ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ國民兵役ニ服セシム

第四十條 第三十六條第三十七條第三十八條及第三十九條ニ掲クル者其事故各其本條ノ期限内ニ止ミタルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得

第四十一條 舊令第十八條第三項若クハ第十九條ニ依リ徵集猶豫ニ屬シ在校ノ者ハ其事故六箇年以内ニ止ミタルトキ又ハ八箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサルトキハ抽籤ノ法ニ依リ徵集ス但一年志願兵ヲ志願スルコトヲ得(廿六年法律第四號ヲ以テ六箇年ヲ八箇年ト改ム)

第四十二條 舊令第三十條ニ依リ補充員ト爲リタル者ハ之ヲ豫備徵員ト爲シ一箇年間(明治二十一年十二月一日ヨリ起算ス)ニ徵集セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

第四十三條 舊令第三十一條ニ依リ第一豫備徵員ト爲リ在校セサル者及舊令第三十二條ニ依リ第二豫備徵員ト爲リタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム補充員ヨリ第一豫備徵員ト爲リタル者亦同シ

第四十四條 明治十二年第四十六條布告徵兵令ニ依リ國民軍ノ外免役又ハ平時免役若クハ徵集猶豫ニ屬シタル者ハ直ニ國民兵役ニ服セシム

第四十五條 舊令第八條ニ依リ海軍兵ト爲リタル者ノ服役期限ハ同令第三條及第四條ニ依ル

第四十六條 第三十六條第三十七條第三十八條ニ掲クル徵集延期ノ者及第三十九條第四十條ニ掲クル徵集猶豫ノ者其事故各其本條ノ期限内止ミタルトキハ三日以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出可シ

第十三條第三項又ハ第四項ニ依リ服役中ノ者ニシテ滿二十八歳迄ニ其敎職ヲ罷ムル者ハ三日以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出ヘシ(廿八年法律第十五號ヲ以テ本條改正)

第一項及第二項ノ届出ヲ爲ササル者及本令施行前舊令第三十五條第三十六條ノ届出ヲ爲サスシテ本令施行後ニ於テ發覺スル者ハ本令第三十條ニ依リ處分スヘシ(廿二年法律第廿九號ヲ以テ本條中改正追加ス)

附 則 (廿八年法律第十五號ヲ以テ追加)

此ノ法律ハ明治廿八年四月一日ヨリ施行ス但現今ノ豫備徵員ハ從前ノ規程ニ依ル

◎徵兵事務條例 (明治二十九年三月勅令第百十二號)

第一章 徵兵區

第一條 徵兵區ハ師管及聯隊區又ハ警備隊區ノ區域ニ從フ

第二條 聯隊區及警備隊區ハ更ニ之ヲ徵募區ニ分ツ

第三條 徵募區ハ一郡又ハ一市(北海道ニ在テハ區)ヲ以テ一區トス

一市ニシテ二聯隊區ニ分屬スルモノハ各別ニ一區ト爲ス

數郡ニ一郡役所ヲ置クモノハ數郡ヲ併セ一區ト爲ス其ノ島嶼ヲ置クモノ亦同シ
東京市、京都市、大阪市ニ於テハ更ニ徵募區ヲ檢査區ニ分チ區ヲ以テ檢査區ト爲ス

第四條 步兵隊ノ兵員ハ聯隊毎ニ其ノ師管ノ一聯隊區第一師管ニ在テハ二聯隊區ヨリ其ノ他ノ兵員ハ其ノ師管各聯隊區ヨリ徵集ス但要員ヲ充シ能ハサルトキハ他ノ聯隊區若クハ他ノ師管ヨリ其ノ不足ヲ補充スルコトヲ得(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ割注ヲ加フ)

近衛ノ步兵隊及騎兵隊ノ兵員ハ各師管ヨリ其他ノ兵員ハ第一師管ヨリ徵集ス(同上勅令ヲ以テ本項並ニ次項追加)

鐵道隊ノ兵員ハ第一第二第三第四第八及第九師管ヨリ徵集ス

警備隊ノ兵員ハ其ノ警備隊區ヨリ徵集ス

海軍兵員ハ各師管内沿海及島嶼ヲ包括スル聯隊區ヨリ徵集ス

第二章 徵兵官

第五條 徵兵官ハ總理徵兵官、師管徵兵官、聯隊區徵兵官、警備隊區徵兵官及聯隊區聯合徵兵官、署徵兵官トス

第六條 總理徵兵官ハ内務大臣及陸軍大臣ヲ以テ之ニ充テ全國徵兵ノ事ヲ統轄ス

第七條 師管徵兵官ハ師管内府縣毎ニ師團長及府縣知事ヲ以テ之ニ充テ師團長ヲ首座トシ其ノ管内府縣徵兵ノ事ヲ統轄ス

北海道ニ於テハ師團長及北海道廳長官ヲ以テ師管徵兵官ニ充テ師團長ヲ首座トシ其ノ管内徵兵ノ事ヲ統轄ス

第八條 聯隊區徵兵官ハ聯隊區内徵募區毎ニ聯隊區司令官及島司郡市長(北海道ノ區ニ在テハ區長)ヲ以テ之ニ充テ警備隊區徵兵官ハ警備隊司令官及島司郡長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區司令官ハ警備隊司令官ヲ首座トシ其ノ區内徵募事務ヲ執行ス

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ検査區毎ニ聯隊區司令官及區長ヲ以テ聯隊區徵兵官ニ充テ聯隊區司令官ヲ首座トシ抽籤事務ヲ除クノ外其ノ區内徵募事務ヲ執行ス

第九條 聯隊區聯合徵兵署徵兵官ハ東京市、京都市、大阪市ニ於テ徵募區毎ニ聯隊區司令官市長及各區長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區司令官ヲ首座トシ其ノ區内抽籤事務ヲ執行ス(三十二年勅令第三百十三號ヲ以テ本條中改正)

第十條 第八條第九條ニ掲ケル徵兵官ノ外聯隊區内徵募區(東京市、京都市、大阪市ニ在テハ検査區)毎ニ聯隊區徵兵參事員警備隊區内徵募區毎ニ警備隊區徵兵參事員ヲ置ク

第十一條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ徵兵令第二十二條ニ當ル徵集延期及徵集免除並ニ明治二十八年勅令第三百二十六號第二條ノ徵集猶豫ニ關スル事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ任トス但徵兵官ノ裁決ニ付可否ヲ議スルノ權ナギモトス

第十二條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ郡市名譽參事會員ヲ以テ之ニ充ツ但市ニ於テハ其ノ市名譽職參事會員ニ於テ四名ヲ互選シ之ヲ定ム

東京市、京都市、大阪市ノ區ノ聯隊區徵兵參事員ハ市會ニ於テ其ノ區内ニ住スル市公民中選舉權ヲ有スル者ヨリ四名ヲ選舉シ之ヲ定ム其ノ任期ハ市會議員ノ例ニ依ル
島廳ヲ置ク島嶼ノ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ島司ニ於テ各町村會議員中ヨリ四名ヲ選ヒ府縣知事ノ認可ヲ得テ之ヲ命ス其任期ハ町村會議員ノ任期ニ依ル

北海道ノ郡又ハ區ノ聯隊區徵兵參事員ハ徵募區毎ニ四名トシ北海道廳長官之ヲ命ス其ノ任期等ハ北海道廳長官ノ定ムル所ニ依ル

第十三條 毎年徵募事務執行中ハ師管徵兵醫官及聯隊區徵兵醫官聯隊區徵兵副醫官又ハ警備隊區徵兵醫官警備隊區徵兵副醫官ヲ置ク但シ警備隊區徵兵副醫官ハ時宜ニ依リ之ヲ置カサル事ヲ得師管徵兵醫官ハ師團長ニ屬シ師管内徵兵身體検査ニ係ル事ヲ管掌シ聯隊區徵兵醫官ハ聯隊區司令官ニ警備隊區徵兵醫官ハ警備隊司令官ニ屬シ其ノ區内徵兵身體検査ニ係ル事ヲ管掌シ聯隊區徵兵副醫官ハ聯隊區徵兵副醫官ヲ警備隊區徵兵副醫官ハ警備隊區徵兵醫官ヲ補佐ス

第十四條 師管徵兵醫官ハ師團軍醫部長ヲ以テ之ニ充テ聯隊區徵兵醫官及警備隊區徵兵醫官ハ陸軍一等軍醫一名聯隊區徵兵副醫官及警備隊區徵兵副醫官ハ陸軍二三等軍醫ノ内一名ヲ以テ之ニ充ツ

第十五條 毎年徵募事務執行中ハ聯隊區徵兵署、警備隊區徵兵署及聯隊區聯合徵兵署ニ事務員ヲ置キ該徵兵署ノ庶務ニ從事セシム

第十六條 聯隊區徵兵署事務員又ハ警備隊區徵兵署事務員ハ聯隊區書記又ハ警備隊書記二名及島廳郡市書記(東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區書記)二名若クハ三名ヲ以テ之ニ充ツ

聯隊區聯合徵兵署事務員ハ聯隊區書記二名市書記二名及各區書記二名若クハ三名ヲ以テ之ニ充ツ(三十二年勅令第三百十三號ヲ以テ府屬ヲ市書記ト改ム)

第十七條 徵募事務執行ニ際シ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ノ全部ヲ缺クトキハ府縣知事ハ徵募區内ノ公民ニシテ市町村會議員ノ選舉權ヲ有スル者ニ就キ臨時

聯隊區徵兵參事員又ハ臨時警備隊區徵兵參事員ヲ命スルコトヲ得(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ全條改正)

島廳ヲ置キタル島嶼ノ臨時徵兵參事員ハ島司ニ於テ便宜之ヲ命スルコトヲ得

第三章 配賦

第十八條 毎年徵集スヘキ現役兵及補充兵ノ員數ハ上裁ヲ經テ陸軍大臣之ヲ各師管ニ配賦ス

第十九條 師團長ハ第十八條ニ依リ現役兵及補充兵ノ要員ヲ各聯隊區又ハ警備隊區ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ之ヲ各徵募區ニ配賦ス

第二十條 現役兵及補充兵ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ基準トシテ之ヲ定ム(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ改正)

第四章 徵募

第二十一條

町村長(町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戶長以下同シ)ハ毎年戶籍簿ニ依リ徵兵適齡者ヲ取調ヘ徵兵令第二十五條ノ屆書ニ照較シ壯丁名簿ヲ作り二月十五日迄ニ島司又ハ郡長ニ差出シ島司郡長ハ點檢ノ後之ヲ一徵募區ニ取廻メ前年假決ノ諸名簿ト共ニ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ提出スヘシ

市長(東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區長)ハ前項ノ例ニ依リ壯丁名簿ヲ作り前年假決ノ諸名簿ト共ニ之ヲ聯隊區徵兵署ニ提出スヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ分註區長ノ下以下同シ)ノ四字刪ル)

第二十二條 毎年徵募事務執行ノトキハ各徵募區及檢查區ニ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ヲ設ク但土地廣濶若ハ交通不便若ハ壯丁多數ノ徵募區ニ於テハ二箇所以上ノ地

ニ逐次開設スルコトヲ得(全上勅令ヲ以テ若ハ交通不便若ハ一ノ八字ヲ加フ)

東京市、京都市、大阪市ニ於テハ抽籤執行ノ爲メ別ニ徵募區ニ聯隊區聯合徵兵署ヲ設ク

第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ島司郡市長ニ協議シ徵兵署開設ノ日割ヲ定メ聯隊區司令官警備隊司令官ハ師團長ニ島司郡市長ハ北海道廳長官府縣知事ニ申報スヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ第二項聯隊區聯合徵兵署云々ノ規定ヲ刪ル)

島司郡市長ハ檢查抽籤ノ日時及徵兵署設置ノ場所ヲ豫メ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ニ通知シ且其ノ管内ニ告示スヘシ

第二十四條 兵役ノ適否ヲ定ムル爲メ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ壯丁ノ身體檢查ヲ行フ其ノ檢查ハ徵兵官及徵兵參事員ノ面前ニ於テスルモノトス

第二十五條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ壯丁ノ身體檢查ノ事ヲ監督シ兵種ノ選定ニ任ス

第二十六條 島司郡市長、東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長ハ徵集延期及徵集猶豫ニ關スル書類ノ調査及事實ノ審議ニ任ス(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ分註ヲ加フ)

第二十七條 壯丁ノ身體檢查終ルトキハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官若ハ徵集延期徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ處分ヲ爲シ又壯丁名簿ヲ以テ徵集名簿、徵集延期名簿、徵集猶豫名簿、徵集免除名簿及兵役免除名簿ヲ作ルヘシ

第二十八條 身體檢查ニ合格シタル壯丁ハ徵集順序ヲ定ムル爲メ徵募區毎ニ體格ノ等位及兵種ヲ分テ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ抽籤ヲ行フ但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ聯隊區聯合徵兵署ニ於テ之ヲ行フ
抽籤ハ徵兵官及徵兵參事員ノ面前ニ於テ抽籤總代人之ヲ爲スモノトス

抽籤ハ徵兵官及徵兵參事員列席ノ上抽籤總代人ヲ爲スモトス但シ東京市、京都市、大阪市ノ徵兵參事員ハ各検査區ヨリ一名宛出席スヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ改正)

抽籤總代人ハ其ノ年ノ壯丁ニ就キ聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員之ヲ選定ス其ノ人員ハ適宜トス

第二十九條 前條ノ徵兵官ハ總代人ノ抽キタル籤番號ノ順序ニ依リ抽籤名簿ニ通テ作ルヘシ

第三十條 抽籤終ルトキハ抽籤名簿及徵集名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ領シ抽籤名簿徵集延期名簿徵集猶豫名簿徵集免除名簿及兵役免除名簿ハ島司郡市長之ヲ領シ島廳、郡市役所ニ備置クヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ於テハ抽籤名簿ヲ除クノ外ハ區長之ヲ領シ區役所ニ備置クヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ本條中改正)

第三十一條 各徵募區ノ抽籤終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ第十九條ノ配賦ニ基キ現役兵徵募及補充兵編入ノ處分ヲ爲シ又徵集名簿ヲ以テ現役兵名簿、補充兵名簿及要員超過名簿ヲ作ルヘシ

第三十二條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ現役兵名簿ヲ各聯隊長(聯隊長ヲ爲ササル隊ニ在テハ其ノ隊長)及海兵團長ニ交付シ且現役兵ニ徵募スヘキ者及補充兵ニ編入スヘキ者ノ順序ヲ島司郡市長ニ通知スヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ但書刪除)

抽籤名簿及補充兵名簿ハ之ヲ聯隊區司令部又ハ警備隊司令部ニ備置キ要員超過名簿ハ島司郡市長ニ交付シ島廳郡市役所ニ備置クヘシ

第三十三條 第二十七條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官第三

十一條ノ處分ヲ爲シタル者ニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官各其ノ證書ヲ附與ス但徵集免除ノ者並ニ要員ニ超過シタル者ニハ證書ヲ附與セス

第三十四條 徵募事務終ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り師團長ニ差出シ師團長ハ師管徵兵事務報告書及徵兵表ヲ作り陸軍大臣ニ差出シ陸軍大臣ハ全國徵兵表ヲ作り奏上スヘシ

第五章 裁 決

第三十五條 裁決ハ分テ假決及終決ノ二種トス

第三十六條 假決ハ徵集延期及徵集猶豫ノ事ヲ裁決シ終決ハ現役兵徵募、補充兵編入、要員超過、徵集免除及兵役免除ノ事ヲ裁決ス

第三十七條 徵集延期、徵集猶豫、徵集免除及兵役免除ノ裁決ハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ爲シ其ノ他ノ裁決ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官之ヲ爲ス

第三十八條 壯丁若クハ其ノ家族ニ於テ徵兵令第二十二條及明治二十八年勅令第百二十六號第二條ニ關スル聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ師管徵兵官ニ師管徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ總理徵兵官ニ訴願スルコトヲ得但訴願ノ爲ニ裁決ノ執行ヲ停止セス

不條ノ訴願ハ裁決書ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ爲スヘシ其ノ期日ヲ過クルモノハ受理セス

第三十九條 徵兵官ノ裁決ニ對シ訴願ヲ爲サントスル者ハ其ノ訴願書ニ同徵募區内其ノ年徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主三名ノ保證書ヲ添ヘ其裁決ヲ爲シタル徵兵官ヲ經由シテ差出スヘシ

徵兵官前項ノ訴願書ヲ受領シタルトキハ之ニ前裁決ニ關スル書類ヲ添へ上級ノ徵兵官ニ差出スヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ追加)

第四十條 總理徵兵官又ハ師管徵兵官ニ於テ下級徵兵官ノ裁決不當ナリト認ムルトキ又其ノ裁決詐偽若ハ錯誤ニ起因シタルモノナリト認ムルトキハ之ヲ取消シ更ニ處分ヲ命スヘシ但シ師管徵兵官ハ總理徵兵官ノ認可ヲ受クヘシ(全上勅令ヲ以テ改正)

第四十一條 徵兵官ノ裁決ニ對シテハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ許サス

第六章 現役兵及補充兵

第四十二條 現役兵入營期日ハ毎年十二月一日トス但疾病犯罪其ノ他ノ事故ニ由リ十二月一日ニ入營シ難キ者ハ同月三十一日迄ニ入營セシム

警備隊諸兵ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年六月一日トシ砲兵輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年四月一日第三期ハ同年八月一日トシ輻重輸卒ノ入營ハ四期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ十二月一日第二期ハ翌年三月一日第三期ハ同年六月一日第四期ハ同年九月一日トス
第二師管第七師管第八師管及第九師管ニ於テハ砲兵輸卒ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年四月一日第二期ハ同年八月一日トシ輻重輸卒ノ入營ハ三期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年三月一日第二期ハ同年六月一日第三期ハ同年九月一日トス但シ第七師管及第八師管ニ於テ輻重輸卒ノ入營ハ二期ニ分チ其ノ第一期ハ徵募年ノ翌年五月一日第二期ハ同年八月一日トス(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ本條中改正但書追加)

戰時若ハ事變ノ際其他必要ノ場合ニ在テハ前諸項ノ入營期日ヲ變更スルコトヲ得(全上)

勅令ヲ以テ改正)

第四十三條 現役兵ヲ入營セシムルトキハ聯隊區司令部員ヲ入營地若ハ近衛海軍入營兵集合地ニ派遣シ之ヲ當該隊長又ハ近衛海軍入營兵受領員ニ交付セシム但シ土地ノ狀況ニ由リ入營兵引卒員ヲシテ入營地若ハ近衛海軍入營兵集合地ニ引卒セシムルコトアルヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ全條改正)

入營兵ノ人員寡少ナルトキ及入營兵受領員出發後到着シタル者ハ直ニ入營セシム

第四十四條 現役兵入營ニ際シ父母ノ疾病危篤或ハ死亡ノ爲メ入營ノ延期ヲ願フ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ二十日以内ノ延期ヲ許スヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ本條中改正)

其延期ヲ願フ者ハ願書ニ市町村長、東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長以下同シノ與書證明ヲ受ケ其ノ父母疾病危篤ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添へ差出スヘシ(全上勅令ヲ以テ分註ヲ加フ)

第四十五條 現役兵入營前ハ第四條ノ區域外ニ轉籍(戶籍上本人ノ出入モ含有ス以下同シ)スルモ所屬ノ隊籍ヲ變更セス

徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者ハ身體検査ヲ行ヒ更ニ隊籍ヲ定ムルモノトス但第四條ノ區域外ニ轉籍シタル者ハ其ノ地ニ於テ身體検査ヲ行ヒ隊籍ヲ定ム

第四十六條 現役兵入營前死亡シ若クハ疾病犯罪其ノ他ノ事故ニ由リ十二月三十一日迄ニ缺員ヲ生シ若ハ入營シ難シト認メタル者又ハ入營ノ後翌年一月三十一日前ニ死亡シタル者若クハ一時服役ニ堪ヘサル者又ハ常備後備ノ服役及永久服役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ其ノ徵募區同兵種ノ第一補充兵若クハ海軍補充兵ヲ以テ抽籤番號ノ順序ニ從ヒ

補充シ若シ其ノ徵募區ヨリ補充スルコト能ハサルトキハ聯隊區内他ノ徵募區ヨリ補充ス其ノ配賦ハ各徵募區補充兵ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ム但警備隊諸兵及砲兵輸卒、輜重輸卒ニシテ入營スヘキ月ノ十日迄ニ本文ノ事故ヲ生シタル者アルトキハ次期入營スヘキ者ヲ繰上ケ入營セシム其ノ最終期ニ在テハ前期ニ繰上ケタル缺員ト其ノ期ノ缺員ハ第一補充兵ヲ以テ補充ス(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ本條中改正)

第四十七條 現役兵入營前癩疾又ハ不具ト爲リ永久兵役ニ堪ヘ難キ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ兵役ヲ免ス但徵兵令第二十七條ニ當リ翌年回ト爲リタル者其ノ年徵募事務終結前ハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條 現役兵入營前徵兵令第二十二條ニ當ルヘキ事故ノ生スルトキハ本人ノ願ニ由リ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ徵集ヲ延期ス其ノ願書ニハ同徵募區内其ノ年徵集ニ應スヘキ現役兵ノ月主二名ノ保證書ヲ添ヘ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ差出スヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長町村ニ在テハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ但書中追加)

島司郡市長ハ其ノ事實ヲ審察シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付スヘシ

第四十九條 現役兵入營前及補充兵(補充兵證書附與後其ノ年十一月三十日以前ノ者以下同シ)轉籍シタルトキハ十四日以内ニ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ但町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ舊住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官

ヨリ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通報スヘシ

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十條 現役兵入營前及補充兵寄留若クハ十四日以上ノ旅行ヲ爲サントスルトキハ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ヲ定メ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官 届出ヘシ其ノ復歸シタルトキ亦届出ヘシ但町村ニ在テハ町村長ヲ經由スヘシ本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第七章 雜 則

第五十一條 徵兵令第十二條ニ依リ現役ニ服センコトヲ志願スル者ハ其ノ願書ニ月主或ハ後見人連署シ身元證書ヲ添ヘ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ九月一日以前自己ノ服役セント欲スル軍隊又ハ海兵團ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長軍隊又ハ海兵團遠隔ノ地ニ居住ノ者ハ徵兵検査ノ際聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ申立テ身體検査ヲ受ケ合格ノ者ハ合格證書ヲ添ヘ願出ルコトヲ得(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ本項但書中追加)

第五十二條 第五十一條ニ依リ服役ノ許可ヲ受ケタル者ハ入營前本籍地ノ市町村長ニ届出ハシ

第五十三條 他ノ徵募區ニ寄留シ其ノ地ニ於テ身體検査ヲ受ケンコトヲ冀望スル者ハ本籍及寄留地徵募區ノ検査開始前寄留地ノ島司郡市長(東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長

以下同シ)ニ願出テ且其ノ由テ本籍ノ市町村長ニ届出ヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ全條改正)

島司郡市長其ノ願ヲ許可シタルトキハ直ニ之ヲ本籍地ノ島司郡市長ニ通知スヘシ

第一項ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十四條 徵兵令第二十二條ニ當ル者ハ同徵集區内其ノ年ノ徵集ニ應スヘキ壯丁ノ戸主二名ノ保證書ヲ添ヘ三月一日迄(三月一日後抽籤迄ニ事故ノ生シタル者ハ其ノ都度以下同シ)聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ但其ノ事故二年以上繼續スル者ハ毎年願出テ其ノ三箇年ヲ過クルモ尙ホ止マサル者ハ本文ノ保證書ヲ添ヘ届出ヘシ

前項ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十五條 徵兵令第二十三條第一項ニ當ル者ハ學校長ノ證明書同條第二項ニ當ル者ハ公使領事又ハ貿易事務官ノ證明書ヲ添ヘ三月一日迄ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ

公使領事及貿易事務官ヲ置カサル國ニ在ル者及一定ノ地ニ在留セサル旅行ノ者ハ其ノ徵集猶豫願書ニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ證明書ヲ添ヘ差出スヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ本條中改正)

公使領事及貿易事務官ヲ置キタル國ニ在ル者ト雖徵集猶豫願書ヲ差出ストキ未タ公使領事又ハ貿易事務官ノ證明書ヲ得サルトキハ之ニ換フルニ海外旅券ヲ受取リタル官廳ノ承認書ヲ添ヘ差出シ置キ道テ證明書ヲ差出スコトヲ得

本條ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十六條 明治二十八年勅令第百二十六號第二條ニ當ル者ハ其ノ移住ノ年月日及生業

ノ狀況ヲ詳記シ毎年三月一日迄ニ聯隊區徵兵官ニ願出ヘシ

前項ノ願書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

第五十七條 徵兵令第二十三條第一項ノ事故止ミタル者ノ届書及同條第二項ノ歸朝シタル者ノ届書ハ町村長ヨリ其ノ年ノ壯丁名簿進達ニ在テハ其ノ名簿ト共ニ進達後ニ在テハ受領ノ日ヨリ三日以内ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ差出スヘシ

市長ハ前項ノ届書ヲ聯隊區徵兵署若クハ聯隊區聯合徵兵署開設ノ所同署ニ提出スヘシ

第五十八條 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ身體検査ヲ受ケ難キ者及志願兵出願中ノ者ハ書面ヲ以テ検査當日迄ニ島司郡市長ニ届出ヘシ其ノ疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ本條中改正)

島司郡市長ニ差出ス届書ニハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第五十九條 疾病傷痕或ハ犯罪等ニテ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ書面ヲ以テ入營當日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ届出ヘシ其ノ疾病傷痕ノ者ハ醫師ノ診斷證書ヲ添フヘシ其ノ届書ニハ市町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス

本條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第六十條 徵兵署ノ諸費、壯丁及抽籤總代人ノ旅費、現役兵入營ノ旅費、徵兵參事員ノ手當金、旅費ハ官給ス(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ本條中刪除)

第六十一條 第四十條ニ依リ更ニ處分ヲ爲ストキハ臨時徵兵署ヲ開設スルコトヲ得(全上勅令ヲ以テ改正)

第六十二條 島嶼ニ於テ本條例中ノ條規ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長、地方長官

協同ノ上適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第六十三條 徵兵令ヲ施行セサル地ニ寄留ノ者ハ寄留地最寄ノ徵募區ニ於テ身體検査ヲ受クルコトヲ得其ノ願出手續及取扱ハ第五十三條ノ例ニ準ス

韓國在留ノ者ニ在テモ前項ノ例ニ依リ便宜ノ徵募區ニ於テ身體検査ヲ受クルコトヲ得(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ追加)

第六十四條 徵令令ヲ施行セサル地ヨリ施行ノ地ニ轉籍シタル者ハ其ノ年又ハ翌年ノ徵集ニ應セシム但年齡二十六歳ヲ過キ轉籍シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

附則

第六十五條 第七師團ノ兵員ハ當分第一第二第七及第八師管ヨリ徵集ス但第七師管外ヨリ徵集スル者ノ入營ニ係ル取扱ハ第四十三條近衛海軍入營兵ノ例ニ依ル(三十二年勅令第百十三號ヲ以テ改正)

第六十六條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ未タ郡制ヲ施行セサル郡ニ在テハ其ノ郡内ニ於テ四名ヲ選舉シ當選ノ者ヲ以テ之ニ充ツ其ノ選舉人被選舉人資格選舉ノ方法及任期ハ總テ府縣會議員ノ例ニ依ル

第六十七條 本條例ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

●徵兵事務條例補則(明治三十一年三月勅令第四十一號)

第一條 徵兵事務條例中北海道及沖繩縣並小笠原島ニ實施シ難キ諸件ハ當分本則ニ依ル
第二條 北海道廳支廳ノ管轄區域及沖繩縣ノ區並小笠原島ハ各之ヲ徵募區ト爲ス
第三條 聯隊區徵兵參事員又ハ警備隊區徵兵參事員ハ一徵募區ニ四名トシ地方長官之ヲ命ス其ノ任期等ハ地方長官ノ定ムル所ニ依ル

第四條 沖繩縣及小笠原島ニ在テ徵兵參事員ハ徵兵事務條例第十一條ニ掲グル外明治三十年勅令第百五十八號第二項若ハ第三項ノ徵集免除又ハ徵集猶豫ニ關スル事件ヲ審議シ意見ヲ徵兵官ニ具申スルヲ任トス

第五條 明治三十年勅令第百五十八號第二項ニ當ル者ハ從來ノ經歷及產業ノ現況ヲ詳記シ三月一日迄(三月一日以後事故ノ生シタル者ハ其ノ都度以下同シ)ニ警備隊區徵兵官ニ願出ヘシ

明治三十年勅令第百五十八號第三項ニ當ル者ハ其ノ移住ノ年月日及生業ノ狀況ヲ詳記シ毎年三月一日迄ニ聯隊區徵兵官ニ願出ヘシ

本條ノ願書ニハ町村長ニ準スヘキ者ノ典書證明ヲ受クヘキモノトス

第六條 壯丁若ハ其ノ家族ニ於テ明治三十年勅令第百五十八號第二項及第三項ニ依ル警備隊區徵兵官又ハ聯隊區徵兵官ノ裁決ニ不服アルトキハ徵兵事務條例第五章ノ規程ニ依リ訴願スルコトヲ得

第七條 沖繩縣ニ在テ島司郡區長ハ明治三十年勅令第百五十八號第二項ニ依ル徵集免除ニ關スル書類ノ調査及事實ノ審察ニ任ス

第八條 北海道及沖繩縣ニ在テハ師管徵兵官ノ認可ヲ得某徵募區ノ徵兵署ヲ他ノ徵募區内ニ設クルコトヲ得

第九條 沖繩警備隊區ノ壯丁ハ之ヲ第六師團第十二師團及海軍諸兵ニ徵集ス

沖繩警備隊區ニ於ケル現役兵及補充兵ノ要員ヲ其ノ區ノ壯丁ヲ以テ充スコト能ハサルトキハ其ノ不足員ハ第六師管及第十二師管若ハ其ノ一ヨリ補充ス

第十條 沖繩警備隊區ニ於ケル現役兵及補充兵ノ配賦ハ壯丁ノ總員ヨリ明治三十年勅令

第二百五十八號第二項ニ當ルヘキ豫定ノ人員ヲ除算シタルモノヲ以テ率トス
第十一條 沖繩警備隊區ヨリ徵集ノ現役兵入營ノトキハ地方吏員之ヲ引率シ當該隊長又ハ海兵團長ニ交付セシム

第十二條 徵兵事務條例中警備隊司令官警備隊司令部附軍醫ノ職務ハ沖繩警備隊區ニ在テハ警備隊司令官警備隊區司令部附軍醫市長市書記ノ職務ハ沖繩縣ニ在テハ區長區書記郡市長郡市書記ノ職務ハ北海道ニ在テハ北海道廳支廳長同支廳ノ屬町村長ノ職務ハ沖繩縣及小笠原島ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第十三條 北海道廳紗那支廳管下及小笠原島ニ於ケル聯隊區徵兵官タル聯隊區司令官ノ職務ハ聯隊區副官若ハ他ノ將校ヲシテ臨時之ヲ行ハシムルコトヲ得
北海道廳紗那支廳管下及小笠原島ニ於ケル徵兵事務執行ノ際ハ徵兵事務條例第十四條ノ軍醫ノ外仍軍醫一名ヲ以テ聯隊區徵兵醫官ト爲スコトヲ得

附則

第十四條 本則中警備隊區ニ係ル事項ハ明治三十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第十五條 第五條第一項及第二項ノ願出期日ハ明治三十一年ニ限り四月二十日迄トス

●徵兵事務條例施行細則(明治二十九年四月陸軍省令第十號)

(三十年陸軍省令第七號三十二年陸軍省令第八號ヲ以テ加除修正ス)

第一條 條例第二十一條ノ壯丁名簿ハ附錄第一様式ニ依リ之ヲ作り一市(東京市、京都市、大阪市及北海道ノ區ニ在テハ區)一町村ヲ一冊ト爲シ冊尾ニ其ノ人員ノ總計ヲ記シ市町村長(東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長)之ニ署名押印スヘシ

第二條 徵兵令第八條第二十五條但書及明治二十八年勅令第二百二十六號第三條ニ當ル者

ハ市町村長、東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長之ヲ調査シ人名簿(各事項ヲ頭書ス)ヲ作り壯丁名簿ニ添附スヘシ

第三條 島司郡市長ハ毎年一月一日調ヲ以テ其ノ年ノ壯丁人員及前年假決ノ人員ヲ同月三十一日迄ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ聯隊區司令官及警備隊司令官ハ壯丁人員ヲ取纏メ二月十五日迄ニ師團長ニ報告シ師團長ハ三月一日迄ニ陸軍大臣ニ報告スヘシ

前項ノ人員中明治二十八年勅令第二百二十六號第三條及明治三十年勅令第二百五十八號第二項ニ當ルヘキ人員ハ之ヲ別記スヘシ

第四條 聯隊區徵兵署聯隊區聯合徵兵署及警備隊區徵兵署ハ島司郡市長ニ於テ適當ノ家屋ヲ撰定シ要スレハ吏員ヲ派シテ豫メ準備シ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官到著ノ上之ヲ開設スヘシ

一 徵募區ニ二箇所以上聯隊區徵兵署ヲ設ケントスルトキハ聯隊區徵兵官豫メ師管徵兵官ノ認可ヲ受ケ一箇所櫃ヲ壯丁百七十人交通不便ノ地ニ在テハ適宜ヲ召集スヘキ地ニ設ケヘシ

第五條 聯隊區徵兵署警備隊區徵兵署開設日制既ニ定マルトキハ島司郡市長、東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長ハ其ノ徵募區又ハ検査區内ニ於テ毎日検査ヲ受クヘキ壯丁ノ順序ヲ定メ期日ニ至リ壯丁ヲ徵兵署ニ出頭セシムヘシ

第六條 身體検査ヲ行フトキハ島司郡市書記、東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長ハ壯丁ヲ呼出シ軍醫ハ徵兵検査規則ニ依リ身體ヲ検査シ體格ノ等位其ノ他所要ノ件ヲ壯丁名簿(前年ノ假決名簿中検査ヲ受クヘキ者ノ名簿ヲ含有ス)ニ記入シ聯隊區司令官又ハ警備隊

司令官官ニ差出スヘシ

第七條 身體検査ヲ行フニ當リ壯丁ヲシテ裸體ナラシムルトキハ勉メテ別室若クハ隔障内ニ於テスヘシ

第八條 身體検査ハ毎年四月中旬ヨリ九月下旬迄ノ間ニ於テ之ヲ行フヲ例トス其ノ日割表ハ附録第十一様式ニ依リ之ヲ作り聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ師團長ニ報告シ師團長ハ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第九條 徵兵令第二十條第二十一條第二十二條ニ依リ徵集延期ニ屬スル者徵兵令第二十三條及明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スル者並ニ徵兵令第十九條ニ依リ兵役免除ニ屬スル者ニハ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ於テ附録第二第三様式ニ依リ徵集延期證書徵集猶豫證書兵役免除證書ヲ作り市ハ市長東京市京都市大阪市長ニ在テハ區長ヨリ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ付與セシムヘシ

徵集免除ニ屬シ國民兵役ニ服スル者ニハ前項ノ例ニ依リ本人ニ達スヘシ
第十條 徵兵令第二十二條ノ願ヲ許可セサル者及同條ノ事故繼續シテ三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル旨届出タル者ニシテ徵集免除ニ屬セサル者ニハ其ノ裁決書ヲ市ハ市長東京市京都市大阪市長ニ在テハ區長ヨリ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ町村長ヲシテ本人ニ付與セシムヘシ

明治二十八年勅令第二百二十六號第二條ノ願ヲ許可セサル者亦同シ
第十一條 陸軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ
一 歩兵ハ身體強健ニシテ能ク勞力及遠足ニ堪ユル者

二 騎兵ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ體格ハ輕捷ニシテ筋肉肥滿ニ過キサル者

三 砲兵ハ體力強大ニシテ視力清明ナル者

四 工兵ハ成ルヘク工兵ノ作業ニ適當シ勞力アル者

五 輜重兵砲兵輸卒輜重輸卒ハ成ルヘク馬匹ノ使用ニ慣レ且勞力アル者

六 砲兵助卒ハ身體強健ニシテ勞力アル者

七 職工ハ成ルヘク其ノ職ニ從事セシ者

八 看護卒ハ成ルヘク患者ノ取扱ニ慣レタル者

第十二條 海軍兵ニ編入スヘキ者ハ左ノ項目ニ依リ之ヲ選フヘシ

一 水兵ハ成ルヘク帆、錨、舵、櫓等ノ使用ニ慣レタル者

二 機關兵ハ成ルヘク汽機汽罐ノ取扱又ハ火焚ノ業ニ慣レタル者

三 軍樂生ハ齒列齊正ニシテ且指節ノ強剛ナラサル者

四 木工及鍛冶ハ成ルヘク其ノ職業ニ慣レタル者

五 看護ハ成ルヘク患者ノ取扱ニ慣レタル者

六 主厨ハ成ルヘク製菓ノ職ニ慣レタル者

第十三條 條例第二十七條ノ諸名簿ハ種類ヲ分テ之ヲ編綴シ冊尼ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官署名押印スヘシ

公權停止中若クハ逃亡失踪等ノ爲メ其ノ年徵集スルコト能ハサル壯丁ハ徵集延期名簿ニ志願兵出願中及認可ヲ受ケタル者六週間現役ニ服スヘキ者ハ徵集猶豫名簿ニ編入シ各假決ノ區畫ニ其ノ事由ヲ記スルコトス

第十四條 聯隊區ニ於テ歩兵ノ要員ヲ充スコト能ハサルトキハ聯隊區司令官ヨリ之ヲ師

團長ニ具狀シ師團長ハ師管内他ノ各聯隊區ニ配賦スヘシ其ノ配賦ハ壯丁ノ總數ヲ率トシ比例ヲ以テ之ヲ定ムルモノトス

第十五條 徵兵令第二十三條及明治二十八年勅令第百二十六號第二條ニ依リ徵集猶豫ニ屬スヘキ者ニハ身體検査ヲ施行セス

第十六條 疾病傷疾ノ爲メ身體検査ニ出頭セサル者ハ時宜ニ由リ其ノ家ニ就キ検査スヘシ

第十七條 抽籤施行ニ先タチ聯隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署若クハ聯隊區聯合徵兵署ニ於テ合格者ノ人員ヲ調査シ兵種及甲乙兩種ニ分チ籤札ヲ作ルヘシ

第十八條 籤札ハ附錄第四様式ニ依リ之ヲ作り籤箱ニ納レ之ヲ封鎖シ徵兵官徵兵事務員列席ノ前ニ置キ其ノ封ヲ披キ徵兵署事務員籤丁名簿ノ順序ニ氏名ヲ呼ヒ抽籤總代人ニ之ヲ抽カシム

第十九條 條例第二十九條ノ抽籤名簿ハ附錄第五様式ニ依リ之ヲ作り冊尾ニ徵兵官署名押印スヘシ

第二十條 抽籤總代人ハ抽ク所ノ番號ヲ高聲ニ呼ヒ其ノ籤札ヲ徵兵署事務員ニ渡シ徵兵署事務員ハ之ヲ籤丁名簿氏名ノ頭ニ貼附シ徵兵署印章ヲ以テ割印ヲ爲シ一人毎ニ之ヲ裁キ切リ總代人ニ交付スヘシ

第二十一條 身體検査ニ合格シタル壯丁中讀書算術ヲ能クシ且身元確實ナル者ニシテ抽籤ノ法ニ依ラス現役ニ服センコトヲ志願スル者アルトキハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官之ヲ許可スルコトヲ得

第二十二條 現役兵及補充兵ノ編入順序ハ左ノ如シ

- 一 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者(二人以上ナルトキハ年齢ノ順序同年齡ノ者ハ誕生月日ノ順序ニ從フ第二項第三項第四項第六項第七項第八項亦同シ)
- 二 甲種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者
- 三 甲種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者
- 四 第二十一條ニ依リ現役志願ヲ許可シタル者
- 五 甲種合格者ニシテ抽籤ノ者番號ノ順序ニ從フ第九項亦同シ
- 六 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十八條ニ當ル者
- 七 乙種合格者ニシテ徵兵令第十三條第五項及第二十三條ニ當リ抽籤ノ法ニ依ラスシテ徵集スル者
- 八 乙種合格者ニシテ徵兵令第二十七條ニ當リ徵集スル者
- 九 乙種合格者ニシテ抽籤ノ者

第二十三條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第三十一條ノ處分ヲ爲シタルトキハ附錄第六様式ニ依リ現役兵證書及補充兵證書ヲ作り市ハ市長ヲ經テ本人ニ付與シ郡又ハ島嶼ニ在テハ島市郡長及町村長ヲ經テ本人ニ付與スヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ尙ホ區長ヲ經由スヘシ

要員超過ノ爲メ國民兵役ニ服スル者ニハ前項ノ例ニ依リ其ノ由チ本人ニ達スヘシ

第二十四條 條例第三十一條ノ諸名簿ハ種類ヲ分テ編綴シ冊尾ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官署名押印スヘシ

第二十五條 條例第三十四條ノ徵兵表ハ附錄第七様式ニ準シ之ヲ作ルヘシ

第二十六條 壯丁名簿進達前(市ニ在テハ調製前)他ノ市町村ニ轉籍スル者アルトキハ市町村長ヨリ本人徵兵適齡届書ヲ添ヘ轉籍地ノ市町村長ニ通知スヘシ但シ原籍地東京市京都市大阪府ナルトキハ區長ヨリ又轉籍地同三市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第二十七條 壯丁名簿進達後條例第三十一條ノ處分前名簿ニ關スル異動ヲ生シタル者若クハ他ノ市町村ヨリ入籍シタル者アルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ抽籤前ハ島司郡長其ノ名簿ヲ訂正加除シ抽籤後ニ在テハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

市ニ在テ壯丁名簿調製後抽籤前本條ニ當ル者アルトキハ市長其ノ名簿ヲ訂正加除シ抽籤後條例第三十一條ノ處分前ニ在テハ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第二十八條 現役兵入營前及補充兵(補充兵證書付與後其ノ年十一月三十日以前ノ者)ノ名簿ニ關スル異動(轉入籍ヲ除ク)ヲ生シタルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

市ニ在テ前項ノ異動ハ市長之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ但東京市京都市大阪府ニ在テハ區長ヨリ聯隊區司令官及市長ニ通知スヘシ

第二十九條 壯丁名簿受領後(市ニ在テハ調製後)抽籤前徵募區外ニ轉籍スル者アルトキハ

島司郡市長ヨリ壯丁名簿若クハ條例第二十七條ノ名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知スヘシ但シ原籍地東京市京都市大阪府ナルトキハ區長ヨリ又轉籍地同三市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第三十條 身體検査後抽籤前ハ他ノ徵募區ニ轉籍スルモ總テ舊徵募區ニ於テ之ヲ處分シ其ノ合格者ハ新舊徵募區ノ最高番號ヲ率トシ比例ヲ以テ轉籍地徵募區同等番號ノ上位ニ列セシム但轉籍地徵募區現役兵補充兵ノ裁決後ニ係リ要員ニ超過スルトキハ順次之ヲ繰下クヘシ

身體検査前抽籤ヲ終リタル徵募區ニ轉籍シタル者アルトキハ成ルヘク其ノ年便宜ノ徵兵署ニ呼出シ身體検査ヲ爲シ受クヘシ

第三十一條 抽籤後徵集延期徵集猶豫若クハ入營延期翌年回ト爲リタル者ノ名簿ニ關スル異動ヲ生スル者アルトキハ町村長之ヲ島司郡長ニ報告シ島司郡長ハ其ノ名簿ヲ訂正加除スヘシ但市ニ在テハ市長東京市京都市大阪府ニ在テハ區長之ヲ訂正加除スヘシ其ノ徵募區外又ハ検査區外ニ轉籍スル者ハ島司郡市長ヨリ前項ノ名簿ヲ添ヘ轉籍地ノ島司又ハ郡市長ニ通知スヘシ但シ原籍地東京市京都市大阪府ナルトキハ區長ヨリ又轉籍地同三市ナルトキハ區長ニ通知スヘシ

第三十二條 聯隊區司令官又ハ警備隊司令官條例第四十九條現役入營前及補充兵轉籍ノ通報ヲ受ケタルトキハ之ヲ島司郡市長ニ通知シ島司郡長ハ町村長ニ達スヘシ但シ東京市京都市大阪府ニ在テハ區長ニモ通知スヘシ

第三十三條 徵兵令第十三條第五項及條例第六十四條ニ當ル者アルトキハ町村長ハ戶籍ニ基キ壯丁名簿ヲ作り島司又ハ郡長ニ差出シ市ニ在テハ市長其ノ名簿ヲ作ルヘシ但シ

東京市、京都市、大阪市ニ在テハ區長其ノ取扱ヲ爲スヘシ

第三十四條 現役兵入營ノ期ニ先タチ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ現役兵入營地若クハ集合地ニ到ル日數ヲ量リ召集ノ場所及日時ヲ定メ島司郡市長及町村長ヲ經テ之ヲ各自ニ達スヘシ但シ東京市、京都市、大阪市ニ在テハ尙ホ區長ヲ經由スヘシ

聯隊區外又ハ警備隊區外ニ轉籍シタル者ニ在テハ舊住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ其ノ召集ノ場所及日時ヲ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ新住地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ前項ノ例ニ依リ之ヲ各自ニ達スヘシ

第三十五條 條例第四十三條及第六十五條ニ依ルル集合地ハ左ノ如シ

麻布、横濱、高崎、長野、佐倉、水戸、本郷、宇都宮聯隊區ハ	近衛兵 集合地	東京	海軍兵 集合地	横須賀	第七師團 兵集合地	宇都宮
仙臺、福島聯隊區ハ	同	白河	同	白河	同	仙臺
新發田、柏崎聯隊區ハ	同	直江津	同	直江津	同	仙臺
弘前、盛岡、秋田、山形聯隊區ハ	同	仙臺	同	仙臺	同	青森
名古屋、津、豊橋、靜岡、聯隊區ハ	同	沼津	同	四日市	同	
金澤、富山聯隊區ハ	同	直江津	同	敦賀	同	
鯖江、岐阜聯隊區ハ	同	名古屋	同	敦賀	同	
大阪、和歌山、大津、京都聯隊區ハ	同	京都	同	神戸	同	
福知山、神戸、姫路、鳥取聯隊區ハ	同	神戸	同	姫路	同	
廣島、尾道、山口、濱田聯隊區ハ	同	尾道	同	吳	同	
丸龜、徳島、松山聯隊區ハ	同	丸龜	同	丸龜	同	

高知聯隊區ハ

同 神戸 同 神戸

熊本、大村、鹿兒島、宮崎、小倉、大分、福岡、佐賀聯隊區ハ

同 門司 同 佐世保

札幌、函館、旭川、釧路聯隊區ハ

同 青森 同 青森

對馬警備隊區ハ

同 門司 同 青森

第三十六條 東京衛戍及大阪衛戍ニ入營セシムル現役兵ハ條例第四十三條但書ニ依リ引率員ヲ附シ之ヲシテ當該隊長ニ交附セシム對馬要塞砲兵隊ニ入營セシムル現役兵亦同シ

第三十七條 近衛師團第七師團及海軍現役兵入營ノ期ニ先タチ近衛師團第七師團司令部及海兵團ニ於テ入營兵集合地ヨリ入營地ニ到ル日數ヲ量リ集合地到着ノ日割ヲ定メ豫メ之ヲ各聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第三十八條 條例第四十四條ノ入營延期願濟ノ者其ノ他事故不參ノ者アルトキハ聯隊區司令官又ハ入營地或ハ集合地派遣ノ聯隊區又ハ警備隊司令部員(聯隊區司令部所在ノ入營地ニ在テハ聯隊區司令官)ヨリ各隊長又ハ近衛師團若ハ海軍入營兵受領員ニ其ノ由ヲ通知スヘシ

第三十九條 條例第四十六條ニ依リ第一補充兵若クハ海軍補充兵ヲ以テ現役兵ノ缺員ヲ補フニハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ其ノ取扱ヲ爲スヘシ但シ他ノ聯隊區又ハ警備隊區ニ轉籍シタル者ニシテ入營セサル者ノ補缺ハ轉籍地聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ノ通知ヲ得テ其ノ取扱ヲ爲スヘシ

現役兵入營後ノ補缺ハ各隊長又ハ海兵團長ヨリ當該聯隊區司令官ニ通知スルモノトス

第四十條 入營地又ハ集合地派遣ノ聯隊區司令部員又ハ警備隊司令部員ハ現役兵ニ交附ノ際ニ於テ永久兵役ニ堪ヘ難キ者ト認メタル者アルトキハ一時入營ヲ差止メ其ノ診斷證書ヲ添ヘ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ具申スヘシ

第四十一條 現役兵第一補充兵及現役兵ニ繰上ケタル海軍補充兵ハ島司郡市長ヨリ各自ノ戶籍寫ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送附シ聯隊區司令官ハ第一補充兵ニ繰上ケサル者ヲ除クノ外之ヲ各隊長又ハ海兵團長ニ送附スヘシ

第四十二條 條例第四十九條及本則第二十八條ニ當ル現役兵入營前ノ異動ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官(條例第四十九條ノ異動ハ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官)ヨリ各隊長又ハ海兵團長ニ通知スヘシ

第四十三條 現役兵入營前徵集延期若クハ入營延期翌年同ト爲リタル者又ハ兵役免除ト爲リタル者ノ名簿ハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ島司郡市長ニ送附スヘシ但東京市、京都市、大阪市ニ在テハ尙ホ市長ヨリ區長ニ送附スヘシ

前項ノ名簿中入營延期翌年同ト爲リタル者ノ名簿ハ島司郡市長、京都市、京都市、大阪市ニ在テハ區長之ヲ徵集延期名簿ニ編入スヘシ

第四十四條 補充兵ニシテ他ノ徵募區ニ轉籍(抽籤後其ノ年十一月三十日迄ニ係ルモノヲ包含ス)シタル者ハ新舊住地徵募區同種補充兵最高ノ抽籤番號ヲ率トシ比例ヲ以テ相當番號ノ上位ニ列セシムヘシ

第四十五條 前條ノ轉籍者アルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヨリ島司郡市長ニ通知スヘシ但シ東京市、京都市、大阪市ニ在テハ尙ホ區長ニ通知スヘシ
其ノ轉籍聯隊區外又ハ警備隊區外ニ係ルトキハ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官其ノ名

簿ヲ添ヘ舊住地徵募區ノ同種補充兵最高ノ抽籤番號ヲ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知スヘシ

第四十六條 現役兵入營前及補充兵ニシテ轉籍シタル者ノ現役兵證書、補充兵證書ハ總テ轉籍地ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ於テ訂正スヘシ

第四十七條 現役兵證書、補充兵證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ更ニ下渡ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ請求シ徵集延期證書、徵集猶豫證書及兵役免除證書ヲ失ヒ又ハ損傷シタル者ハ更ニ下渡ヲ島司郡市長(京都市、京都市、大阪市ニ在テハ區長)ニ請求スヘシ

第四十八條 條例第五十條ノ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ハ成年以上ノ男子ニ限ル

第四十九條 條例第五十三條及第六十三條ニ依リ他ノ徵募區ニ於テ身體検査ヲ受クルコトヲ許可シタルトキハ島司郡市長ハ附錄第一様式ニ準シ假壯丁名簿ヲ作り徵兵署ニ提出スヘシ

前項ノ者身體検査終ルトキハ假壯丁名簿ニ検査ノ結果及兵種選定ノ見込ヲ記入シ直ニ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ヨリ本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ送附スヘシ

第五十條 條例第五十三條及第六十三條ニ依リ他ノ徵集區ニ於テ検査ヲ受ケタル者本籍徵募區ノ抽籤前日迄ニ前條第二項ノ名簿到達セサルトキハ其ノ年ノ検査成績ニ依リ翌年假決若クハ終決ノ處分ヲ爲スヘシ

第五十一條 條例第五十一條ノ願書ハ附錄第八様式ニ依リ身元證書ハ附錄第九様式ニ依リ合格證書ハ附錄第十様式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第七類 第二章 徵兵事務條例施行細則中北海道沖繩縣小笠原島ニ施行シ難キ件 八〇六

附則

第五十二條 第二條中明治二十八年勅令第百二十六號第三條ニ當ル者ノ人名書ハ明治二十九年ニ於テハ明治二十八年陸軍省令第三十號第三項ニ依リ作りタル名簿ヲ以テ之ニ換フヘシ

第五十三條 本則中町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戸長又ハ之ニ準スヘキモノトス

(附錄様式略ス)

●徵兵事務條例施行細則中北海道、沖繩縣、小笠原島ニ施行シ難キ件

取扱方(明治三十一年三月陸軍省令第三號)

徵兵事務條例施行細則中北海道及沖繩縣並小笠原島ニ施行シ難キ諸件ハ當分左ノ諸項ニ依ル

- 一 明治三十年勅令第二百五十八號第二項ニ依リ徵集免除ニ屬スヘキ者及同第三項ニ依リ徵集猶豫ニ屬スヘキ者ニハ身體検査ヲ施行セス(三十二年陸軍省令第十號改正ニ依リ)
- 二 明治三十年勅令第二百五十八號ニ依リ徵集免除徵集猶豫ニ屬スル者ニハ徵兵事務條例施行細則第九條ノ例ニ依リ徵集猶豫證書ヲ付與シ又ハ徵集免除ノコトヲ達スヘシ其ノ徵集免除又ハ徵集猶豫願ヲ許可セサル者ニハ徵兵事務條例施行細則第十條ノ例ニ依リ裁決書ヲ付與スヘシ
- 三 沖繩警備隊區ニ於テ要員ヲ充スコト能ハサルトキハ警備隊司令官ヨリ第六師團長ニ第六師團長ハ之ヲ陸軍大臣ニ具狀スヘシ
- 四 徵兵事務條例施行細則第二十五條ニ依ル第六師管徵兵表其一中沖繩警備隊區ヨリ第

- 十二師團ニ徵集スル現役兵ノ人員ハ之ヲ朱書シ第六師團ニ徵集スルモノト區分スヘシ
- 五 沖繩縣ノ島司郡區長ハ現役兵及第一補充兵現役兵ニ繰上ケタル海軍補充兵ノ戶籍除キ警備隊司令官ニ送付シ警備隊司令官ハ第一補充兵ニシテ現役兵ニ繰上ケサル者ヲ寫ク外之ヲ各隊長又ハ海兵團長ニ送付スヘシ
- 六 徵兵事務條例補則第十一條ノ引卒吏員ハ現役兵交付ノ際徵兵事務條例第四十四條ノ入營延期願濟ノ者其他事故不參者ノ人名ヲ各隊或ハ海兵團ニ通知シ又引率ノ際永久兵役ニ堪ヘ難キト認ムル者アルトキハ警備隊司令官ニ通知スヘシ
- 七 徵兵事務條例施行細則中ニ記載スル警備隊司令官ノ職務ハ沖繩縣警備隊區ニ在テハ警備隊司令官之ヲ行フ
- 沖繩縣ニ在テ市長ノ職務ハ區長、市書記ノ職務ハ區書記、町村長ノ職務ハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ
- 北海道ニ在テ郡市長ノ職務ハ北海道廳支廳長、郡市書記ノ職務ハ北海道廳支廳ノ屬之ヲ行ヒ小笠原島ニ在テ町村長ノ職務ハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ
- 八 前諸項中警備隊區ニ係ル事項ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス其以前ニ在テ警備隊司令官ノ職務ハ聯隊區司令官之ヲ行フ
- 九 北海道ニ在テ一徵募區ニ二箇所以上徵兵署ヲ設ケントスルトキ一箇所ニ召集スヘキ壯丁ノ數ハ徵兵事務條例施行細則第四條第二項ノ例ニ依ラサルコトヲ得(三十一年陸軍省令第八號ヲ以テ追加)

●舊徵兵令交渉ノ件取扱方(明治二十二年三月陸軍省訓令第三號)

本年法律第一號ヲ以テ徵兵令改正ニ付テハ舊徵兵令ニ交渉ノ件取扱方左ノ通定ム

第七類 第二章 舊徵兵令交渉ノ件取扱方

第一項 左ニ掲ケル者ハ月長ニ於テ徴兵事務條例施行細則第一條ニ依リ壯丁名簿ヲ作り
島司又ハ郡市長ニ差出サシム可シ

一 新令第四十條第四十一條ニ當リ徵集ニ應スヘキ者

二 舊令第十八條第五項第六項ニ當リ徵集猶豫中ノ者

三 舊令第十七條ニ當ル者ニシテ其資格ヲ失ヒ第十八條(第五項第六項ヲ除ク)第十九條
第二十一條ニ當ル者ニシテ其事故止ミ本年徵集ニ應スヘキ者

四 新令施行前逃亡失踪其他ノ事故ニテ翌年回シト爲リタル者

第二項 前項ノ壯丁名簿ハ島司郡市長ヨリ大隊區徵兵署又ハ警備隊區徵兵署ニ提出セシ
ム可シ

第三項 新令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條ニ當リ徵集延期
又ハ徵集猶豫中ノ者ハ別ニ壯丁名簿ヲ作ルヲ要セス從前ノ徵兵猶豫名簿ヲ島廳又ハ郡
區役所ニ備置キ異動ヲ生スル者アルトキハ訂正セシム可シ

●北海道ニ徴兵令施行ノ件 (明治二十八年九月勅令第二百二十六號)

第一條 明治二十九年一月一日ヨリ北海道渡島、後志、膽振、石狩ノ四箇國ニ徴兵令ヲ施行ス
明治三十一年一月一日ヨリ天鹽、北見、日高、十勝、釧路、根室、千島ノ七箇國ニ徴兵令ヲ施行ス
(三十年勅令第二百五十七號ヲ以テ追加)

第二條 前條ノ徵兵令施行地ニ轉籍移住シ開墾其ノ他一定ノ生業ニ従事スル者ハ轉籍移
住ノ後五箇年ニ滿ツル年迄徵集ヲ猶豫ス但轉籍移住ノ後前條ノ區域外ニ轉籍シ更ニ轉
籍移住シタル者ハ此ノ限ニアラス

第三條 屯田兵現役豫備役下士兵卒ノ戶籍内ニ在ル者ハ徵集ヲ免除ス(三十年勅令第二百

五十七號ヲ以テ改正三十一年一月一日ヨリ施行ス)

第四號 從來徵兵令ヲ施行セル函館江差福山ニハ本令ヲ適用スルノ限ニアラス

●沖繩縣、小笠原島ニ徴兵令施行ノ件 (明治三十年七月勅令第二百五十八號)

明治三十一年一月一日ヨリ沖繩縣及東京府管下小笠原島ニ徴兵令ヲ施行ス
沖繩縣壯丁ニシテ徵集ニ應スルトキハ從來ノ産業ヲ維持スルコト能ハスト認ムル者ハ特
ニ徵集ヲ免除ス

小笠原島ニ轉籍移住シ開墾其ノ他一定ノ生業ニ従事スル者ハ轉籍移住ノ後五箇年ニ滿ツ
ル年迄徵集ヲ猶豫ス但轉籍移住ノ後本島外ニ轉籍シ更ニ轉籍移住シタル者ハ此ノ限ニア
ラス

●徵兵令第二十二條ニ當ル官吏ハ豫メ認可ヲ請フ可シ (明治二十二年二月閣令第六號)

明治二十二年法律第一號徵兵令第二十二條ニ當ル餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉ス
ル官吏ハ豫メ其官廳ヨリ内閣ニ具狀シ認可ヲ請フ可シ

●官立府縣立師範學校卒業ノ者徵兵處分ノ件 (明治二十二年三月法律第八號)

官立府縣立師範學校生徒ニシテ明治二十二年中ニ卒業スル者ハ徵兵令第四十一條ニ據ラ
ス直ニ官立公立學校ノ教員ト爲ルコトヲ得其教員ト爲リタル者ハ同令第三十七條ニ據リ
處分スヘシ

●徵兵事務條例中旅管大隊區警備隊區徵兵醫官ニ關スル件 (明治二十八年一月勅令第二號)

戰時又ハ事變ニ際シテハ徵兵事務條例第十五號ノ規程ニ依ラス旅管徵兵醫官ハ陸軍一等
軍醫ヲ以テ之ニ充テ大隊區徵兵醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ノ職務ハ雇員ヲシテ之ニ従事

セシムルコトヲ得但雇員ハ醫術開業免狀ヲ所持スル者ニ限ル
雇員ヲシテ大隊隊徵區醫官又ハ警備隊區徵兵醫官ノ職務ニ従事セシムルトキハ徵兵體格
ノ等位ノ適否ハ旅管徵兵醫官之ヲ判定ス

●公使領事ヲ置カサル外國ニ留學ノ者徵兵徵集猶豫願書ニ證明書添付差出方

(明治二十八年一月陸軍省令第一號)

- 一 徵兵令第二十一條第二項ニ依リ徵集猶豫ヲ出願セントスル者ニシテ其願書ニ公使又ハ領事ノ證明書ヲ添ヘ三月一日迄ニ差出シ難キ事情アルモノハ海外旅券ヲ受取りタル官廳ノ承認書ヲ以テ公使又ハ領事ノ證明書ニ換ヘ同日迄ニ差出シ置キ追テ該證明書ヲ差出スコトヲ得
- 二 公使及領事ヲ置カサル國ニ在ル者ハ其徵集猶豫願書ニ海外旅券ヲ受取りタル官廳ノ證明書ヲ添ヘ差出スヘシ

●徵兵事務條例ニ依リ生徒ニ交付スル在學證明書ノ件 (明治十八年一月文部省第一號達)

府縣ニ於テ徵兵事務條例第十六條但書ニ據リ生徒ハ在學證明書ヲ交付スルトキハ左ノ書式ニ據ラシムヘシ此旨相達候事(第十六條ハ現行徵兵事務條例第五十五條ニ相當)
書式(用紙公用郵紙紙質適宜)

證明書

族 籍
姓
名
年 齡

右ハ本校何學科第何(級期)修業中ノ生徒ニシテ既ニ幾箇年ノ課程ヲ卒リタル者ナリ依テ之ヲ證明ス

年 月 日

何(府縣立)何學校長姓名印

○文部省(達明治十八年一月文部省直轄學校へ達)徵兵事務條例第十六條但書ニ據リ生徒ニ在學證明書ヲ交付スルトキハ左ノ書式ニ準據スヘシ此旨相達候事

證明書

右ハ本(學校)何學(部科)第何級修業中ノ(學生、生徒)ニシテ既ニ幾箇年ノ課程ヲ卒リタル者ナリ依テ之ヲ證明ス

年 月 日

大學總理
大學豫備門長
何學校長
姓
名
年 齡

●附籍者徵兵適齡届出及徵集方 (明治二十二年十一月陸軍省訓令甲第七號)

附籍者ニシテ徵兵適齡ノトキハ戶主ト家族ヲ問ハス戶主ヨリ家族ノミ他ハ附籍ノ場合ニ在テハ本籍戶主ヨリ徵兵令第二十五條ノ届書ヲ差出サシメ本籍ノ徵募兵ニ於テ徵集ニ應セシム可シ

●徵集延期若クハ猶豫中他徵集區ニ轉籍スル者アルトキ通知方 (明治二十二年十月陸軍省訓令甲第六號)

徵兵令第三十六條第三十七條第三十八條第三十九條及第四十一條ニ當リ徵集延期若クハ

徵集猶豫中他ノ徵募區ニ轉籍スル者アルトキハ島司郡市長ヨリ其名簿ヲ添へ轉籍地ノ島司郡市長ニ通知セシム可シ

但失踪逃亡其他ノ事故ニ依リ翌年回ト爲リタル者ニテ他ノ徵募區ニ轉籍スル者ノ取扱ヒ亦本文ニ同シ

●徵兵再検査ヲ爲シ徵否定ムルノ件 (明治二十七年二月陸軍省訓令甲第二號)

徵兵事務條例ニ依リ終決處分ヲ受ケサル者ニシテ志願ニ由リ現役軍人ト爲リ服役三箇年未滿ノ者若クハ常備兵籍ニ編入ノ諸生徒學生傷疾疾病其他ノ事故ニ由リ現役若クハ生徒學生ヲ免シ兵役上ニ關スル爾後ノ處分ヲ受ケサルモノハ更ニ徵兵検査ヲ爲シ其徵否ヲ定ムヘシ

但明治二十一年陸軍省訓令甲第六號(師團司令部ハ訓令乙第十三號)ヲ廢ス

●戰時若クハ事變ニ際シ陸軍現役輜重輸卒ノ入營在營及補充ノ件

(明治二十七年十一月勅令第百八十八號)

戰時若クハ事變ニ際シ必要アルトキハ陸軍現役輜重輸卒ノ入營時期ヲ三回以上トナシ其ノ在營期限ヲ伸縮シ及定員ニ拘ハラヌ入營セシムルコトヲ得其ノ要員ニ不足アルトキハ豫備徵兵ヲ以テ之ヲ補充ス

●入營ヲ命セサル陸軍輜重輸卒服役免除ノ件 (明治二十九年二月勅令第十二號)

明治二十一年以前ニ徵募シタル陸軍輜重輸卒中入營ヲ命セス郷里ニ在テ服役セシムル者ニシテ明治二十九年十一月三十日迄ニ後備役滿期ニ至ラサル者ハ同日限り服役ヲ免シ第二國民兵ニ編入ス

●現役砲兵輸卒及現役輜重輸卒疾病犯罪ノタメ入營シ難キ者取扱

方 (明治三十年四月陸軍省訓令甲第四號)

明治二十六年陸軍省訓令甲第六號ヲ廢シ更ニ現役砲兵輸卒及現役輜重輸卒ニシテ疾病犯罪等ノ爲メ入營シ難キ者ノ取扱左ノ通定ム

一 疾病犯罪等ノ爲メ入營シ難キ者ハ漸次次期ニ繰下ケ入營セシメ其終期ニ於テ入營シ難キ者ハ次年徵募ノ現役兵同時ニ入營セシム

二 其事故繼續シ若クハ再發シ次年第二期(仙臺弘前札幌金澤ノ各衛戍地ニ在テハ第一期)以後ニ至ルモ仍ホ入營シ難キ者アルトキハ徵兵検査ノ際身體検査ヲ爲シ徵集ニ適スル者ハ前項ノ例ニ依リ取扱ヒ其徵集ニ適セサル者ハ徵集免除若クハ兵役免除ノ處分ヲ爲ス

三 入營ヲ次年ニ繰下ケタル爲メ所要人員超過スルトキハ抽籤番號ノ最モ高キ者ヨリ漸次次期ニ繰下ケ終期ニ於テ仍ホ要員ニ超過スルトキハ次年ニ繰下ケヘシ

●寄留地ニ於テ徵兵身體検査出願取扱ノ件 (明治三十年四月陸軍省訓令甲第三號)

聯隊區内又ハ警備隊區内他ノ徵募區ニ寄留シ徵兵事務條例第五十三條ニ依リ其地ニ於テ身體検査ヲ受ケルコトヲ願出ル者アルトキハ島司郡市長ヨリ之ヲ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ協議シ徵募上故障ナキ者ニ限り許可セシムヘシ

●陸軍六週間現役兵條例 (明治二十八年十月勅令第百四十一號)

第一條 徵兵令第十三條第三項ニ依リ六週間陸軍現役ニ服セシムヘキ者ハ教職ニ就キタル

年若クハ其ノ翌年ニ於テ其ノ居住地師管内ノ歩兵隊(警備隊ヲ置ク島嶼ニ在テハ警備隊、臺灣ニ在テハ最寄ノ歩兵隊)ニ編入シ服役セシム(三十二年勅令第百十五號ヲ以テ分註ヲ改ム)

第二條 六週間現役兵ノ入營期日ハ毎年六月一日「臺灣ニ在テハ十月一日」トス但疾病其ノ他ノ事故ニ由リ期日ヨリ三日以内ニ入營シ難キ者ハ翌年徴集ス(三十二年勅令第百十五號ヲ以テ分註ヲ加フ)

戰時若クハ事變ニ際シテハ其ノ徴集ヲ延ハスコトアルヘシ

第三條 現役服役日數ハ入營期日ヨリ起算ス

第四條 六週間現役兵ノ教育ハ聯隊長(獨立大隊ニ在テハ隊長警備隊ニ在テハ司令官以下之ニ倣フ)其ノ責ニ任ス

第五條 六週間現役兵中勤務勉勵品行方正ニシテ第二國民兵ヲ以テ編成スル部隊ノ幹部タルヲ得ヘキ材幹アル者ニハ聯隊長其成績ヲ具シ順序ヲ經テ師團長「臺灣ニ在テハ旅團長」ノ認可ヲ受ケ國民軍幹部適任證書ヲ授與ス(三十二年勅令第百十五號ヲ以テ分註ヲ改ム)

第六條 六週間現役兵ノ身體検査ハ入營スヘキ年ニ於テ一般ノ徴兵検査ト同時ニ之ヲ行フ徴集ニ適セサル者ハ徴兵検査規則ニ照シ處分ス
北海道、臺灣及沖繩縣ニ在ル身體検査ニ關スル規程ハ陸軍大臣別ニ之ヲ定ム(三十二年勅令第百十五號ヲ以テ臺灣ノ二字ヲ加フ)

第七條 検査往復旅費及入營旅費ハ官給ス

附則

第八條 北海道ニ在ル者ハ第七師管ニ常備歩兵隊ヲ置ク迄ハ第二師管ノ歩兵隊ニ編入シ服役セシム

第九條 本令ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

●陸軍六週間現役兵條例施行細則(明治三十年四月陸軍省令第九號)

第一條 六週間現役兵ノ身體検査ハ敎職ニ就キタル年居住地所在ノ聯隊區内又ハ警備隊區内便宜ノ徴兵署ニ於テ之ヲ行フ但其ノ年ノ入營期日ニ切迫シ若クハ入營期日後敎職トナリタル者ハ翌年廻トス

第二條 府縣廳ニ於テハ徴兵事務條例施行細則第一様式ニ準シ六週間現役兵名簿ヲ作り身體検査ニ先タチ之ヲ聯隊司令官又ハ警備隊司令官沖繩警備隊區ニ在テハ該司令官以下同シニ送付シ検査ノ手續ヲ協議スヘシ但官立小學校ノ敎職モ亦本文同様該校所在府縣ニ於テ取扱フヘシ(三十一年陸軍省令第四號ヲ以テ分註ヲ加フ)

第三條 聯隊區司令官警備隊司令官ハ六週間現役兵ノ身體検査ニ關シテハ尋常徴兵ト同一ノ取扱ヲ爲シ合格者ニハ附録第一様式ノ合格證書ヲ付與シ其ノ名簿ヲ師團長ニ差出し且其ノ成績ヲ北海道廳長官又ハ府縣知事ニ通知スヘシ

其ノ徴集ニ適セサル者ハ徴集延期徴集免除又ハ兵役免除ノ處分ヲ爲シ徴集延期名簿ヲ北海道廳又ハ府縣廳ニ送付シ合格者並ニ徴集延期者ノ人名書徴集免除名簿及兵役免除名簿ヲ本籍所管ノ島司郡市長(北海道ニ在テハ北海道廳支廳長、東京市、京都市、大阪市及沖

繩縣ノ區ニ在テハ區長以下同シニ送付スヘシ(三十一年陸軍省令第四號三十二年同省令第九號改正ニ依ル)

第四條 師團長ハ合格者在職地ノ遠近ニ應シ適宜之ヲ各隊ニ配付スヘシ(同上省令ヲ以テ但書削除)

第五條 北海道及沖繩縣ニ在テハ師團長地方長官協議ノ上時宜ニ依リ教職ニ就クヘキ年身體検査ヲ爲シ又北海道ニ在テハ居住地所在ノ聯隊區外ニ於テ身體検査ヲ爲スコトヲ得(三十一年陸軍省令第四號ヲ以テ改正)

第六條 身體検査後入營前教職ヲ罷メタル者アルトキハ道廳府縣廳ヨリ直ニ師團司令部ニ通報スヘシ(三十一年陸軍省令第四號ヲ以テ但書削除三十二年同省令第九號ヲ以テ本條中改正)

第七條 臺灣ニ在ル者ノ身體検査ハ左ノ諸項ニ依リ施行スヘシ(三十二年陸軍省令第九號ヲ以テ改正)

- 一 總督府ニ於テハ身體検査ヲ受クヘキ者ヲ調査シ徵兵事務條例施行細則第一機式ニ準シ六週間現役兵名簿ヲ作り最寄ノ步兵隊ニ送付シ身體検査ヲ施行セシムヘシ
- 二 步兵隊長ハ第三條第一項ニ準シ身體検査及徵否ノ取扱ヲ爲シ合格者ニハ合格證書ヲ附與シ合格者及徵集延期ニ屬スル者ノ名簿ヲ總督府ニ差出シ總督府ニ於テハ第四條ニ準シ合格者ヲ各步兵隊ニ配賦スヘシ
- 三 步兵隊長ハ合格者及徵集延期ニ屬スヘキ者ノ人名書若クハ徵集ニ適セサル者ノ名簿ヲ添ヘ本籍所管ノ聯隊區又ハ警備隊區徵兵官ニ通知シ該徵兵官ハ其徵集ニ適セサルモノノ處分ヲ爲スヘシ

第八條 六週間現役兵退營スルトキハ聯隊長(獨立大隊ニ在テハ其隊長警備隊ニ在テハ該司令官以下同シ)ハ該名簿ヲ本籍所管ノ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付シ聯隊區司令官警備隊司令官ハ之ヲ島司郡市長ニ送付スヘシ

條例第五條ニ依リ國民軍幹部適任證書ヲ授與シタル者アルトキハ聯隊長其ノ旨ヲ名簿ニ記載シ其ノ國民軍幹部適任證書ハ附錄第二機式ニ準シ調製スヘシ

第九條 國民軍幹部適任證書ヲ授與セラレタル者ニシテ懲戒處分ヲ受ケ又ハ家資分散若クハ破産ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ證書ヲ返還セシム

第十條 前條條ニ掲ケルモノノ外ハ師團長及道廳長官府縣知事協議ノ上之ヲ定メ臺灣ニ在テハ臺灣總督之ヲ定ムヘシ(三十二年陸軍省令第九號改正ニ依ル)

附則

明治三十年ニ於テ徵募スル六週間現役兵ノ身體検査ハ聯隊區司令部若クハ聯隊區内便宜ノ地ニ於テ施行スルコトヲ得

沖繩警備隊區ニ係ル事項ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス其以前ニ在テ警備隊區司令官ノ職務ハ聯隊區司令官之ヲ行フ(三十一年陸軍省令第四號附則トシテ追加)

(第一第二機式畧ス)

●沖繩縣ニ徵兵令中六週間現役兵施行ノ件 (明治二十八年十月勅令第四百二十二號)

明治二十九年一月一日ヨリ沖繩縣ニ徵兵令第十三條第三項第四項ヲ施行ス

●陸軍一年志願兵條例 (明治二十六年七月勅令第七十三號)

第一條 徵兵令第十三條ニ據リ一年志願兵トナル者ハ服役スヘキ兵科及衛戍地ヲ選フコト

ヲ得但第四條ニ當ル者ハ此限ニ在ラス（二十八年勅令第三十四號三十二年勅令第百十四號改正ニ依ル）

第二條 一年志願兵ニハ所屬隊ヨリ糧食被服裝具兵器彈藥ノ現品ヲ給シ被服裝具費彈藥費及兵器修理費トシテ金六十二圓糧食費トシテ金二十八圓ヲ納メシム又騎兵科ニ入ル者ニハ馬匹ヲ貸與シ馬糧費裝蹄費剔毛費及馬藥費トシテ更ニ金七十五圓ヲ納メシム以上ノ金額ニテ不足ヲ生スルトキハ之ヲ追徴シ殘餘アルトキハ之ヲ還付シ兵器ハ本人滿期ノ際之ヲ返納セシム

第三條 一年志願兵ハ在營セシムルヲ例トス但本人ノ願ニ依リ聯隊長（聯隊ヲ成ササル隊ニ在テハ該隊長以下同シ）外泊ヲ許シ通勤セシムルコトヲ得

第四條 費用ノ金額ヲ自辨シ能ハサルノ證アル者ハ糧食費外ノ費用ヲ官給ス

第五條 一年志願兵ハ總テ無給料トス其檢査往復並ニ入營退營旅費亦自辨トス

第六條 官費服役ヲ許スヘキ一年志願兵ノ定員ハ毎年陸軍大臣之ヲ定ム

官費服役出願者前項ノ定員ヲ超過スルトキハ年少ノ者ヨリ順次次年ニ廻シ入隊セシム（二十八年勅令第三十四條ヲ以テ本項追加）

第七條 一年志願兵ハ現役滿期ノ後六箇年四箇月間豫備役ニ服セシム（二十八年勅令第三十四號ヲ以テ全條改正）

豫備役後備役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セ

ス

第八條 一年志願兵志願者ハ其願書ヲ一月三十一日迄ニ本籍ノ島司郡市長（東京市京都市大阪市ノ三市及沖繩縣ノ區ニ在テハ區長北海道ニ在テハ北海道支廳長又ハ區長以下同シ）ヲ經テ居住地所管ノ師團長ニ差出スヘシ但徵兵令第十三條ノ學校卒業者ハ卒業證書ノ寫及戶主ニアラサルモノハ戶主二十歲未滿者ハ戶主若クハ後見人及親權ヲ行フ父又ハ母ノ承認書ヲ添附スルヲ要ス（二十八年勅令第三十四號、二十九年勅令第百九十一號、三十二年勅令第百十四號（三十二年勅令第百廿四號改正ニ依ル）

島司郡市長ハ志願者ノ身元資産並ニ犯罪有無ノ證明書ヲ製シ其願書ニ添付スヘシ

第九條 前條ノ志願者ニシテ一月三十一日迄ニ徵兵令第十三條ノ學校ヲ卒業セサル者ハ其年十一月三十一日迄ニ卒業スヘキ者ニ限リ學校長ノ證明書ヲ以テ卒業證書寫ニ換フルヲ得但卒業ノ上ハ直チニ卒業證書寫ヲ添ヘ師團長ニ届出スヘシ（二十八年勅令第三十四號、二十九年勅令第百九十一號改正ニ依ル）

第十條 師團長ハ第八條ノ志願者中學術試驗ヲ受クヘキ者ノ人員ヲ各檢査場ニ區分シ二月二十日迄ニ教育總監ニ通報シ又人名書ヲ身體檢査ヲ爲サシムヘキ軍醫ニ下付スルモノトス（二十九年勅令百九十一號三十二年勅令第百十四號改正ニ依ル）

第十一條 一年志願兵ノ學術試驗格例ハ毎年陸軍大臣之ヲ告達ス（三十二年勅令第百十四號ヲ以テ本條中削除）

第十二條 師團長ハ學術試験ヲ受クヘキ者ノ身體検査時日ヲ定メ北海道廳長府縣知事ニ通達シ本人ヲ検査地ニ召集ス(二十三年勅令第二百二十四號改正)

第十三條 師團長ハ軍醫ヲシテ學術試験ヲ受クヘキ者ノ身體検査ヲ爲サシメ其合格者ハ陸軍將校生徒試験臨時委員ヲシテ學術試験ヲ行ハシム(二十七年勅令第八號ヲ以テ本條中改正第二項ヲ削除二十九年勅令第九十一號ヲ以テ本條中改正)

第十四條 師團長ハ試験ノ成績ニ據リ及第落第ヲ定メ及第者ニハ一年志願兵認定證書ヲ付與シ落第者ニハ其旨ヲ通知スヘシ(二十七年勅令第八號、二十九年勅令第九十一號ヲ以テ本條中改正)

第八條 但書ノ卒業者及第九條ニ當ル通常ノ徵兵ト同時ニ身體検査ヲ爲シ合格者ニハ一年志願兵認定證書ヲ付與シ合格者ニハ其旨ヲ通知スヘシ但第九條ニ當ル者ノ認定證書ハ同條但書ノ届出ヲ爲シタルトキ之ヲ付與スルモノトス

第十四條ニ當ル者ハ認定證書ノ外別ニ官費服役證書ヲ付與スヘシ

第十五條 一年志願兵ノ入隊期日ハ毎年十二月一日トス

第十六條 一年志願兵認定證書ヲ受ケタル者ハ入隊スヘキ年ノ十一月三十日迄ニ第二條若クハ第四條ノ金額ヲ所屬隊ニ納付スヘシ但入隊前外泊ノ許可ヲ受ケタル者ハ第二條ノ糧食費ヲ控除シ納付スヘシ

第十七條 一年志願兵教育ニ關シテハ聯隊長其責ニ任スルモノトス

第十八條 一年志願兵中勤務熟達品行方正ニシテ豫備士官タルヲ得ヘキ材幹アル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ四箇月ノ後一等卒ヲ命シ通常教育ノ外特別ノ教育ヲ授ケ更ニ二箇月ノ後上等兵ト爲シ下士ノ勤務ヲ爲サシメ更ニ三箇月ノ後伍長ノ階級ニ進メ諸勤務ヲ練習セシム其ノ一等卒上等兵ヲ命シ及伍長階級ニ進ムルハ聯隊長ニ於テスルモノトス(三十二年勅令第十四號ヲ以テ本條中追加三十二年勅令第二百二十四號ヲ以テ改正)

其服役滿期ニ際シテハ聯隊長終末試験委員ヲシテ終末試験ヲ爲サシメ其成績ヲ具シ師團長(旅團長ノ下ニ在ル聯隊長ハ旅團長ヲ經テ)ノ許可ヲ受ケ及第者ニハ終末試験及第證書ヲ授與シ軍曹ニ其落第者ハ伍長ニ任シ豫備役ニ編入ス(二十九年勅令第九十一號ヲ以テ本條中削除三十二年勅令第二百二十四號ヲ以テ改正)

第十九條 前條及第二十二條ノ選ニ當ラサル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ六箇月ノ後一等卒ヲ命シ更ニ三箇月ノ後上等兵ト爲シ通常教育ノ外下士タルノ教育ヲ授ケ服役滿期ノ際其成績優等ノ者ハ師團長ノ認可ヲ受ケ下士適任證書ヲ付與シ若シクハ之ヲ付與セスシテ豫備役ニ編入ス(二十九年勅令第九十一號ヲ以テ本條中削除)

第二十條 第十八條及第二十二條ニ當ル者ニシテ疾病其他ノ事故ニ由リ豫備士官ト爲スノ見込ナキニ至リタルトキハ第十九條ノ例ニ準シ取扱フモノトス

第二十一條 醫學藥學理財學若クハ商業學ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ步兵隊(理財學商業學卒業證書ヲ所持スル者ハ師團司令部所在地ノ步兵隊ニ限ル)ニ獸醫學ノ卒業證書ヲ所

持スル者ハ騎兵隊野戰砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ於テ前半年間隊列勤務ヲ爲シ後半年ノ初ニ於テ軍醫生藥劑生獸醫生又ハ軍吏生ト爲リ各専門ノ勤務ヲ練習スルコトヲ得志願ノ者ハ入隊ノ際其卒業證書寫ヲ添へ出願スヘシ

前項ノ獸醫生タラントスル者ハ第二條ノ馬匹ニ關スル納金ヲ要セス

第二十二條 前條ノ志願者中勤務勉勵品行方正ニシテ豫備士官タルヲ得ヘキ志操アル者ハ入隊ノ日ヨリ起算シ四箇月ノ後一等卒ヲ命シ更ニ二箇月ノ後上等兵ヲ命スヘシ之ニ軍醫生藥劑生獸醫生軍吏生ヲ命スルニハ師團監督部長若クハ軍醫部長獸醫部長ヨリ師團長ノ認可ヲ受クルモノトス但軍吏生ト爲シタル者ハ下士ノ勤務ヲ爲サシム(三十三年勅令第二百二十四號ヲ以テ改正)

一等卒及上等兵ヲ命スルハ聯隊長ニ於テスルモノトス(三十二年勅令第四百十四號ヲ以テ追加三十三年勅令第二百二十四號ヲ以テ改正)

第二十三條 軍醫生ノ教育ハ該隊上級醫官藥劑生ノ教育ハ衛戍病院長獸醫生ノ教育ハ該隊上級ノ醫獸官軍吏生ノ教育ハ師團監督部長各其責ニ任スルモノトス

第二十四條 軍醫生藥劑生獸醫生ハ曹長同等ノ取扱ヲ受クルモノトス

第二十五條 軍醫生藥劑生獸醫生及軍吏生ト爲シタル者ハ服役滿期ノ際師團監督部長軍醫部長若クハ獸醫部長終末試験委員ヲシテ終末試験ヲ爲サシメ其及第者ニハ(師團長ノ認可ヲ受ケ)終末試験及第證書ヲ授與シ豫備役ニ編入ス(二十九年勅令第九十一號三十三

年勅令第二百二十四號ヲ以テ改正)

其ノ落第者ニ在テハ軍醫生及藥劑生ニハ衛生部下士適任證書獸醫生ニハ蹄鐵工長適任證書軍吏生ハ之ヲ伍長ニ任シ之ニ計手適任證書ヲ付與シ豫備役ニ編入ス

衛生部下士適任證書ハ軍醫部長蹄鐵工長適任證書ハ聯隊長之ヲ付與シ伍長ハ師團長ノ認可ヲ受ケ聯隊長之ヲ任シ計手適任證書ハ監督部長之ヲ付與ス(三十三年勅令第二百二十四號ヲ以テ第一第二項全項改正)

第二十六條 師團長及師團監督部長ハ毎年一月志願兵ノ終末試験格例ヲ定メ豫メ之ヲ告達ス

第二十七條 終末試験委員ハ聯隊長監督部長之ヲ編製ス軍醫生藥劑生獸醫生ノ終末試験委員ハ師團長之ヲ編成シ軍醫部長及獸醫部長ノ指揮ニ屬ス(二十九年勅令第九十一號改正ニ依ル)

第二十八條 第十八條及第二十二條ニ依リ上等兵ト爲シタル者ハ成ルヘク兵卒ト居室ヲ異ニシ將校ト共ニ會食セシムヘシ

第二十九條 一年志願兵ノ服制ハ別ニ定ムルモノノ外其階級ニ應シ各兵科ノ下士兵卒ト同一トス但軍醫生藥劑生獸醫生ハ該隊曹長ト同一トス(二十七年勅令第八號三十三年勅令第二百廿四號改正ニ依ル)

軍醫生藥劑生獸醫生軍吏生ハ之ヲ命シタル日ヨリ襟ニ特別ノ徽章ヲ附ス(二十七年勅令

第八號ヲ以テ本項追加)

第三十條 戰時若クハ事變ニ際シテハ一年志願兵ト雖モ通常ノ現役勤務ニ服セシムルコトアルハシ(二十八年勅令第三十四號改正ニ依ル)

第三十一條 一年志願兵入隊前禁錮以上ノ刑ニ處セラレ又ハ死亡シタルトキハ其親族ヨリ該隊所管ノ師團長ニ届出ヘシ(二十九年勅令第九十一號三十二年勅令第十四號ヲ以テ本條中改正)

第三十二條 一年志願兵認定證書ヲ所持スル者疾病其他止ヲ得サル事故ニ由リ十二月一日ニ入隊シ難キトキハ證明書類ヲ添へ入隊延期ヲ該隊所管ノ旅團長ニ出願スヘシ(三十二年勅令第十四號ヲ以テ本條中追加)

前項ノ事故アル者十二月三十一日ヲ過ルモ入隊シ難シト認ムルトキハ旅團長之ヲ次年廻シト爲シ聯隊長及本人ニ通知スヘシ

第三十三條 一年志願兵入隊シタルトキ若クハ次年廻シト爲リタルトキハ本籍所管聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ届出ヘシ(二十九年勅令第九十一號ヲ以テ本條中改正)

第三十四條 一年志願兵認定證書ヲ得タル者正當ノ事由ナクシテ其年十二月一日ニ入隊セサルトキハ一年志願兵タルノ資格ヲ失フモノトス

第三十五條 一年志願兵中左ノ事項ニ當ル者ハ兵役ヲ免シ第二國民兵役ニ服セシム但傷疾若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス(二十九年勅令第九十一號ヲ以

テ改正)

- 一 傷疾若クハ疾病ニ由リ服役ニ堪ヘ難キトキ
- 二 本人ヲ要スルニ非サレハ家族自活シ能ハサル事故ヲ生シ其ノ家族ヨリ免役ヲ願出タルトキ

第三十六條 前條ノ家族自活シ能ハサル事故ニ由リ免役ヲ願出テントスル者ハ其ノ願書ニ近隣ノ戸主二名ノ保證書ヲ添へ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官(沖繩警備隊區ニ在リテハ該司令官)ニ差出スヘシ但町村ニ於テハ町村長(町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ戸長又ハ之ニ準スヘキ者)ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス(二十九年勅令第九十一號ヲ以テ追加三十二年勅令第十四號ヲ以テ警備隊司令官ノ下ニ分註ヲ加フ)

島司郡市長ハ其ノ事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ送付シ同官ハ之ニ意見ヲ附シ願書ト共ニ聯隊長ニ移スヘシ

第三十七條 第三十五條ニ當ル者アルトキハ聯隊長ハ師團長ノ認可ヲ受ケ之ヲ處分ス但シ一年志願兵認定證書付與後入隊前ノ者ニ在テハ師團長自ラ第二國民兵役ニ服セシメ若クハ兵役ヲ免スルノ處分ヲ爲ス(二十九年勅令第九十一號ヲ以テ追加三十三年勅令第二百二十四號改正)

附則

第三十八條 明治二十七年以前一年志願兵トシテ服役シタル者ノ豫備役後備役年期ハ第七條ニ依ル但明治二十四年以前一年志願兵トシテ服役シタル者ノ後備役年期ハ豫備役年期ヲ通シテ十一箇年四箇月トス(二十九年勅令第三十四號ヲ以テ改正二十九年勅令第九十一號ヲ以テ前二條ヲ加ヘ本條ヲ第三十八條ト改ム)

第三十九條 台灣總督府國語學校土語科ノ卒業證書ヲ所持スル者ハ當分台灣守備步兵隊ニ於テ服役スルコトヲ得(三十三年勅令第二百二十四號ヲ以テ追加)

第四十條 前條ニ依リ服役スル者ニ關シテハ本條例中師團長ノ職務ハ台灣守備混成旅團長之ヲ行フ(全上)

混成旅團長ハ部下ノ將校及軍醫ニ一年志願兵検査委員ヲ命シ身體検査其他徵募ノ事務ヲ取扱ハシムヘシ(全上)

第四十一條 第三十九條ニ依リ服役セント欲スル者ハ明治三十三年ニ限リ七月三十一日迄ニ第八條ノ願書ヲ差出スコトヲ得(全上)

●陸軍一年志願兵條例施行細則(明治二十六年七月陸軍省令第十號)

- 第一條 條例第二條ノ所屬隊ヨリ給スル被服器具ノ現品左ノ如シ
- 一 第一種前立共
- 二 第二種帽
- 三 第一種衣袴

- 四 第二種衣袴
 - 五 夏衣袴二著
 - 六 日覆
 - 七 外套
 - 八 脚絆
 - 九 第一種手屨
 - 十 背囊
 - 十一 被服手入具
 - 十二 飯盒
 - 十三 水筒
 - 十四 寢具
- 第二條 糧食費自辨ノ者ハ行軍若クハ野外演習中ノ糧食費亦自辨トス
- 第三條 條例第八條ノ願書ハ附錄第一第二樣式ニ承認書ハ第三樣式ニ證明書ハ第四樣式ニ依リ之ヲ作ル可シ
- 第三條ノ二 學術ノ試験ヲ受クヘキ者ハ身體検査ノ際新タニ撮影シタル寫眞紙(裏面ニ族籍氏名ヲ自書シタルモノ)一葉ヲ検査醫官ニ差出スヘシ(三十三年陸軍省令第十一號ヲ以テ追加)
- 第四條 條例第十三條ノ身體検査終レハ軍醫ハ其成績ヲ陸軍將校生徒試験臨時委員ニ通知シ條例第十條ノ人名書ニ不參其他ノ事由ヲ記註シ體格検査表ヲ添ヘ師團長ニ報告シ師團長ハ其ノ身體検査ニ不合格ノ者(二十歳未滿ノ者ヲ除ク)ノ體格検査表ヲ本籍地ノ聯

隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ送附スヘシ
願書差出後轉籍其ノ他止ムヲ得サル事故アリ他ノ師管ニ於テ検査ヲ受ケンコトヲ願出
ル者アルトキハ甲乙師團長協議ノ上検査時日及場所ヲ定メ許可スルコトヲ得

前項ニ依リ乙師團ニ於テ検査ヲ施行シタルトキハ其ノ成績ヲ甲師團ニ通知シ甲師團ニ
在テハ其ノ師管内ニ於テ検査シタル者ト同一ノ取扱ヲ爲スヘシ(二十九年陸軍省令第十
二號ヲ以テ本條中改正第二項削除三十二年同省令第十一號ヲ以テ第二項第三項ヲ追加
ス)

第五條 條例第十四條第二項ニ依リ身體検査ヲ爲ス可キ者ノ人名ハ師團長ヨリ聯隊區司
令官又ハ警備隊司令官ニ達シ同官之ヲ島司郡市長ニ達達シ島司郡市長ハ検査ノ時日及
ヒ場所ヲ告示ス可シ(二十九年陸軍省令第十二號ヲ以テ本條中改正三十二年同省令第十
一號ヲ以テ第二項第三項改正)

願書差出後轉籍其ノ他止ムヲ得サル事故アリ他ノ聯隊區又ハ警備隊區ニ於テ身體検査
ヲ受ケンコトヲ願出ル者アルトキハ甲乙聯隊區司令官又ハ警備隊司令官(沖繩警備隊區
ニ在テハ該司令官以下同シ)協議ノ上検査時日及場所ヲ定メ許可スルコトヲ得

前項ニ依リ乙聯隊區又ハ警備隊區ニ於テ身體検査ヲ施行シタルトキハ其ノ成績ヲ甲聯
隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ通知シ甲聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ハ其ノ聯隊區
又ハ警備隊區ニ於テ検査シタル者ト同一取扱ヲ爲スヘシ

第六條 身體検査終ル後聯隊區司令官又ハ警備隊司令官其人名ニ不參其他ノ事由ヲ記註
シ體格検査表ヲ添ヘ師團長ニ報告スヘシ(二十九年陸軍省令第十二號三十一一年同省令第
十一號ヲ以テ本項中改正三十二年五月陸軍省令第十一號ヲ以テ改正)

師團長ハ其身體検査ニ不合格ノ者(二十歳未滿者ヲ除ク)ノ體格検査表ヲ本籍地ノ聯隊區
徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニ送付ス可シ(三十三年五月陸軍省令第十一號ヲ以テ改正)

第七條 第四條及第六條ノ身體検査不合格ノ者ハ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官徵集
免除又ハ兵役免除ノ處分ヲ爲シ其ノ一時徵集ニ適セサル者ハ徵集延期ノ處分ヲ爲スヘ
シ(二十九年陸軍省令第十二號ヲ以テ改正)

第八條 師團長ハ條例第十三條及第十四條第二項ノ検査ニ不參セル者並學術試驗ニ落第
シ若クハ閑席シタル者(以上二十歳未滿ヲ除ク)ヲ本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵
兵官ニ通知スヘシ但シ身體検査ヲ受ケタル者ニ在テハ體格検査表ヲ添フヘシ(二十九年
陸軍省令第十二號三十二年同省令第十一號ヲ以テ改正)

聯隊區徵兵官警備隊區徵兵官前項ノ通知ヲ受ケタルトキ該徵集區ノ抽籤施行前ニ在テ
ハ相當ノ處分ヲ爲スヘシ(三十三年陸軍省令第十一號追加)

第九條 師團長ハ合格人員中所管外ノ衛戍地ニ於テ服役スヘキ者ノ人名書ニ各冀望ノ兵
科及衛戍地ヲ記シ當該所管ノ師團長ニ通知スヘシ(三十二年陸軍省令第十一號ヲ以テ追
加第九條ヲ第十條トシ以下逐次繰下ケ)

同兵種二隊以上アル衛戍地ニ於テ服役冀望ノ者アルトキハ前項ノ通知ヲ受ケタル師團
長其ノ隊號ヲ指定シ之ヲ居住地所管ノ師團長ニ通知スヘシ

第十條 條例第十四條ノ一年志願兵認定證書ハ附錄第五樣式ニ官費服役證書ハ第六樣式
ニ依リ作ル可シ但條例第六條第二項ニ依リ次年週シト爲ス可キ者ハ官費服役證書ノ餘
白ニ其旨ヲ記載ス可シ(二十八年陸軍省令第五號改正ニ依ル)

第十一條 師團長ハ同兵種二隊以上アル衛戍地ニ服役セントスル者ノ隊籍ヲ定ムルニハ

成ル可ク之ヲ各隊ニ平均ス可シ(二十九年陸軍省令第十二號ヲ以テ本條中改正)

官費服役者中醫學、藥學、理財學若クハ商業學卒業證書ヲ所持スル者ハ步兵隊、理財學、商業學卒業證書ヲ所持スル者ハ師團司令部所在地步兵隊ニ限ルニ獸醫學卒業證書ヲ所持スル者ハ騎兵隊、野戰砲兵隊又ハ輜重兵隊ニ配付ス可シ

第十二條 師團長ハ一年志願兵認定證書ヲ付與シタル者ヲ自費服役、官費服役、次年週シ等ニ區別シ其人名書ニ體格検査表ヲ添ヘ當該聯隊長聯隊長ヲ爲ササル隊ニ在テハ該隊長以下同シ)ニ下付ス可シ(二十九年陸軍省令第十二號ヲ以テ本條中改正)

第十三條 聯隊長ハ前條ノ一年志願兵ニシテ十二月一日ニ入隊セサル者アルトキハ其人名ヲ師團長ニ報告スヘシ但二十歳以上ノ者ニ在テハ尙本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニモ通知スヘシ(同上)

第十四條 條例第三十一條第三十二條第二項第三十四條及入隊前第三十五條ニ當ル者アルトキハ師團長之ヲ聯隊長ニ達スヘシ但二十歳以上ノ者ニ在テハ尙本籍地ノ聯隊區徵兵官又ハ警備隊區徵兵官ニモ亦通知ス可シ(同上)

前項ノ者官費服役者ナルトキハ條例第六條第二項ニ依リ次年週シト爲シタル者ヲ繰上ケ十二月三十一日迄ニ入隊セシムルコトヲ得(二十八年陸軍省令第五號改正ニ依ル)

第十五條 一年志願兵徵募事務終結後師團長ハ附錄第七樣式ニ依リ一年志願兵人員表ヲ作り翌年一月十五日迄ニ陸軍大臣ニ報告ス可シ

第十六條 條例第二十一條ニ依リ軍醫生、藥劑生、獸醫生及軍吏生ヲ志願スル者アルトキハ聯隊長其願書及卒業證書寫ヲ師團監督部長若クハ軍醫部長若クハ獸醫部長ニ送附シ監督部長軍醫長、獸醫長ヨリ師團長ノ認可ヲ受ケ後半年ノ初ニ於テ聯隊長ヲ經由シ之ヲ命

スルモノトス(二十九年陸軍省令第十二號ヲ以テ本條中改正)

第十七條 軍醫生、藥劑生、軍吏生ト爲シタル者ハ貸與セシ兵器ヲ返納セシメ更ニ徒歩刀ヲ給ス獸醫生ト爲シタル者ハ軍刀或ハ砲兵刀ヲ除クノ外兵器ヲ返納セシム

第十八條 師團長ハ一年志願兵終末試験終リタルトキ附錄第八樣式ニ依リ成績表ヲ作り陸軍大臣ニ報告ス可シ

第十九條 一年志願兵終末試験及第證書ハ附錄第九樣式ニ依リ各部各隊ニ於テ製ス可シ

第二十條 一年志願兵入隊前轉任其他止テ得サル事故ニ依リ隊籍變更ヲ願出ル者アルトキハ師團長之ヲ許可スルコトヲ得但所轄外ニ係ルモノハ豫メ當該師團長ト協議スルヲ要ス(二十九年陸軍省令第十二號ヲ以テ本條中改正)

第二十一條 一年志願兵現役ヲ免シ若クハ死亡シタルトキハ實費ヲ精算シ殘金アレハ之ヲ還付ス

第二十二條 條例第三十九條ニ依リ服役スル者ニハ第一條ノ被服裝具中第一種帽ヲ給セス(三十三年陸軍省令第十一號ヲ以テ追加)

第二十三條 條例第三十九條ニ依リ服役ヲ志願スル者ノ身體検査ノ場所及志願者招集ノ手續ハ臺灣守備混成旅團長之ヲ定ム(全上)

第二十四條 臺灣ニ在テ第六條第八條第九條第十條乃至第十五條第十八條及第二十條中師團長ノ職務ハ臺灣守備混成旅團長聯隊區司令官ノ職務ハ一年志願兵検査委員之ヲ行フ(全上)

附則

一何々ノ所得年額何千何百圓等
 右相違無之ニ付一年志願兵服役中ノ費用全額ヲ自辨シ得ルコトヲ證明ス
 府(縣)島司(郡)市長
 氏 名 印

年 月 日

條例第四條ニ當ル者ハ右相違無之云々ヲ右相違無之候得共一家ノ生計ヲ立テ餘裕無之ニ付糧食費ノ外自辨シ能ハサルコトヲ證明スニ作ル(第五以下様式略ス)(三十二年陸軍省令第十一號ヲ以テ第七第八様式改正)

●北海道徴兵令施行地ニ居住スル官費一年志願兵服役地及其願書

差出方 (明治二十八年十一月陸軍省令第三十一號)

北海道渡島後志膽振石狩ノ四箇國ニ居住スル者ニシテ官費ヲ以テ一年志願兵トナル者ハ第二師管第四旅管青森衛戍地屯在ノ歩兵隊ニ於テ服役セシム其願書ハ歩兵第四旅團長ニ差出スヘシ

●試補及判任官見習並ニ非職休職官吏ノ一年志願兵服役方 (明治二十三年三月勅令第六十二號)

試補及判任官見習並ニ非職休職ノ官吏ニシテ一年志願兵トナル者ハ其儘服役スルコトヲ得但有給者ニハ俸給ヲ給セス試補及判任官見習ニ在テハ服役時日ヲ買務練習ノ期限ニ算入セス

●國民軍條例 (明治二十八年一月勅令第十三號)

第一條 國民軍ハ陸軍ニ屬シ主トシテ衛戍若クハ邊境ノ警備ニ充ツ

第二條 國民軍ハ國民兵ヲ以テ之ヲ編制ス

第三條 國民兵ノ召集及解散ハ勅命ニ依リ師團長之ヲ行フ

戒嚴ヲ宣告シ得ルノ權アル司令官時機切迫シテ通信斷絶シ命ヲ請フノ途ナキトキハ直ニ召集ヲ行フコトヲ得

第四條 國民軍幹部ハ必要ニ應シ現役豫備後備ノ陸軍將校、同相當官、准士官、下士ヲ以テ充ツル外左ニ掲クル者ヨリ選拔シテ之ニ充ツ

一 退役ノ陸軍將校、同相當官、准士官ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

二 元陸軍下士、上等兵ニシテ國民兵役ニ在ル者若クハ國民軍編入志願ノ者

三 國民兵中材幹技能アル者

第五條 陸軍後備兵ニシテ後備軍召集ニ加ハラサル者ハ特ニ國民軍ニ編入スルコトヲ得

第六條 第四條第二第三ニ該ル者ノ任官ハ陸軍武官官等表ニ依リ士官以上ハ師團長ノ認可ヲ得テ聯隊長同等以上ノ權アル長官之ヲ行フ第三條第二項ニ依リ召集ヲ行ヒタル司令官ハ召集員ニ士官以上ノ勤務ヲ命スルコトヲ得其ノ勤務ヲ命セラレタル者ノ身分取扱ハ其官職ヲ有スル者ニ準ス

前項ノ司令官師團長ニアラサルトキハ准士官以下ノ任官ニ付師團長ト同一ノ權ヲ有ス

第七條 國民軍幹部ノ進級ハ擢擢トス其ノ任官ハ前條ノ例ニ依ル

第八條 國民軍編制ノ爲メ召集セラレタル者及志願ニ由リ國民軍ニ編入セラレタル者ハ其

ノ間現役ニ準ス

第九條 第四條第二第三ニ該リ任官シタル者解散ノトキハ准士官以上ハ之ヲ退役トシ下士ハハ其ノ官ヲ免ス

●補充兵役國民兵役ニ在ル者及國民軍編入志願者ニ關スル件 (明治二十八年三月) (法律第二十二號)

補充兵役、國民兵役ニ在ル者ニシテ召集中ノ者及志願ニ依リ國民軍ニ編入中ノ者ニハ豫備、後備ノ軍籍ニ在リテ召集中ノ者ニ適用スヘキ法律ノ規定ヲ適用ス其ノ召集ニ關スル別例ハ徵兵徵集ニ關スル例ニ依ル

●國民軍編入志願者ノ願出ニ關スル規程 (明治二十九年十二月陸軍省令第二十五號)

- 一 國民軍編入志願者ノ者ハ編入年限ヲ定メテ願出ヘシ又數次此ノ願出ヲ爲スコトヲ得其ノ年限ハ四月一日ヨリ起算スルモノトス
- 二 退役陸軍將校同相當准士官ニ在テハ町村長郡長又ハ市長及本籍地所管聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ヲ經テ師團長ニ願出ヘシ
- 三 元陸軍下士上等兵及看護手ニ在テハ町村長郡長又ハ市長ヲ經テ本籍地所管聯隊區司令官又ハ警備隊司令官ニ願出ヘシ
- 四 前二項ノ願書ニハ住所生年月日及將校同相當官ニ在テハ元職、元下士ニ在テハ元官元職、元上等兵看護手ニ在テハ各其ノ等級ヲ記スヘシ
- 五 第二項又ハ第三項ニ依リ願出ル者アルトキハ師團長又ハ聯隊區司令官若クハ警備隊司令官ニ於テ所要ノ調査ヲ爲シ適當ト認ムルモノハ之ヲ許可シ其ノ名簿ヲ作り當該司令部ニ備フヘシ

- 六 本令中郡長トアルハ島司、町村長トアルハ月長及之ニ準スヘキ者ヲ包含シ市長トアルハ東京市京都市大阪市及市制町村制ヲ施行セサル地方ノ區ニ在テハ區長ニ該當ス

●陸軍兵籍ニ編入スル學生生徒トナリ又ハ之ヲ免セラレタル者屆

出方 (明治二十九年七月陸軍省令第十六號)

- 陸海軍兵籍ニ編入スル學生生徒トナリ又ハ之ヲ免セラレタル者届出方左ノ通定ム
- 一 年齢二十歳未満ノ者ニシテ陸海軍兵籍ニ編入スル學生生徒トナリタルトキハ其ノ月主ヨリ二十歳トナル年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ市町村長(東京市京都市大阪市及市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ區戸長及之ニ準スヘキ者以下同シ)ニ届出ヘシ年齢二十歳以上ノ者ニシテ徵兵事務條例ニ依リ終決ノ處分ヲ受ケサル者ニ在テハ學生生徒トナリタル日ヨリ十四日以内ニ届出ヘシ
- 二 前項届出ヲ爲シタル者傷疾疾病其ノ他ノ事故ニ依リ學生生徒ヲ免セラレ豫備役又ハ後備役編入、常備後備ノ役又ハ兵役免除ノ處分ヲ受ケサルトキハ本人ヨリ十四日以内ニ市町村長ニ届出ヘシ但年齢二十歳未満ニシテ本文兵役ニ關スル處分ヲ受ケタル者亦同シ
- 三 陸海軍兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(年齢二十歳前後ヲ問ハス)ニシテ將校同相當官准士官下士又ハ兵卒トナリタルトキハ本人ヨリ十四日以内ニ市町村長ニ届出ヘシ
- 四 第一項及第二項(但書ヲ除ク)ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料

ニ處ス

●屯田兵條例 (明治二十三年八月勅令第百八十一號)

- 第一條 屯田兵ハ屯田歩兵屯田騎兵屯田砲兵屯田工兵ヲ以テ編成シ北海道樞要ノ地ニ配置シテ其警備ニ充ツ
- 第二條 屯田兵ハ兵農相兼ヌルノ制トス平常ハ給與ノ兵屋ニ居住シ軍事上ノ訓練及開墾耕作ニ從事セシム
- 第三條 屯田兵ハ府縣ヨリ志願者ヲ召募シ本籍ヲ北海道ニ移シ家族ト共ニ移住セシム
- 第四條 屯田兵ノ服役期限ハ二十箇年ニシテ現役八箇年後備役十二箇年トス(二十七年勅令第九十四號ヲ以テ改正)
後備服役中ハ戰時若クハ事變ニ際シ召集ス又平時ニ在テハ勤務演習ノ爲メ召集シ及簡閱點呼ヲ爲ス(同上)
- 服役期限中滿四十歳ニ至リ又ハ死亡若クハ事故ニ由リ免役シタルトキハ其家族中適當ノ男子ヲシテ兵役ノ殘期ヲ相續セシム若シ適當ノ男子ナキトキハ兵役ヲ免ス
- 屯田兵ニシテ召募ノ條件ニ違背シ其ノ他正當ノ理由ナクシテ兵役ノ義務ヲ履行セサル者ハ兵役ヲ免ス(同上勅令ヲ以テ追加)
- 第五條 後備役滿期後十箇年間補充兵役ニ服セシメ戰時若クハ事變ニ際シ召集ス
- 第六條 第四條第五條ノ各兵役年期ハ編入年ノ四月一日ヨリ起算ス

第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ツルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航中或ハ外國駐劄中ハ其期限ヲ延スコトアル可シ

附則

第八條 明治二十七年以前ニ召募シタル屯田兵ハ左ノ區別ニ依リ服役セシム(同上勅令ヲ以テ本條中改正)

- 一 明治八年ヨリ明治十六年迄ニ召募シタル者ハ明治二十四年ヨリ四箇年間豫備役ニ服セシメ滿期後九箇年間後備役ニ服セシム
- 一 明治十七年ヨリ明治二十年迄ニ召募シタル者ハ明治二十四年ヨリ四箇年間豫備役ニ服セシメ滿期後召集ノ年ヨリ起算シ二十年ニ滿ツル迄後備役ニ服セシム
- 一 明治二十一年ニ召募シタル者ハ明治二十五年ヨリ四箇年間豫備役ニ服セシメ滿期後召集ノ年ヨリ起算シ二十年ニ滿ツル迄後備役ニ服セシム
- 一 明治二十二年以後明治二十四年以前ニ召募シタル者及明治二十五年以後明治二十七年以前ニ召募シタル騎兵、砲兵、工兵ハ三箇年間現役ニ四箇年間豫備役ニ十三箇年間後備役ニ服セシム(同上勅令ヲ以テ追加)
- 一 明治二十五年以後明治二十七年以前ニ召募シタル歩兵ハ七箇年間現役ニ十三箇年間後備役ニ服セシム(同上)

第九條 前條ノ各兵役年期ノ起算方ハ本條例第六條ニ依ル(同上勅令ヲ以テ本條中改正第

二項删除)

第十條 豫備服役中ハ戰時若クハ事變ニ際シ召集ス又平時ニ在テハ勤務演習其ノ他特ニ公務ニ服セシムル爲メ召集ス(同上勅令ヲ以テ改正)

●屯田兵服役志願ノ下士取扱方(明治二十七年七月勅令第九十五號)

陸軍各兵科現役下士ニシテ志願ノ者ハ屯田兵條例ニ依リ服役セシムルコトヲ得其ノ取扱ハ左ノ諸項ニ依ル

- 一 屯田兵條例ニ依リ服役ヲ許可シタル者ハ許可ノ前日ヲ以テ前服役滿期トナシ現役ニ服スルコト七箇年ニ滿タサル者ハ豫備ニ、七箇年ヲ過キタル者ハ後備ニ編入シ家族ト共ニ移住セシム但本人舊住地ニ全戸寄留スル者ハ其ノ地ヨリ移住セシムルコトヲ得
- 二 其ノ年移住スヘキ屯田兵ト共ニ移住セシムルヲ得サル者ハ居住地ヨリ移住地迄順路ニ依リ屯田兵移住給與規則第一條ノ旅費日當及運搬料ヲ給ス
- 三 諸給與ハ前項ニ掲クルモノノ外總テ屯田兵トシテ移住スル者及屯田兵出身ノ下士ニ同シ
- 四 移住前屯田兵條例ニ依リ服役スルノ許可ヲ取消シタル者ハ現役ヲ通シテ七箇年ニ滿ツル迄豫備役ニ十二箇年ニ滿ツル迄後備役ニ服セシメ十二箇年ヲ過キタル者ハ後備役ヲ免ス

明治二十五年勅令第八十六號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

●屯田兵後備役兵村及下士兵卒監視規則(明治二十九年六月勅令第二百三十九號)

- 第一條 屯田後備役各兵村ニ兵村監視ヲ置キ其ノ兵村ノ開墾耕稼ニ關スル事務及下士兵卒ノ服役ニ係ル事務ヲ取扱ハシム
- 兵村監視ハ後備兵屯田各兵科曹長ヲ以テ之ニ充ツ其ノ身分取扱ハ召集中ノ者ニ同シ
- 第二條 兵村監視ノ職掌開墾耕稼ニ係ルモノハ師團長ニ下士兵卒ノ服役ニ係ルモノハ聯隊區司令官ニ隸ス
- 第三條 兵村監視ハ兵村ノ下士兵卒ノ動作及開墾耕稼ニ關スル事ヲ監視シ師團長ノ命令ヲ傳達シ又下士兵卒身上異動其ノ他其届ニ關スル事ヲ取扱ヒ聯隊區司令官ニ報告ス
- 第四條 屯田後備役下士兵卒三日以上十三日以下旅行セントスルトキハ兵村監視ノ承認ヲ受ケタル後ヲ其ノ出發時日ヲ届出テ歸村シタルトキハ三日以内ニ兵村監視ニ届出ヘシ
- 第五條 屯田後備役下士兵卒十四日以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者(成年以上ノ男子ニ限ル)ヲ定メ兵村監視ヲ經テ聯隊區司令官ニ願出テ許可ヲ受ケタル後其ノ出發時日ヲ兵村監視ニ届出テ歸村シタルトキハ十四日以内ニ兵村監視ニ届出ヘシ其ノ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦本條ニ依リ許可ヲ受ケヘシ
- 第六條 屯田後備役下士兵卒戸籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ兵村監視ニ届出ヘシ
- 第七條 屯田後備役下士兵卒ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫若クハ簡閱點呼ノ免除ヲ願ハント欲スルトキハ其ノ願書ニ近鄰戸主二名ノ證明ヲ受ケ兵村監視ヲ經テ聯隊區司令官ニ願出ヘシ
- 第八條 屯田後備役下士兵卒ヲ文官ニ採用セントスルトキハ當該官廳長官ヨリ第七師團

長ノ承認ヲ受クルモノトス

屯田後備役下士兵卒ニシテ文官ニ任セラレ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル爲メ勤務演習召集ノ猶豫若クハ簡閱點呼ノ免除ヲ要スルトキ亦前項ニ同シ但其ノ事故止ミタルトキハ第七師團長ニ通知スヘシ

第九條 第四條又ハ第五條ノ規程ニ違背シ及第六條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十條 第五條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遅延シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第十一條 屯田後備役下士兵卒師團長ノ命令ニ服從セス又ハ兵村監視ノ職務ヲ妨害スル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

附則

第十二條 本規則ハ隊伍ニ編入セサル屯田後備役下士兵卒及其ノ兵村ニ適用ス但此場合ニ在テハ兵村監視ハ豫備役屯田各兵科曹長ヲ以テ之ニ充ツ其ノ身分取扱ハ召集中ノ者ニ同シ

第十三條 本規則ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●官給ニ係ル屯田兵ノ建物馬匹讓渡質入書入ニ關スル件 (明治三十年四月法律第四十二號)

官給ニ係ル屯田兵ノ建物及馬匹ハ之ヲ讓渡シ又ハ質入書入ト爲シ又ハ債務ノ抵償トシテ之ヲ差押フルコトヲ得ス但讓渡ノ許可ヲ得タルモノ及給與ノ年ヨリ三十箇年ヲ過キタル物ハ此ノ限ニ在ラス

第三章 服役 召集 召集諸費

●陸軍服役條例

(明治二十九年六月勅令第二百三十八號) (明治三十二年十一月勅令第四百三十六號ヲ以テ本例中改正)

第一章 將校ノ服役

第一款 現役

第一條 現役將校ハ所屬部隊ノ兵籍ニ編入シ現役年限滿ツル迄服役セシム但別ニ規定アルモノハ此ノ限ニアラス(三十二年十一月勅令第四百三十六號ヲ以テ本例中改正)

第二條 將校ノ現役年限年齢ハ左ノ如シ

中將 六十五歲(三十二年勅令四百三十六號ヲ以テ本條改正)

少將 六十歲(全)

憲兵大中佐 五十七歲

步、騎、砲、工、輜重兵大中佐 五十四歲

憲兵少佐 五十一歲

步、騎、砲、工、輜重兵少佐 五十一歲

憲兵大尉 四十八歲

步、騎、砲、工、輜重兵大尉 四十八歲

憲兵中少尉 四十五歲

步、騎、砲、工、輜重兵中少尉 四十五歲

第三條 現役年限年齢ニ滿ツルモ他人ヲ以テ代フヘカラサル職ニ在ル者又ハ補充上必要アル者ハ留任ヲ命スルコトアルヘシ(全上)

第四條 現役年限年齢ニ滿ツルモ戰時若クハ事變ニ際スルトキ又ハ航海中或ハ外國駐劄中ハ現役期限ヲ延ハスコトアルヘシ

第五條 現役年限年齢ニ滿タサルモ服役十一年以上ニシテ現役ニ堪ヘサル者ハ將官ハ上諭ニ依リ上長官士官ハ陸軍大臣旨ヲ諭シテ現役ヲ退カシムルコトアルヘシ

第六條 現役將校傷痍若クハ疾病ニ由リ職務若クハ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ順序ヲ經テ休職又ハ退役ヲ陸軍大臣ニ願出ヘシ

第七條 休職停職ノ將校ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ師團長ノ管轄ニ屬ス他ノ師管ニ寄留スル者ハ寄留地所管師團長ノ監督ヲ受ク

第八條 休職停職ヲ命セラレタル者歸郷シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ但歸郷旅行一箇月以上ヲ要スルトキハ到着日ヲ豫定シ出發前本籍所管師團長ニ届出ヘシ

從前ノ在職地若クハ其ノ他ノ地ニ一箇月以上滞在若クハ寄留セント欲スル者ハ本籍市町村東京市京都市大阪市ニ在テハ區以下全シニ於テ軍衛ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ本籍所管ノ師團長ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ(全上)

前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ師管ニ係ルトキハ滞在若クハ寄留ノ當日ヨリ十四日以内ニ其ノ地所管ノ師團長ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第九條 休職停職ノ將校十四日以上旅行又ハ寄留セント欲スルトキハ本籍市町村ニ於テ軍衛ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ師團長ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ

前項ノ寄留地本籍地外ノ師管ニ係ルトキハ其ノ地ノ師團長ニモ届出ヘシ其本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

外國ニ旅行又ハ寄留セント欲スル者ハ其ノ期限ヲ豫定シ陸軍大臣ニ願出ツヘシ

第十條 休職停職ノ將校寄留地師管ノ兵籍ニ轉セント欲スル者ハ師團長ニ願出テ許可ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ寄留地所管ノ師團長ニ届出ヘシ

寄留地師管ノ兵籍ニ轉シタル者ニ付テハ本條例ノ規定ニ於テ寄留地ヲ本籍地ト同視ス(全上)

第十一條 休職停職ノ將校兵籍上異動ヲ生シタルトキハ師團長ニ届出ヘシ但自己ノ身上ニ係ル異動ハ寄留地所管ノ師團長ニモ届出ヘシ

第十一條ノ二 傷痍若クハ疾病ニ由リ休職ト爲リタル者全愈シタルトキハ陸軍醫官若ハ地方醫師ノ診斷書ヲ添ヘ陸軍大臣ニ届出ツヘシ(全上)

第十一條ノ三 休職停職ノ將校ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戸籍ヲ
轉換シタルトキハ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族
中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ師團長ニ届出ツヘシ所在不
明者ノ歸郷シタルトキ若ハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但シ他ノ師管ニ戸籍ヲ轉換シタ
ルトキハ新舊所管ノ師團長ニ届出ツヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長東京市京都市大阪市ニ
在テハ區長以下同シヨリ聯隊區司令官
令官警備隊區ニ在テハ警備隊司令官
又ハ警備隊區司令官以下同シニ通知スヘシ(全上)

第十一條ノ四 休職停職ノ將校重罪輕罪罰金ヲ
除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記
シ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族
中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ師團長ニ届出ツヘシ

家族ナキモノニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘ
シ(全上)

第十二條 休職停職ノ將官ヨリ陸軍大臣ニ差出ス願届書ハ師團長ヲ經由シ佐官以下ノ將校
又ハ其ノ戸主若ハ家事擔當者ヨリ師團長ニ差出ス願届書ハ市町村長、聯隊區司令官ヲ經
由スヘシ但シ佐官以下ノ將校ヨリ第十一條ニ依リ差出ス届書ハ現住地所管ノ聯隊區司
令官及師團長ヲ經由スヘシ(全上)

第十二條ノ二 第八條第一項及第二項第九條第一項及第四項第十條第十一條第十一條ノ三
第十一條ノ四ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス(以上)

第十二條ノ三 第八條及第九條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ軍衙ノ命令ヲ通報セス若ハ其

ノ通報ヲ遲緩シタルトキハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ一日以上十日以
下ノ拘留ニ處ス(全上)

第十三條 本款現役將校相當官ニ適用ス

第十四條 將校相當官ノ現役年限年齢ハ左ノ如シ(全上)

監督總監	軍醫總監	六十五歲
監督監	軍醫監	六十歲
一二等監督	一二等軍醫正	五十七歲
三等監督	藥劑監	五十四歲
三等軍醫正		
獸醫監		
監督補	一等軍醫	五十一歲
一等藥劑官	一等獸醫	
一等軍吏	樂長	
二三等軍醫	二三等藥劑官	四十八歲
二三等獸醫	二三等軍吏	

等二款 豫備役及後備役

第十五條 豫備役後備役將校ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ師團長ノ管轄ニ屬ス

第十六條 豫備役將校ノ服役期限ハ現役年限年齢ニ滿ツル年ノ三月三十一日迄トス

第十七條 後備役將校ノ服役期限ハ豫備役ヨリ轉入シタル者ハ轉入後五箇年現役定限年齢ニ滿チ後備役ニ轉入シタル者ハ現役ヲ退キタル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トシ後備役准士官下士ヨリ士官ニ進級シタル者ハ現役定限年齢ニ滿ツル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トス

第十八條 豫備役後備役將校ノ服役期限既ニ滿ツルト雖戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其ノ期限ヲ延ハスコトアルヘシ

第十九條 第三條第四條第十八條ニ依リ留任ヲ命シ又ハ服役ヲ延期シタル者ト雖服役年ノ計算ハ留任セサル者又ハ服役ヲ延期セサル者ニ同シ

第二十條 豫備役後備役將校服役滿期ニ至リタルトキハ辭令ヲ用キスシテ豫備役ハ後備役ニ後備役ハ退役ニ入ルモノトス

第二十一條 豫備役後備役將校ハ滿期後引續キ服役スルコトヲ得志願ノ者ハ年數ヲ定メ陸軍大臣ニ願出ヘシ

第二十二條 豫備役後備役將校疾傷若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ退役ヲ陸軍大臣ニ願出ヘシ

第二十三條 豫備役後備役將校ハ現役將校同等官ノ次席トス

第二十四條 豫備役後備役將校ハ召集ニ應スルトキ及朝拜參賀公私ノ儀式祭典其ノ他庶アル宴會等ノ場所ニ列スルトキハ陸軍ノ制服ヲ著スルモノトス但シ文官ニ任セラレタル者

ハ召集ノ場合ヲ除クノ外文官ノ制服ヲ著スルモ妨ケナシ

第二十五條 豫備役後備役將校ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ勤務演習ノ爲メ召集ス

第二十六條 豫備役後備役將校ニシテ文官ニ任セラレ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者、外國ニ在ル者及市町村長、助役、收入役ト爲ル者ハ勤務演習ノ爲メ召集スルコトナシ(全上)

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲ル者其ノ開會中亦同シ

第二十七條 豫備役後備役將校ニシテ他ノ師管ニ寄留シ該師管ニ於テ勤務演習ヲ爲サント欲スル者ハ師團長ニ願出テ其ノ許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後出願ノ者ハ指令書受領後三日以内ニ豫備役後備役編入年、現役ニ任セラレタル年月及當テ勤務演習ヲ爲シタル年月ヲ記シ寄留地ノ師團長ニ届出ヘシ

第二十八條 豫備役後備役將校ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫ヲ願フ者ハ其ノ事實ヲ證明シ師團長ノ許可ヲ請フヘシ

第二十九條 現役ヨリ豫備役若クハ後備役ニ入ル將校歸郷シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ

従前ノ在職地若クハ其ノ他ノ地ニ一箇月以上滞在若クハ寄留セント欲スルトキ若クハ歸郷旅行日數一箇月以上ヲ要スルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘシ

キ者^{成年者ニ限ル}ヲ定メ師團長ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ(全上)
前項ノ滞在在若クハ寄留地本籍地外ノ師管ニ係ルトキハ其ノ地ノ師團長ニモ届出ヘシ其
ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第三十條 豫備役後備役將校十四日以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ本籍市町村ニ於テ
召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者^{成年ニ限ル}ヲ定メ師團長ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四
日以内ニ師團長ニ届出ヘシ(全上)

前項ノ寄留地本籍地外ノ師管ニ係ルトキハ其ノ地ノ師團長ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸
シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ手續ニ依リ充員召集ノ舉アルコトヲ確知シ
タルトキハ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時間以内ニ師團長ニ届出ヘシ(全上)

第三十一條 豫備役後備役將校兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘ
シ但他ノ師管ニ戸籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ師團長ニ届出ヘシ

第三十二條 豫備役後備役將校ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立
シタル議會ノ議員ト爲リタルトキ並ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘ
シ

第三十三條 豫備役後備役將校ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戸籍ヲ
轉換シタルトキハ其戸主^{本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者}ヨリ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ所在不明者

歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但他ノ師管ニ戸籍ヲ轉換シタルトキ
ハ新舊所管ノ師團長ニ届出ヘシ(全上)

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ
(全上)

第三十四條 豫備役後備役將校重罪^{罰金ヲ除ク}輕罪^{刑ニ處セラレタルトキハ}刑名及刑期ヲ
記シ其ノ戸主^{本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者}ヨリ十四日以内ニ師團長ニ届出ヘシ

第三十五條 豫備役後備役將官ヨリ陸軍大臣ニ差出ス願書ハ師團長ヲ經由シ佐官以下ノ將
校又ハ其ノ戸主若ハ家事擔當者ヨリ師團長ニ差出ス願書ハ市町村長及聯隊區司令官ヲ
經由シ陸軍大臣ニ差出ス願書ハ市町村長、聯隊區司令官及師團長ヲ經由スヘシ(全上)

第三十六條 第二十七條第二十九條第一項及第二項第三十條第一項及第三項第三十一條乃
至第三十四條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第三十七條 第二十九條第三十條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ
其ノ通報ヲ遲緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第三十八條 本款ハ豫備役後備役ノ將校相當官ニ適用ス

第二章 准士官ノ服役

第三十九條 本章ニ於テ准士官ト稱スルハ歩、騎、砲、工、輜重兵特務曹長、砲、工兵上等工長

及樂長補ヲ謂フ(全上)

第四十條 削除(全上)

第四十一條 准士官ノ現役定限年齢ハ左ノ如シ

砲工兵上等工長

五十一歳(全上)

樂長補

四十八歳(全上)

歩、騎、砲、工、輜重兵特務曹長

三十四歳(全上)

第四十二條 現役定限年齢ニ滿タサルモ服役十一年以上ニシテ現役ニ堪ヘサル者ハ所管長官旨ヲ諭シテ現役ヲ退カシムルコトアルヘシ

第四十三條 特務曹長ハ現役定限年齢ニ滿タサルモ正當ノ事故アルトキハ陸軍大臣本人ノ願ニ依リ現役ヲ免シ豫備役ニ服セシムルコトヲ得

第四十四條 特務曹長ハ現役定限年齢ニ滿チ現役ヲ退キタルトキハ豫備役ニ豫備役終ルノ後ハ後備役ニ服セシム

第四十五條 豫備役後備役特務曹長ノ服役年期ハ豫備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トシ後備役ニ在テハ豫備役滿期後五年間トス(全上)

第四十六條 豫備役後備役砲、工兵上等工長及豫備役後備役樂長補ノ服役年期ハ豫備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ノ三月三十一日迄トシ後備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トス

第四十七條 准士官ノ現役豫備役後備役ニ關スル諸般ノ事項ニ就テハ第一章第二條第五條第十條第十四條第十五條第十七條第十八條ノ規定ヲ適用ス但第二十一條ノ願書ハ師團長ニ差出スモノトス(全上)

第四十八條 豫備役後備役ノ下士ヨリ特務曹長ニ進級シタル者ノ服役年期ハ豫備役ニ在テハ現役定限年齢ニ滿ツル年ヨリ第六年目ノ三月三十一日迄トシ後備役ニ在リテハ現役定限年齢滿ツル年ヨリ第十一年目ノ三月三十一日迄トス(全上)

第三章 下士ノ服役

第一款 通則

第四十九條 下士ノ服役ハ十二箇年四箇月トシ之ヲ分テ現役豫備役及後備役トス其ノ服役ヲ終リタルトキハ第一國民兵役ニ服セシム

第五十條 各兵役期限既ニ滿ツルト雖戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演說或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其ノ期限ヲ延ハスコトアルヘシ其ノ服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ

第五十一條 現役ヲ離ルルトキ服役十二箇年四箇月ヲ過キ豫備役後備役ニ服セサル者及事故ニ由リ常備後備ノ役若クハ兵役ヲ免スル者ハ同時ニ其ノ官ヲ免シ後備役滿期ノ者ハ別ニ辭令ヲ用キシテ其ノ官消滅スルモノトス

第二款 現役

第五十二條 現役下士ハ所屬部隊ノ兵籍ニ編入シ現役期限滿ツル迄服役セシム

第五十三條 隊附現役下士ハ營内ニ居住セシムルヲ例トス

憲兵科下士、計手及軍樂部下士ハ總テ之ヲ營外ニ居住セシメ諸工長及衛生部下士ハ人員ヲ限リ營外ニ居住セシム

警備隊附下士ニシテ其ノ警備隊區在籍ノ者ハ外泊ヲ許スコトアルヘシ(全上)

第五十四條 現役下士ノ服役期限ハ左ノ如シ

一 各兵科及衛生部下士候補生兵卒ヲ除クヨリ下士ニ任セラレタル者ハ任官ノ月ヨリ四箇年

二 憲兵科下士ハ前服役年月ヲ通算シ六箇年

三 砲兵工長、蹄鐵工長、縫工長、靴工長候補生兵卒ヲ除クヨリ諸工長ニ任セラレタル者ハ任官ノ月ヨリ四箇年

四 軍樂部下士ハ樂手補ヲ命セラレタル月ヨリ五箇年

五 歩、騎、砲、工、輜重兵科上等兵及看護手ヨリ下士ニ住セラレタル者ハ入隊ノ月ヨリ三箇年

前項第一號乃至第四號ニ當ル者ヲ長期下士トシ第五號ニ當ル者ヲ短期下士トス(全上)

第五十五條 下士ハ現役滿期ノ後現役年限年齢ニ滿ツル迄ハ數次再服役ヲ爲スコトヲ得

第五十六條 下士ノ現役年限年齢ハ左ノ如シ

諸工長 四十八歲

憲兵科下士

軍吏部下士縫靴工長ヲ除ク

衛生部下士 四十五歲
軍樂部下士

步騎砲工輜重兵科下士諸工長ヲ除ク

四十歲(全上)

第五十七條 再服役年期ハ一箇年以上トス但シ第五十四條第五ニ當ル者ニ在テハ初度ニ限

リ三箇年ヲ以テ一期トス

前項但書ニ當ル者ハ之ヲ長期下士トス(全上)

第五十八條 再服役ハ中隊ニ在テハ其ノ所屬中隊長憲兵分隊ニ在テハ分隊長軍樂ニ在テハ該隊長以下同シニ出願シ該中隊

長ハ順序ヲ經テ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請フヘシ(全上)

諸本部諸官隊長ニ在テハ直屬長官ニ出願スヘシ但直屬長官聯隊長ト同等ノ權ナキトキハ聯隊長同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請フヘシ

衛生部軍吏部下士ノ再服役ハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ヨリ當該監督部長若クハ軍醫部長ニ豫メ協議スヘシ

再服役ヲ許可シタルトキハ誓約書ヲ中隊長若クハ直屬長官ニ出サシム

第五十九條 再服役許可ノ後轉隊若クハ轉職シタルトキハ其ノ誓約ヲ新所屬ノ中隊長若クハ直屬長官ニ移スヘシ

第六十條 現役中本人ヲ要スルニ非サレハ一家ノ生計ヲ營ミ難キ事故ヲ生スルトキハ本人ノ願ニ依リ現役ヲ免スルコトヲ得

第六十一條 現役中傷疾若クハ疾病ニ由リ現役ニ堪ヘ難キ者ハ現役ヲ免ス

第六十二條 現役中傷疾若クハ疾病ニ由リ常備後備ノ役ニ堪ヘ難キ者ハ其ノ役ヲ免シ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

第六十三條 憲兵下士ニシテ素行修マラサル者ハ特ニ現役ヲ免ス

第六十四條 憲兵下士其ノ職務ヲ辱シムルニ依リ懲罰ノ處分ヲ受ケ其ノ情重キモノハ陸軍懲罰令ノ規定ニ拘ハラス官ヲ免スルコトヲ得

第六十五條 現役ヲ離ルルトキ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ七年四箇月ニ滿タサル者ハ豫備役ニ十二年四箇月ニ滿タサル者ハ後備役ニ服セシム(全上)

第六十六條 第六十二條ニ依リ常備後備ノ役ヲ免シタル者ハ第一國民兵役ニ服セシム

下士ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ官ヲ失ヒ又ハ陸軍懲罰令若クハ第六十四條ニ依リ官ヲ免セラレタル者ハ歩、騎、砲、工、輜重兵科ニ在テハ當該兵科一等卒ト爲シ憲兵科及各部ニ在テハ前兵科前兵科ナキ者ハ非兵科ノ一等卒ト爲シ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ三箇年ニ滿タサル者ハ

三箇年ニ滿ツル迄現役ニ服セシメ三箇年ヲ過クル者ハ前條ノ例ニ依リ豫備役ニ服セシメ十二箇年四箇月ヲ過クル者ハ第一國民兵役服セシム(全上)

第六十七條 現役下士ニシテ其ノ服役七箇年四箇月若クハ十二箇年四箇月ノ後尙豫備役若クハ後備役ニ服センコトヲ志願スル者ハ其ノ年數ヲ定メ現役滿期ノ際聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ニ届出ヘシ但シ豫備役ハ現役定限年齢ニ滿ツル年ノ三月三十一日

後備役ハ滿五十歳トナル年ノ三月三十一日ヲ以テ終期トス(全上)

聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官前項ノ服役ヲ許可シタルトキハ本人所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第六十八條 第六十條乃至第六十四條ニ該ル者アルトキハ聯隊長又ハ之ト同等以上ノ權アル長官ハ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ヒ現役、常備役後備役又ハ兵役ヲ免ス但師團長及之ト同等以上ノ權アル長官ニ在テハ自ラ之ヲ處分ス(以上)

第六十九條 現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者ハ其ノ刑期中及逃亡中ノ日數ハ現役服役年期ニ算入セス

第三款 豫備役及後備役

第七十條 豫備役後備役下士ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬ス

第七十一條 豫備役下士ノ服役期限ハ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ七箇年四箇月トス

第七十二條 豫備役下士ノ服役期限ハ豫備役滿期ノ後五箇年トス但七箇年四箇月以上現役ニ服シ直ニ後備役ニ入ル者ハ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ十二箇年四箇月トス

第七十三條 豫備役後備役下士服役滿期ニ至リタルトキハ別ニ辭令ヲ用キスシテ豫備役ハ後備役ニ後備役ハ第一國民兵役ニ入ルモノトス

第七十四條 豫備役後備役下士滿期後引續キ服役セント欲スルトキハ年數ヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ願出ヘシ但シ豫備役ハ現役定限年齢ニ滿ツル年ノ三月三十一日後

備役ハ滿五十歳トナル年ノ三月三十一日ヲ以テ終期トス(全上)

第七十五條 豫備役後備役下士傷痍若クハ疾病ニ由リ豫備後備ノ役ニ堪ヘ難キ者ハ第一國民兵役ニ服セシメ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

在郷中傷痍若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第一項ニ當ル者アルトキハ聯隊區司令官ハ師團長ノ認可ヲ請ヒ豫備後備役又ハ兵役ヲ免ス但シ召集中ニ在テハ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官第六十八條ノ例ニ依リ處分シ本籍所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ(全上)

第七十五條ノ二 豫備役後備役憲兵下士召集中其ノ職務ヲ辱シムルニ依リ懲罰ノ處分ヲ受ケ其ノ情重キモノハ陸軍懲罰令ノ規定ニ拘ラス官ヲ免スルコトヲ得(全上)

第七十五條ノ三 豫備役後備役下士ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ官ヲ失ヒ又ハ陸軍懲罰令若クハ前條ニ依リ官ヲ免セラレタル者ハ步騎砲工輜重兵科ニ在テハ當該兵科ノ一等卒ト爲シ憲兵科及各部ニ在テハ前兵科前兵科ナキ者ハ歩兵科ノ一等卒ト爲ス(全上)

第七十六條 豫備役後備役下士ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一度簡閱點呼ヲ爲シ又勤務演習ノ爲メ召集ス

第七十七條 豫備役後備役下士ニシテ文官ニ任セラレ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者、外國ニ在ル者及市町村長、助役 收入役トナル者ハ勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召

集スルコトナシ(全上)

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲ル者其ノ開會中亦同シ

第七十八條 豫備役後備役下士ニシテ願ニ依リ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得一箇年以上他ノ師管ニ寄留スル者ハ願ニ依リ寄留地師管ニ於テ勤務演習ヲ爲スコトヲ得(全上)

前二項ニ依リ願出ル者ハ其ノ願書ニ本籍市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後出願ノ者ハ指令書受領後二日以内ニ豫備役後備役編入年現官ニ任セラレタル年月日及嘗テ勤務演習ヲ爲シタル年月日ヲ記シ其ノ由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第七十九條 豫備役後備役下士ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫若クハ簡閱點呼ノ免除ヲ願ハント欲スルトキハ其ノ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第八十條 現役ヨリ豫備役若クハ後備役ニ入ル下士ハ十四日以内ニ從前ノ在職地ヲ出發シ一日行程十二里詰ヨリ渺カラサル日數間ニ歸郷シ著後十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

從前ノ在職地若クハ其ノ他ノ地ニ十五日以上滞在若クハ寄留セントスルトキハ前項ノ出發期日內ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ市町村長

ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ(全上)

前項ノ滞在在地若クハ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ其ノ地ノ市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第八十一條

豫備役後備役下士十四日以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

前項ノ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ手續ニ依リ充員召集ノ舉アルコトヲ確知シタルトキハ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

第八十二條 豫備役後備役下士兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第八十三條

豫備役後備役下士ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲リタルトキ並ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第八十四條

豫備役後備役下士ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戶籍ヲ轉換シタルトキ其ノ戶主本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第八十五條

豫備役後備役下士重罪輕罪罰金ヲ除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ其ノ戶主本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第八十六條

豫備役後備役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算入セス

第八十七條

第七十八條第三項但書第八十條第一項及第二項第八十一條第一項及第三項第八十二條乃至第八十五條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第八十八條

第八十條第八十一條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第四章 兵卒ノ服役

第一款 通則

第八十九條

本章中ノ兵卒又ハ兵ニハ雜卒及職工ヲ包含ス

第九十條 徵兵令第七條第十六條第二十四條第二十九條第一項但書及第三項ノ規定ハ憲兵上等兵、樂手補及下士ニシテ官ヲ失ヒ若クハ官ヲ免セラレタル一等卒ト爲リタル者竝ニ第百六十條ノ兵卒ニ適用ス(全上)

第九十一條 憲兵上等兵、樂手補ノ服役期限ハ十二箇年四箇月トシ之ヲ分テ現役豫備役及後備役トス其ノ服役終リタルトキハ第一國民兵役ニ服セシム(全上)

第九十二條 兵卒ハ年齡滿四十歳ヲ以テ服役ノ終期トス但第百三十二條ニ依リ服役スル者ハ滿四十五歳トナル年ノ三月三十一日ヲ以テ終期トス

第二款 現役

第九十三條 現役兵ハ入隊ノ日ヨリ其ノ隊ノ兵籍ニ編入シ現役期限滿ツル迄服役セシム

第九十四條 現役兵ハ營内ニ居住セシムルヲ例トス

憲兵上等兵、樂手補ハ營外ニ居住セシム

警備隊看護手、縫工、靴工、中品行方正勤務勉勵且技藝熟達ノ者ハ外泊ヲ許スコトアル

ヘシ(全上)

第九十五條 憲兵上等兵ノ現役期限ハ前服役年月ヲ通算シテ六箇年トス(全上)

第九十六條 砲兵助卒、砲兵輸卒、輜重輸卒及看護卒ノ現役期限ハ二箇年四箇月トシ砲兵助卒ハ一箇年間、砲兵輸卒ハ四箇月間、輜重輸卒ハ三箇月間、看護卒ハ四箇月間在營ノ後歸休セシム

戰時若クハ事變ニ際スルトキ其ノ他必要ノ場合ニハ在營期限ヲ伸縮スルコトアルヘシ(全上)

第九十七條 樂手補ノ現役期限ハ樂生ヲ命セラレタル月ヨリ五箇年トス(全上)

第九十八條 警備隊現役兵ハ一箇年間在營ノ後歸休セシム(全上)

第九十九條 警備隊現役兵中上等兵タルノ技能ヲ有スル者及上等兵、看護手ニシテ志願ノ者ハ尙一箇年間在營セシムルコトヲ得

警備隊上等兵及看護手中下士タルノ技能ヲ有スル者及縫工、靴工ニシテ志願ノ者ハ現役期限滿ツル迄在營セシムルコトヲ得

第一百條 步、騎、砲、工、輜重兵卒、看護手及縫工、靴工ニシテ下士タルノ技能ヲ有スル者ハ現役滿期ノ後三箇年ヲ一期トシ再服役ヲ爲スコトヲ得其ノ下士ニ任セラレタル者ハ之ヲ長期下士トス

憲兵上等兵、樂手補及警備隊縫工、靴工ハ現役滿期ノ後現役年限ニ滿ツル迄數次再服役ヲ爲スコトヲ得其ノ再服役年期ハ一箇年以上トス

前二項ノ再服役ニ關シテハ第五十八條及第五十九條ヲ適用ス(全上)

第一百一條 兵卒ノ現役年限ハ左ノ如シ
憲兵上等兵 雜卒 職工 四十歳
步、騎、砲、工、輜重兵卒 三十五歳

第百二條 現役中本人ヲ要スルニアラサレハ家族自活シ能ハサル事故ヲ生スルトキハ其ノ家族ノ願ニ依リ現役ヲ免ス

第百三條 服役中傷痍若クハ疾病ニ由リ一時服役ニ堪ヘ難キ者ハ現役ヲ免ス

第百四條 現役中傷痍若クハ疾病ニ由リ常備後備ノ役ニ堪ヘ難キ者ハ其ノ役ヲ免シ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

第百四條ノ二 第百條第一項ニ依リ再服役ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ軍紀ヲ紊リ又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ下士タルヲ得ヘカラスト認メタル者ニ付テハ其ノ許可ヲ取消ス(全上)

第百五條 憲兵上等兵現役中左ニ掲クル事項ニ該ル者ハ其ノ職ヲ免ス

一 職務ヲ辱シムルニ由リ懲罰ノ處分ヲ受ケ其ノ情重キトキ

二 素行修マラス屢懲罰ノ處分ヲ受ケ又ハ上官ノ説諭ヲ受クルモ悛改ノ狀ナキトキ

第百六條 現役ヲ離ルルトキ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ七箇年四箇月ニ滿タサル者ハ豫備役ニ十二箇年四箇月ニ滿タサルトキハ後備役ニ服セシム

第百七條 第百二條第百三條ニ當ル者軍隊第一期ノ教育ヲ卒ラサル前ニ在テハ第二補充兵役ニ服セシム其ノ服役年期ハ前役ヲ通シテ一年四箇月トス

第百四條ニ依リ常備後備ノ役ヲ免セラレタル者ハ第一國民兵役ニ服セシム但シ軍隊第一期ノ教育ヲ卒ラサル前ニ在テハ第二國民兵役ニ服セシム(全上)

第百八條 上等兵、看護手及樂手補ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ職ヲ失ヒ又ハ陸軍懲罰令若クハ第百五條ニ依リ職ヲ免セラレタル者ハ歩、騎、砲、工、輜重兵科ニ在テハ當該兵科ノ一等卒ト爲シ憲兵上等兵、看護手及樂手補ニ在テハ前兵科前兵科ナキ者ハ歩兵科ノ一等卒ト爲シ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ三箇年ニ滿タサル者ハ三箇年ニ滿ツル迄現役ニ服セシメ三箇年ヲ過クル者ハ第百六條ノ例ニ依リ豫備役又ハ後備役ニ服セシメ十二箇年四箇月ヲ過クル者ハ第一國民兵役ニ服セシム(全上)

第百九條 第百二條ニ依リ免役ヲ願出テントスル者ハ其ノ願書ニ同徵募區内現役兵ノ戶主

憲兵上等兵、樂手補ハ近隣ノ戶主 二名ノ保證書ヲ添ヘ島司郡市長ヲ經テ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但町村ニ於テハ町村長ノ與書證印ヲ受クヘキモノトス(全上)

島司郡市長ハ其ノ事實ヲ審覈シ狀況書ヲ作り願書ト共ニ聯隊區司令官ニ送附シ聯隊區司令官ハ之ニ意見ヲ附シ願書ト共ニ本人所屬ノ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ニ移スヘシ

第百十條 第百二條乃至第百五條ニ當ル者アルトキハ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル上官ハ師團長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官ノ認可ヲ請ヒ現役、常備後備役兵役ヲ免シ若クハ再服役ノ許可ヲ取消シ又ハ憲兵上等兵ヲ免ス(全上)

歸休兵中第百三條第百四條ニ當ル者アルトキハ聯隊區司令官ハ師團長ノ認可ヲ請ヒ現役、常役後備役又ハ兵役ヲ免ス但シ召集中ニ在テハ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官前項ノ例ニ依リ處分シ本籍所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ(全上)

第百十一條 憲兵上等兵、樂手補、現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタルトキハ其ノ刑期中逃亡中ノ日數ハ服役年期ニ算入セス

第百十二條 現役中徵兵令第十五條ニ依リ歸休ヲ命スヘキ者ハ二箇年以上服役シタル者ニ限ル但警備隊兵卒、砲兵助卒ハ八箇月以上在營シタル者ニ限ル

歸休ヲ命スヘキ人員ハ陸軍大臣上裁ヲ經テ之ヲ定ム

第百十三條 歸休兵ハ本籍所在師管ノ兵役ニ編入シ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬ス

第百十四條 歸休兵在郷中現役滿期ニ至リタルトキハ別ニ命ナクシテ豫備役ニ入ルモノトス

第百十五條 歸休兵在郷中傷疾若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第百十六條 歸休兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎一年一度簡閱點呼ヲ爲シ又演習ノ爲メ若クハ臨時兵員ノ補缺ヲ要スルトキ之ヲ召集ス

第百十七條 歸休兵ハ官廳ニ奉職スルコトヲ得但奉職ノ故ヲ以テ召集ヲ猶豫若クハ免除スルコトナシ

第百十七條ノ二 歸休兵ハ願ニ依リ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得又止ムヲ得サル事故アルトキハ簡閱點呼ノ免除ヲ願出ツルコトヲ得

一箇年以上他ノ師管ニ寄留スル者ハ願ニ依リ寄留地師管ニ於テ勤務演習ヲ爲スコトヲ得

前二項ニ依リ願出ツル者ハ其ノ願書ニ本籍市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但シ寄留地ニ於テ勤務演習ヲ爲スノ許可及簡閱點呼ヲ受クルノ許可ヲ受ケタル者ハ寄留地到着後寄留後出願ノ者ハ指令書受領後三日以内ニ其ノ由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ツヘシ(全上)

第百十八條 歸休兵ハ退營後七日以内ニ衛戍地ヲ出發シ一日行程十二里詰ヨリ抄カラサル日數間ニ歸郷シ著後七日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

退營後衛戍地若クハ其ノ他ノ地ニ八日以上滞在若クハ寄留セントスルトキハ前項ノ出發期日内ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ(全上)

前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ其ノ地ノ市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第百十九條 歸休兵十四日以上旅行又ハ寄留セントスルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ其ノ由ヲ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

前項ノ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第百二十條 歸休兵ハ外國韓國ヲ除クニ旅行又ハ寄留スルヲ許サス

韓國ニ旅行又ハ寄留スル者ニシテ特別ノ事情アリ勤務演習召集ノ猶豫ヲ願ハント欲スル者ハ其ノ願書ニ市町村長ノ奥書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ(全上)

第二百二十一條 歸休兵兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第二百二十二條

歸休兵ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戶籍ヲ轉換シタルトキハ其ノ戶主本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

第二百二十三條

歸休兵重罪輕罪罰金ヲ除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ其ノ戶主本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第二百二十四條

歸休兵演習又ハ臨時兵員補缺ノ爲メ召集ノ命ヲ受ケタルトキ傷痰疾病其ノ他ノ事故ニテ召集ニ應シ難キトキハ傷痰疾病ノ者ハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書其ノ他ノ事故ハ證明書ヲ添ヘ召集期日迄ニ市町村長ノ奥書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第二百五條

第二百二十五條 第二百二十七條ノ二第三項但書第百十八條第一項及第二項第百十九條第一項第百二十一條乃至第百二十四條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス(全上)

第二百二十六條

第二百二十六條 第百十八條第百十九條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタル者及第百二十條第一項ニ違背シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第二百二十七條

第三款 豫備役及後備役

第二百二十八條

豫備役後備役兵卒ハ本籍所在師管ノ兵籍ニ編入シ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬ス

第二百二十九條

豫備役兵卒ノ服役期限ハ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ七箇年四箇月トス(全上)

第二百三十條

前條ニ依リ豫備役ヲ終リタル者ハ五箇年間後備役ニ服セシム

第二百三十一條

豫備役後備役兵卒服役滿期ニ至リタルトキハ別ニ命ナクシテ豫備役ハ後備役ニ後備役ハ第一國民兵役ニ入ルモノトス

第三百二十二條 豫備役後備役兵卒ニシテ各兵科、衛生部、下士適任證書ヲ所持スル者ハ滿期後引續キ服役スルコトヲ得志願ノ者ハ年數ヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ願出ヘシ(全上)

第三百二十三條 豫備役後備役兵卒傷痰若クハ疾病ニ由リ豫備後備ノ役ニ堪ヘ難キ者ハ第一國民兵ニ服センメ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

在郷中傷痰若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第一項ニ當ル者アルトキハ聯隊區司令官ハ師團長ノ認可ヲ請ヒ豫備役後備役又ハ兵役ヲ免ス但シ召集中ニ在テハ聯隊長若ハ之ト同等以上ノ權アル長官第百十條ノ例ニ依リ處分シ本籍所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ(全上)

第三百二十三條ノ二 豫備役後備役憲兵上等兵召集中左ニ掲クル事項ニ當ル者ハ其ノ職ヲ免ス

- 一 職務ヲ辱シムルニ由リ懲罰ノ處分ヲ受ケ其ノ情重キトキ
- 二 素行修マラス屢懲罰ノ處分ヲ受ケ又ハ上官ノ説諭ヲ受クルモ悛改ノ狀ナキトキ(全上)

第三百二十三條ノ三 豫備役後備役上等兵、看護手及樂手補ニシテ禁錮ノ刑ニ處セラレ職ヲ失ヒ又ハ陸軍懲罰令若ハ前條ニ依リ職ヲ免セラレタル者ハ步騎砲工輜重兵科ニ在テハ

當該兵科ノ一等卒ト爲シ憲兵、看護手及樂手補ニ在テハ前兵科前兵科ナキ者ハ歩兵科ノ一等卒ト爲ス(全上)

第三百二十四條 豫備役後備役兵卒ニシテ外國ニ旅行シ又ハ寄留中ノ者ハ勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ(全上)

第三百二十五條 豫備役後備役兵卒ハ願ニ依リ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得(全上)

一箇年以上他ノ師管ニ寄留スル者ハ願ニ依リ寄留地師管ニ於テ勤務演習ヲ爲スコトヲ得前二項ニ依リ願出ル者ハ其ノ願書ニ本籍市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後出願ノ者ハ指令書受領後三日以内ニ豫備役後備役編入年ヲ記シ其ノ由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第三百三十六條 豫備役後備役兵卒ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫若クハ簡閱點呼ノ免除ヲ願ハント欲スルトキハ其ノ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第三百三十七條 現役ヨリ豫備役若クハ後備役ニ入ル兵卒ハ七日以内ニ衛戍地ヲ出發シ一日行程十二里詰ヨリ勘カラサル日數間ニ歸郷シ著後七日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

衛戍地若クハ其ノ他ノ地ニ八日以上滞在若クハ寄留セントスルトキハ前項ノ出發期日內

ニ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ前項ノ届出ヲ爲スヘシ(全上)

前項ノ滞在地若クハ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ其ノ地ノ市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第三百三十八條

豫備役後備役兵卒十四日以上旅行或ハ寄留セントスルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

前項ノ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニモ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ手續ニ依リ充員召集ノ舉アルコトヲ確知シタルトキハ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

第三百三十九條 豫備役後備役兵卒兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第四百十條 豫備役後備役兵卒ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲リタルトキ並ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

隊區司令官ニ届出ヘシ

第四百十一條 豫備役後備役兵卒ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戶籍ヲ轉換シタルトキハ其ノ戶主本人戶主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ家族ナキ者ニシテ

前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ(全上)

第四百十二條

豫備役後備役兵卒重罪輕罪罰金ヲ除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ其ノ戶主本人戶主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四百十三條

第三百三十五條第三項但書第三百三十七條第一項及第二百三十八條第一項及第二百三十九條乃至第四百十二條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第四百十四條 第三百三十七條第三百三十八條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セズ若クハ其ノ通報ヲ遅緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第五章 補充兵ノ服役

第四百十五條 第一補充兵第二補充兵ハ本籍所住師管ノ兵籍ニ編入シ聯隊區司令官ノ管轄ニ屬ス

第四百十六條 補充兵服役滿期ニ至リタルトキハ別ニ命ナクシテ第一補充兵ハ第一國民兵役ニ第二補充兵ハ第二國民兵役ニ入ルモノトス

第四百十七條 補充兵傷痍若クハ疾病ニ由リ補充兵役ニ堪ヘ難キ者ハ第二國民兵役ニ服セシメ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

在郷中傷痍若クハ疾病ニ由リ永久服役ニ堪ヘスト思惟スルトキハ陸軍醫官ノ診斷證書若クハ地方醫師ノ病況書ヲ添ヘ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第一項ニ當ル者アルトキハ聯隊區司令官ハ師團長ノ認可ヲ請ヒ補充兵役又ハ兵役ヲ免ス但シ召集中ニ在テハ聯隊長若クハ之ト同等以上ノ權アル長官第百十條ノ例ニ依リ處分シ本籍所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四百十八條 第一補充兵ニシテ外國ニ旅行又ハ寄留中ノ者ハ勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ(全上)

第四百十九條 第一補充兵ハ願ニ依リ寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受クルコトヲ得(全上) 一箇年以上他ノ師管ニ寄留スル者ハ願ニ依リ寄留地師管ニ於テ教育召集ニ應シ及勤務演習ヲ爲スコトヲ得(全上)

前二項ニ依リ願出ル者ハ其ノ願書ニ本籍市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ但許可ヲ受ケタルトキハ寄留地到着後寄留後出願ノ者ハ指令ヲ受領後三日以内ニ第一補充兵編入年ヲ記シ其ノ由ヲ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ

第五百十條 第一補充兵ニシテ止ムヲ得サル事故アリ勤務演習召集ノ猶豫若クハ簡閱點呼ノ免除ヲ願ハント欲スルトキハ其ノ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第五百十一條 補充兵十四日以内旅行或ハ寄留セント欲スルトキハ本籍市町村ニ於テ召集ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者成年者ニ限ルヲ定メ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出テ歸郷シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

前項ノ寄留地本籍地外ノ聯隊區ニ係ルトキハ寄留地市町村長ヲ經テ同地聯隊區司令官ニ届出ヘシ其ノ本籍ニ復歸シ若クハ寄留替ヲ爲サントスルトキ亦同シ

外國ニ在ル者召集ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ他ノ手續ニ依リ充員召集ノ舉アルコトヲ確知シタルトキハ直ニ歸朝シ本籍地到着後二十四時以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

第五百十二條 補充兵兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ但他ノ聯隊區ニ戶籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

第五百十三條 補充兵ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲リタルトキ竝ニ之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

第五百十四條 補充兵ニシテ死亡又ハ所在不明ノ者アルトキ及所在不明中戸籍ヲ轉換シタルトキハ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ所在不明者ノ歸郷シタルトキ若クハ踪跡ヲ知得シタルトキ亦同シ但他ノ聯隊區ニ戸籍ヲ轉換シタルトキハ新舊所管ノ聯隊區司令官ニ届出ヘシ(全上)

家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ
第五百十五條 補充兵重罪輕罪罰金ヲ除クノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ其ノ戸主本人戸主ナレハ家族中家事ヲ擔當スル者ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ヘシ
家族ナキ者ニシテ前項ノ事故ヲ生シタルトキハ市町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第五百十六條 第四百九條第三項但書第五百十一條第一項及第三項第五百二十二條乃至第五百五十五條ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
第五百十七條 第五百十一條ノ通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若クハ其ノ通報ヲ遲緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第六章 雜則

第五百十八條 一年志願兵、六週間現役兵及屯田各兵科下士兵卒ノ服役ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第五百十九條 一年志願兵ヨリ豫備役ニ轉入シタル士官、准士官及下士兵卒ノ豫備役後備役服役年期ハ一年志願兵條例ノ規定ニ依ル

第六十條 士官候補生、見習醫官、見習藥劑官、見習獸醫官及見習軍吏ニシテ各兵科各部ノ下士ニ任セラレ又ハ兵卒ト爲リ豫備役ニ編入セラレタル者ハ其ノ編入年ノ十二月ヨリ起算シ七箇年四箇月豫備役ニ豫備役終ルノ後五箇年間後備役ニ服セシメ後備役終ルノ後ハ第一國民兵役ニ服セシム(全上)

第六十一條 本條例中特ニ下士兵卒雜卒職工ヲ包含ス以下同シノ服役期限ヲ定メサルモノハ總テ徵兵令ノ規定ニ從フモノトス

第六十二條 豫備役將校、同相當官一年志願兵ヨリ豫備役將校、同相當官トナリタル者ヲ除クニシテ明治二十三年勅令第二十四號ニ依リ進級シタル者及豫備役轉入後進級シタル者ノ服役期限ハ前官ノ現役年限年齡ニ依ル現役將校、同相當官ニシテ服役延期中進級シタル者亦同シ(全上)

第六十二條ノ二 本條例ニ於テ兵役期限及年齡ハ曆ニ從ヒ月ヲ以テ算ス

第六十三條 豫備役後備役將校、同相當官、准士官、下士、兵卒及補充兵ニシテ文官ニ任セラレ若クハ公吏トナリ餘人ヲ以テ代フヘカラサル者又ハ運輸其ノ他ノ業ニ從事シ戰役ニ關シ必要ノ職務ヲ執ル者ハ陸軍大臣上裁ヲ經テ充員召集ヲ猶豫スルコトアルヘシ(全上)
第六十四條 徵兵令第二十四條及本條例第二十六條第七十七條ノ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ハ豫メ當該官廳ヨリ内閣ニ具狀シ勤務演習及簡閱點呼免除ノ認可ヲ受ケ將校、同相當官及准士官ニ在テハ本人所管ノ師團長ニ下士以下ニ在テハ本人所管ノ聯隊區司令官ニ通報スヘシ其ノ事故止ミタルトキ亦同シ

第六十五條 本條例ニ依リ在郷軍人補充兵又ハ其ノ戶主若ハ家事擔當者ヨリ町村長ヲ經テ差出ス願屆書ハ尙嶋司、郡長ヲ經由スヘシ

本條例ニ依リ町村長ヨリ聯隊區司令官ニ通知スル事項ハ嶋司、郡長ヲ經由スヘシ(全上)

第六十五條ノ二 臺灣ニ在テ本條例中師團長ノ職務ハ臺灣守備混成旅團長之ヲ行フ

第六十五條ノ三 豫備役後備役將校、同相當官及下士、歸休兵、豫備役後備役兵卒、第一補充兵ニシテ一箇年以上臺灣ニ寄留スル者ハ願ニ依リ同地ニ於テ勤務演習ヲ爲スコトヲ得

其ノ願出及届出方ハ第二十七條第七十八條第三項第百十七條ノ二第三項第百三十五條第三項第百四十九條第三項ノ例ニ依ル但シ各條項中師團長及聯隊區司令官ニ届出ツヘキモノハ臺灣守備混成旅團長ニ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ爲ササル者ニ對シテハ第三十六條第八十七條第百二十五條第百四十三條第百五十六條ノ罰例ヲ適用ス(全上)

附則

第六十六條 市制町村制ヲ實施セサル地方ニ在テ本條例中市町村長ノ職務ハ區戶長及之ニ準スヘキ者之ヲ行ヒ郡長ノ職務ハ北海道ニ在テハ北海道廳長之ヲ行フ

本條例中ノ市町村トアルハ北海道及沖繩縣ノ區ニ該當ス(全上)

第六十七條 陸軍豫備後備將校服役條例、陸軍豫備後備下士兵卒服役條例、陸軍現役下士上等兵再服役條例、陸軍歸休兵條例及明治二十二年勅令第三十七號ハ本條例施行ノ日ヨ

リ廢止ス

第六十八條 本條例ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第六十九條 豫備役後備役下士、歸休兵、豫備役後備役兵卒、第一補充兵ニシテ臺灣ニ寄留スル者ニハ當分簡閱點呼ヲ行ハス

第七十條 明治三十二年十二月一日前任官シタル現役下士再服役ノ者ヲ除クノ服役期限ハ左ノ如シ

- 一 各兵科各部下士第二以下ニ掲ケル者ヲ除クニシテ其ノ服役シタル年月六箇年ニ滿タサル者ハ六箇年ニ滿ツル年ノ十一月三十日迄トシ六箇年ヲ過クル者ハ明治三十三年三月三十一日迄トス

- 二 教導團及要塞砲兵射擊學校卒業者ヨリ下士ニ任セラレタル者砲工兵監護及砲臺監守ヲ行フ者ヲ除クハ其ノ入團入校ノ前年十二月ヨリ六箇年トス

- 三 砲兵工科學校卒業者ヨリ諸工長ニ任セラレタル者ハ任官ノ月ヨリ七箇年
- 四 經理學校卒業者ヨリ諸工長ニ任セラレタル者ハ入校ノ年ノ十二月兵卒出身ノ者ハ入隊ノ年ノ十二月

- 五 六箇年トシ六箇年ヲ過クル者ハ明治三十三年三月三十一日迄トス
- 六 蹄鐵工下士ハ入隊ノ月ヨリ六箇年

第六十七條 明治三十二年十一月三十日現在ノ現役砲工兵監護及砲臺監守中三十六歲以上ニシテ曹長ニ轉官ノ者ハ定限年齢ニ拘ラス同年十二月以後五箇年以内再服役ヲ爲スコ

トヲ得但シ四十八歳ヲ超ユルヲ得ス

第七十二條 第七十條第七十一條ニ當ル下士及明治三十二年十二月一日前ヨリ再服役ノ下士ハ之ヲ長期下士トス

明治三十二年十二月一日前ニ於テ再服役ヲ許サレタル上等兵、看護手及樂手補ニシテ同日以後下士ニ任セラレタル者亦同シ

第七十三條 明治三十二年十二月一日前採用シタル憲兵科及軍樂部現役兵卒再服役ノ者ヲ除クノ服役限期ハ左ノ如シ

一 憲兵上等兵ニシテ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ六箇年ニ滿タサル者ハ六箇年ニ滿ツル年ノ十一月三十日迄トシ六箇年ヲ過クル者ハ明治三十三年三月三十一日迄トス

二 樂手補ハ樂生ヲ命セラレタル月ヨリ七年四箇月

第七十四條 明治三十二年十二月一日前轉入シタル豫備役後備役特務曹長ノ服役期限ハ從前ノ規定ニ依ル

第七十五條 明治三十二年十二月一日前轉入シタル豫備役下士及憲兵科軍樂部兵卒並第七十條第七十三條ノ下士及憲兵科軍樂部兵卒ニシテ同日以後豫備役ニ轉入スル者ノ服役期限ハ第七十條第七十三條ノ年月ヲ通算シ七箇年ニ滿ツル年ノ翌年三月三十一日迄トス

明治三十二年十二月一日前ヨリ再服役ヲ爲シ同日以後豫備役ニ轉入スル者ノ服役期限亦

前項ニ同シ

第七十六條 明治三十二年十二月一日前轉入シタル後備役下士及憲兵科軍樂部兵卒並第七十條第七十三條第七十五條ノ下士及憲兵科軍樂部兵卒ニシテ同日以後後備役ニ轉入スル者ノ服役期限ハ第七十條第七十三條ノ年月ヲ通算シ十二箇年ニ滿ツル年ノ翌年三月三十一日迄トス

明治三十二年十二月一日前ヨリ再服役ヲ爲シ同日以後後備役ニ轉入スル者ノ服役期限亦前項ニ同シ

第七十七條 豫備役後備役上等兵中軍吏部下士適任證書又ハ砲兵工科學校、經理學校卒業證書ヲ所持スル者ハ當分第三百三十二條ニ依リ滿期後引續キ服役スルコトヲ得

附則

本令ハ明治三十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍服役條例ニ依リ現役免除出願ノ件(明治二十九年六月 陸軍省訓令甲第三號)

陸軍服役條例第六十條ニ依リ現役免除ヲ願フ者其事故父兄等ノ死亡處刑若クハ失踪等ハ市町村長(東京市京都市大阪市ニ在テハ區長市制町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ區戶長及之ニ準スヘキ者)ノ證明書癡疾不具等ハ醫師ノ診斷書ヲ具シ其親族ヨリ本人ニ送付セシムヘシ

●陸軍豫備役後備役ニ在ル者及補充兵ニシテ海員タル者届出ノ件 (明治三十年十月陸軍省令第二十六號)

陸軍豫備役後備役ニ在ル者及補充兵ニシテ海員タル者届出ノ件左ノ通定ム

- 第一條 陸軍豫備役後備役ニ在ル者及第一第二補充兵ニシテ左ニ掲クル者ハ其ノ届入チ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ其ノ届入チ公認シタル市町村長又ハ浦役人又ハ領事ノ證明ヲ受ケ其ノ旨ヲ本籍縣隊區司令官又ハ警備隊司令官(町村ニ在テハ島司郡長ヲ經テ)ニ届出ヘシ其ノ解雇セラレタルトキ亦同シ但區長月長以外ノ者ニ特ニ浦役人ヲ命シタニ場合ニ於テハ其ノ區長月長ヲ經由スヘシ
- 領事又ハ本籍地以外ノ市町村長若クハ浦役人ノ證明ニ係ル者ノ届書ハ本籍島司郡長及市町村長ヲ經由スヘシ
- 一 海技免狀ヲ有シ西洋形船舶ニ乗組ノ者
- 二 海員試験規程ニ於テ選信大臣ノ允當ト認ムル學校ヲ卒業シ登簿噸數百噸以上若クハ積石數千石以上ノ船舶ニ乗組ノ者
- 三 登簿船免狀ヲ受有スル船舶ノ水夫長、舵夫、火夫長、油差
- 第二條 陸軍後備役ニ在ル者及第二補充兵ニシテ登簿船免狀ヲ受有スル船舶ノ船方、水夫、火夫ニ付テモ亦前條ニ依ル
- 第三條 正當ノ事由ナク第一條第二條ノ届出チ忘リタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス
- 第四條 第一條ノ市町村長ハ東京市、京都市、大阪市及市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ區長、月長及之ニ準スヘキ者トス

第五條 本令施行以前ヨリ第一條及第二條ノ業ニ従事シ在ル者ハ明治三十年十一月二十日迄ニ第一條ノ例ニ依リ届出ヘシ但外國渡航中ノ者ハ歸朝後(領事ノ證明ヲ受クヘキ者ハ證明書受領後)二十一日以内ニ届出ヘシ

前項ノ届出チ忘ル者ニハ第三條ヲ適用ス

●陸軍豫備役後備補充兵國民兵役中餘人ヲ以テ代フヘカラサル職ニ在ル者取調通報ノ件 (明治三十年十月陸軍省訓令甲第七號)

陸軍豫備役後備補充兵役第一國民兵役ニ在ル者ニシテ召集事務ヲ管掌スル官吏及公吏(廳府縣官吏、島司郡區長、島廳郡市區町村書記、戶長及之ニ準スヘキ者)ト爲リ職時餘人ヲ以テ代フ可ラサル者並ニ第二補充兵役第一國民兵役ニ在ル者ニシテ市町村長、助役、收入役及帝國議會ノ議員タル者ハ其ノ官名若クハ職名兵役ノ種類武官名(兵卒ハ兵種等級第一國民兵役ノ者ニシテ元下士兵卒タリシ者ハ元官名又ハ兵種等級)氏名及本籍住所ヲ取調毎年十一月十五日迄ニ各本籍所管ノ師團長ニ通報シ爾後翌年ノ通報期迄ニ新任轉免等ノ異動アルトキハ其都度通報スヘシ

●海軍高等武官准士官服役令 (明治三十二年三月勅令第六十八號)

海軍高等武官准士官服役令

第一條 海軍高等武官及准士官ノ服役ヲ分チテ現役豫備役及後備役トス

服役ヲ免セラレ又ハ服役ヲ終リタルトキハ退役トス

第二條 現役トハ武官ヲ以テ充ツヘキ軍務ニ服スルヲ謂フ現役中海軍大臣又ハ海軍次官ニ

任セラレタル者修學ヲ命セラレタル者及待命休職停職ニ在ル者ハ現役ニ在ル者ト看做ス
待命トハ就職ノ命ヲ待ツヲ謂フ

休職トハ左ニ掲クル事項ノ一ニ該リ武官ヲ以テ充ツヘキ軍務ニ服セサルヲ謂フ
一 待命一箇年ヲ過キタルトキ

二 傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ六箇月ヲ經過スルモ尙快復ノ徵候ナキトキ
三 修學ノ請願ヲ爲シ許可ヲ受ケタルトキ

四 修學ノ許可ヲ受ケタル者修學満期ニ至リ就職ヲ命セラレサルトキ
五 現役中海軍部内ノ文官ニ任セラレタルトキ但シ海軍大臣又ハ海軍次官タル者及修學
ヲ命セラレタル者ハ此ノ限ニアラス

六 現役中海軍部内ノ文官ニ任セラレタルニ因リ休職ト爲リタル者文官ヲ免セラレ就職
ノ命ナキトキ

停職トハ懲戒スヘキ行爲アリテ一時職務ヲ免セラレ又ハ就職ヲ停メラレタルヲ謂フ
停職ヲ命セラレタル者ハ六箇月ヲ經ルニ非サレハ就職セシムルコトヲ得ス但シ戰時若ハ
事變ニ際シテハ此ノ限ニアラス

第三條 高等武官及准士官ノ現役定限年齢ハ左ノ如シ

大將 六十八年
中將相當官 六十五年

中將 六十二年
少將相當官 六十年

少將 五十八年
造船大監 五十五年

機關大監 五十二年
主計大監 五十年

造船中監 五十二年
大佐 五十二年
藥劑正 五十二年
造兵少監 五十二年

兵曹長 五十二年
船匠長 五十二年
看護長 五十二年
上等機關兵曹 五十二年

機關中監 五十二年
主計中監 五十二年
中佐 五十二年
大藥劑士 五十二年
造兵大技士 五十二年
上等兵曹 五十二年
軍樂師 五十二年
看護師 五十二年

水路正 五十八年
造船大技士 五十八年
水路大技士 五十八年
上等信號兵曹 五十八年
船匠師 五十八年
上等筆記 五十八年

軍醫大監 五十八年
藥劑監 五十八年
造兵中監 五十八年
水路監 五十八年
造船少監 五十八年

軍樂長 五十八年
機關兵曹長 五十八年
筆記長 五十八年

軍醫中監 五十八年

水路正 五十八年
造船大技士 五十八年
水路大技士 五十八年
上等信號兵曹 五十八年
船匠師 五十八年
上等筆記 五十八年

看護師 五十八年

少佐	機關少監	四十五年
軍醫少監	主計少監	
大主計	大軍醫	四十五年
大尉	中藥劑士	
造船中技士	造兵中技士	四十三年
水路中技士	少藥劑士	
造船少技士	造兵少技士	四十三年
水路少技士		
中機關士	中軍醫	四十年
中主計	少機關士	
少軍醫	少主計	四十年
中尉	少尉	
		三十八年

元帥タル大將ノ現役定限年齢ハ之ヲ定メス

第四條 高等武官及准士官ハ現役定限年齢ニ滿ツルマテ現役ニ服ス

第五條 現役高等武官及准士官其ノ定限年齢ニ滿ツルモ他人ヲ以テ代フヘカラサル職ニ在ルトキハ留任ヲ命スルコトアルヘシ

第六條 現役高等武官及准士官其ノ定限年齢ニ滿ツルモ戰時若ハ事變ニ際スルトキ又ハ航海中或ハ外國駐在中ハ現役期限ヲ延ハスコトアルヘシ

第七條 現役高等武官及准士官其ノ定限年齢ニ滿タサルモ服役十一年以上ニシテ現役ニ堪

ヘサルトキハ將官同相當官ハ上諭ニ依リ上長官士官及准士官ハ海軍大臣旨ヲ諭シテ現役ヲ退カシムルコトアルヘシ

第八條 高等武官及准士官現役定限年齢ニ達セスシテ左ニ掲クル事項ノ一ニ該ルトキハ豫備役ニ服セシム

- 一 第七條ニ依リ現役ヲ退キタルトキ
- 二 休職ヲ命セラレタル後二箇年ニ至リ就職ヲ命セラレサルトキ但シ第二條第三項第三ニ該ルトキハ此ノ限ニアラス
- 三 停職ヲ命セラレタル後一箇年半ニ至リ就職ヲ命セラレサルトキ
- 四 海軍部外ノ文官ニ任セラレタルトキ但シ武官ヲ以テ充ツヘキ軍務ニ服スル者海軍大臣又ハ海軍次官タル者及修學ヲ命セラレタル者ハ此ノ限ニアラス
- 五 貴族院令第四條第五條ニ依リ貴族院議員トナリタルトキ
- 六 海軍准士官下士任用進級條例第十六條第十八條及第十九條ニ依リ豫備役下士ニシテ准士官ニ任用セラレタルトキ及同條例第十七條ニ依リ下士ニシテ豫備役ニ入りタル際准士官ニ任用セラレタルトキ

第九條 豫備役高等武官及准士官ノ豫備役ニ服スヘキ期限ハ第三條ニ掲クル現役定限年齢ニ滿ツルマテトス

豫備役ニ在リ又ハ豫備役ニ入りタル際兵曹長ヨリ中尉ニ機關兵曹長ヨリ中機關士ニ進級

セシ者ノ豫備役ニ服スヘキ期限ハ各其ノ前官ノ現役定限年齢ニ滿ツルマテトス
第十條 高等武官及准士官左ノ事項ノ一ニ該ルトキハ後備役ニ服セシム第五條ニ依リ留任ヲ命セラレタル者亦同シ

一 現役定限年齢ニ至リ現役ヲ退キタルトキ

二 豫備役滿期ニ至リタルトキ

三 海軍准士官下士任用進級條例第十六條第十八條及第十九條ニ依リ後備役下士ニシテ准士官ニ任用セラレタルトキ及同條例第十七條ニ依リ下士ニシテ後備役ニ入りタル際准士官ニ任用セラレタルトキ

第十一條 高等武官及准士官ノ後備役ニ服スヘキ期限ハ五箇年トス

第十二條 海軍准士官下士任用進級條例第十六條第十七條及第十八條ニ依リ准士官ニ任セラレタル者及豫備役後備役ニ在ル者ニシテ同條例第十九條ニ依リ准士官ニ任セラレタルトキ其ノ豫備役後備役服役期限ハ准士官ニ任セラレタルトキニ同シ

第十三條 豫備役後備役高等武官及准士官ハ各其ノ服役期限滿ツルモ戰時若ハ事變ニ際スルトキ又ハ航海中或ハ外國駐在中ハ各其ノ服役期限ヲ延ハスコトアルヘシ

第十四條 第五條ニ依リ留任ヲ命シ又ハ第六條及第十三條ニ依リ服役ヲ延期シタル者ノ各服役年期ノ計算ハ留任セサルトキ又ハ服役ヲ延期セサルトキニ同シ

第十五條 高等武官及准士官左ノ事項ノ一ニ該ルトキハ退役トス

一 後備役滿期ニ至リタルトキ

二 傷疾若ハ疾病ニ因リ永久服役ニ堪ヘサルカ爲現役豫備役又ハ後備役ヲ免セラレタルトキ

三 海軍准士官下士任用進級條例第十六條第十七條及第十八條ニ依リ准士官ニ任セラレタル者竝豫備役後備役ニ在ル者ニシテ同條例第十九條ニ依リ准士官ニ任セラレタル者、准士官ニ任セラレサル場合ニ於テ免官トナルヘキトキ

第十六條 豫備役後備役ニ在ル高等武官及准士官ハ召集ニ應スヘキモノトス

第十七條 豫備役後備役高等武官及准士官ニシテ文官ニ任セラレ他人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者又ハ外國ニ在ル者及市町村長助役收入役タル者ハ演習ノ爲召集スルコトナシ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員タル者其ノ開會中亦同シ

第十八條 前條ニ掲クル他人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ニ就テハ豫メ當該官廳ヨリ内閣ニ具狀シテ演習召集免除ノ認可ヲ受ケ海軍大臣ニ通報スヘシ其事故止ミタルトキ亦同シ

附則

第十九條 本令施行ノ際既ニ第三條ノ現役定限年齢ヲ超過シタル者ハ本令施行ノ日ヨリ後備役ニ服セシム

第二十條 本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

第二十一條 明治二十二年勅令第四百四十六號同二十三年勅令第九十九號同二十五年勅令第四百一十一號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

◎海軍下士卒服役條例 (明治三十一年六月勅令第二百二十四號)

第一章 下士卒ノ服役

第一款 通則

第一條 下士卒ノ服役ハ現役豫備役及後備役ノ三種トス其ノ服役ヲ終リタルトキハ第一國民兵役ニ服セシム

第二條 艦團要港部病院學校及練習所勤務ノ下士卒ハ各其ノ艦團要港部病院學校及練習所ニ居住セシムルヲ例トス

第三條 下士卒ノ服役年限ハ四十五年トス
卒ノ服役年限ハ四十年トス

第四條 各兵役ノ期限既ニ滿ツルト雖戰時或ハ事變ニ際スルトキ若ハ臨時ニ演習等ノ舉アルトキ若ハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其ノ期限ヲ延ハスコトアルヘシ其ノ服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ

第五條 徵兵ニシテ再服役ヲ志願シ認可ヲ得再服役ヲ爲ストキハ之ヲ志願兵籍ニ編入ス

第六條 下士卒ノ現役又ハ兵役ヲ免セントスルトキハ先ツ之ヲ本人ノ籍ヲ管スル海兵團ニ入團セシメ鎮守府司令長官之ヲ免ス

第二款 現役

第七條 現役下士卒ハ鎮守府ノ兵籍ニ編入シ現役期限滿ツル迄服役セシム

現役士卒ノ兵籍ハ在籍鎮守府ニ屬スル海兵團ヲシテ之ヲ管セシム

第八條 現役下士卒ノ服役期限ハ下士卒ニ任用セラレタル日ヨリ起算シ六箇年現役卒ノ服役期限ハ兵籍ニ入りタル日ヨリ起算シ八箇年トス但シ服役中年限ニ達スル者ニ付テハ其ノ年限迄トス

第九條 現役下士卒ハ前條ノ服役期限滿ツルモ服役年限ニ達スル迄ハ數次再服役ヲ請フコトヲ得

第十條 再服役ヲ爲サント欲スル者ハ三箇年ヲ一期トシ之ヲ請フヘシ但シ別ニ勅令ヲ以テ定ムル服役ノ義務アル者ニ在テハ其ノ義務終ル迄ヲ一期ト爲スコトヲ得

三箇年以内ニ服役年限ニ達スル者ニシテ再服役ヲ爲サント欲スル者ハ定年限迄之ヲ請フヘシ

第一項但書ノ場合ニ於テ一箇年ニ滿タサル端數ヲ生スルトキハ一箇年ニ滿タヌヲ要ス
(三十三年十二月勅令三十四號ヲ以テ改正)

第十一條 再服役ハ志操確實身體強壯品行善良ニシテ技能優等ナリト艦團要港部其ノ他各部ノ長ノ確認シタル者ニアラサレハ許可スルコトヲ得ス

第十二條 再服役ハ艦團要港部其ノ他各部ノ長ニ滿期ノ前前月中ニ出願スヘシ

第十三條 艦團要港部其ノ他各部ノ長ハ部下下士卒ノ現役満期ト爲ル者ヲ調査シ其ノ再服役志願者ニ就キ第十一條ニ適合スル者アルトキハ在籍鎮守府ノ司令長官ノ承認ヲ經滿期ノ前月中ニ之ヲ許否スヘシ

再服役ヲ許可シタルトキハ其ノ旨本人ノ履歴ニ記入シ且ツ誓約書ヲ出サシメ之ヲ本人ノ籍ヲ管スル海兵團ニ送付スヘシ

第十四條 航海又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ前條ノ期限内ニ再服役許否ノ手續ヲ履行スル能ハスト認ムルトキハ豫メ其ノ手續ヲ爲スコトヲ得

第十五條 現役下士卒服役中本人ヲ要スルニ非サレハ家族自活シ能ハサル者アルトキハ現役ヲ免シ豫備役ニ服セシムルコトヲ得

前項ニ依リ免役ヲ願出ントスル家族ハ其ノ願書ニ市町村長ノ事實審査書ヲ添ヘ地方廳ヲ經テ本人在籍鎮守府ノ司令長官ニ願出ヘシ

鎮守府司令長官ハ之ヲ許否スルニ先チ海兵團長ヲシテ之ヲ審査セシムヘシ但シ服役中(下士ニ在テハ卒服役中ヲモ包含ス)分家若ハ絶家廢家再興ノ爲又ハ養子若ハ入夫ト爲リタル爲免役ノ必要ヲ生シタル者ナルトキハ許可スルノ限ニアラス

第十六條 現役下士卒服役中傷疾若ハ疾病ノ爲現役ニ堪ヘ難キ者ニ付テハ本人在籍鎮守府ノ司令長官其ノ現役ヲ免シ豫備役若ハ第一國民兵役ニ編入ス永久服役ニ堪ヘ難キ者ニ付テハ同長官其ノ兵役ヲ免ス但シ五等卒ノ教育ヲ卒ラサル徵兵ニシテ傷疾若ハ疾病ノ爲現

役ニ堪ヘ難キ者ニ在テハ補充兵役ニ服セシム

前項ニ依リ現役若ハ兵役ヲ免スヘキ者アリト認ムルトキハ艦團要港部其ノ他各部ノ長(入院中ノ者ナルトキハ病院長)之ヲ所管長官ニ上申シ所管長官ハ之ヲ本人在籍鎮守府ノ司令長官ニ通牒シ該長官ハ之ヲ審査シ現役若ハ兵役ヲ免ス此ノ場合ニ於テハ本人ヲ海兵團ニ入團セシメサルコトヲ得

第十七條 現役中禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者若ハ允許ヲ得テ他方ニ赴キ故ナク歸著ノ期ニ後レタル者ニ對シテハ其ノ刑期日數又ハ逃亡中ノ日數若ハ歸期ニ後レタル日數ヲ現役年期ニ算入セス

第十八條 現役下士卒ノ父母重症ニ罹リ若ハ死亡シタルトキハ親戚又ハ近隣戸主二人以上ヨリ其ノ連署ノ願書ニ市町村長ノ奥書證印ヲ受ケ醫師ノ診斷書若ハ死亡書ヲ添ヘ艦團要港部其ノ他各部ノ長ニ本人ノ歸郷ヲ願出ルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ艦團要港部其ノ他各部ノ長ハ審査上往復ヲ除キ十四日以内ノ日數ヲ限リ其ノ願ヲ許可スルコトヲ得

第三款 豫備役及後備役

第十九條 豫備役後備役下士卒ハ本籍所在ノ海軍志願兵徵募區ヲ管スル鎮守府ノ兵籍ニ編入シ海兵團長ノ管轄ニ屬ス

第二十條 豫備役下士トハ現役ヲ免セラレタル下士ニシテ後備役ニ服スル者並海軍准士官

下士任用進級條例第十六條第十八條ニ依リ豫備役一等卒ヨリ下士ニ任セラレタル者及同條例第十七條ニ依リ一等卒ヨリ下士ニ任セラレタル者ニシテ豫備役ニ服スル者ヲ謂フ
後備役下士トハ海軍准士官下士任用進級條例第十六條第十八條ニ依リ豫備役一等卒ヨリ下士ニ任セラレタル者並同條ニ依リ徵兵ノ豫備役一等卒ヨリ下士ニ任セラレタル者及同條例第十七條ニ依リ徵兵ノ一等卒ヨリ下士ニ任セラレタル者ニシテ豫備役ヲ終リ後備役ニ服スル者ヲ謂フ

第二十一條 豫備役下士ノ服役期限ハ現役ニ服シタル年月卒トシテ服役シタル年月ヲモ包含スヲ通算シ滿十六年ニ達スル迄トス但シ其ノ豫備役ニ入りタル後四箇年ニ達シタル者ニシテ現役ニ服シタル年月卒トシテ服役シタル年月ヲモ包含スヲ通算シ十二箇年ヲ過キタルトキハ豫備役ヲ免ス(全上)

第二十二條 海軍准士官下士任用進級條例第十六條第十七條及第十八條ニ依リ下士ニ任セラレタル者ノ服役期限ハ下士ニ任セラレサルトキト同シ

第二十三條 豫備役卒トハ現役ヲ免セラレタル卒ニシテ豫備役ニ服スル者ヲ謂フ
後備役卒トハ後備役ニ服スル徵兵ノ卒ヲ謂フ

第二十四條 豫備兵役ノ服役期限ハ四箇年ニシテ豫備役編入ノ日ヨリ起算ス

但シ再服役滿期若ハ第十五條及第十六條ニ依リ豫備役ニ入ル者ノ服役期限ハ其ノ服役シタル年月ヲ通算シ十二箇年トス

徵兵ニシテ第十五條及第十六條ニ依リ豫備役ニ入ル者ノ豫備服役期限ハ其ノ服役シタル

年月ヲ通算シ七箇年トシ十二箇年ニ滿ツル迄後備役ニ服セシム

第二十五條 下士ニシテ現役ヲ離ルルトキ服役滿十六箇年以上ニ達スル者及第十六條又ハ第二十六條ニ依リ現役豫備役或ハ後備役ヲ免シ第一國民兵役ニ編入シ若ハ兵役ヲ免スル下士ニ付テハ同時ニ其ノ官ヲ免シ志願兵ヨリ下士ニ任用セラレ豫備役滿期ノ者及後備役滿期ノ下士ニ付テハ別ニ辭令ヲ用キスシテ其ノ官ヲ免スルモノトス此ノ場合ニ於テ年齢滿四十年ニ達セサル者ニ在テハ四十年ニ達スル迄第一國民兵役ニ入ルモノトス
豫備役後備役卒服役滿期ニ至リタルトキハ別ニ命ナクシテ豫備役ニ在リタル徵兵ハ後備役ニ後備役ニ在リタル者ハ第一國民兵役ニ豫備役ニ在リタル志願兵ニシテ年齢四十年ニ達セサル者ハ第一國民兵役ニ入ルモノトス

第二十六條 豫備役後備役下士卒傷疾若ハ疾病ニ由リ各其ノ服役ニ堪ヘ難キ者ハ第一國民兵役ニ服セシメ永久服役ニ堪ヘ難キ者ハ兵役ヲ免ス

前項ニ依リ服役ニ堪ヘスト思惟スル者ハ軍醫官ノ診斷書若ハ地方醫師ノ病狀書ヲ添ヘ市町村長ノ奧書證印ヲ受ケ地方廳ヲ經テ在籍鎮守府ノ司令長官ニ届出ヘシ

第二十七條 現役ヨリ豫備役ニ入りタル下士卒ハ十四日以内ニ本人ノ籍ヲ管スル海兵團所在地(第十六條第二項ニ依リ入團セシメサル者ニ在テハ現役ヲ免セラレタル地)ヲ出發シ一日行程十里詰ヨリ尠カラサル日數間ニ歸郷シ著後十四日以内ニ市町村長ヲ經テ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ

滞在若ハ旅行ノ爲前項ノ日數間ニ歸郷シ難キトキハ召集通報人ヲ定メ前項ノ出發期日内ニ市町村長ヲ經テ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ

第二十八條 削除(全上)

第二十九條 豫備役後備役下士卒兵籍上異動ヲ生シタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ

第三十條 豫備役後備役下士卒ハ戰時若ハ事變ニ際シ之ヲ召集シ平時ニ在テハ簡閱點呼又ハ演習ノ爲召集スルコトアルヘシ

第三十一條 削除(全上)

第三十二條 豫備役後備役下士卒已ムヲ得サル事故アリ演習召集ノ猶豫又ハ簡閱點呼召集ノ免除ヲ願ハント欲スルトキハ其ノ願書ニ市町村長ノ與書證印ヲ受ケ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ差出スヘシ

海兵團長ハ前項ノ願書ヲ審査シ鎮守府司令長官ノ認可ヲ得テ其ノ願ヲ許可スルコトヲ得
第三十三條 豫備役後備役下士卒外國ニ在リ召集ノ通報ヲ受ケ又ハ充員召集ノ舉アルコトヲ確知シタルトキハ直ニ歸朝シ歸著後二十四時間以内ニ市町村長ヲ經テ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ

第三十四條 豫備役後備役下士卒ニシテ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル文官並市町村長、助役、收入役及餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル其ノ他ノ公吏タルトキ及

外國ニ在ルトキハ演習及簡閱點呼ノ爲召集スルコトナシ

法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員タルトキ其ノ開會中亦同シ

第三十五條 豫備役後備役下士卒ニシテ市町村長、助役、收入役ト爲リ又ハ法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員ト爲リタルトキ並之ヲ罷メタルトキハ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ

第三十六條 豫備役後備役下士卒ニシテ死亡又ハ失踪シタル者アルトキ及失踪中戸籍ヲ轉換シタルトキハ十四日以内ニ其ノ戸主(本人戸主ナルトキハ家族中家事ヲ擔當スル者)ヨリ市町村長ヲ經テ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ失踪者ノ歸郷シタルトキ若ハ其ノ所在ヲ知得シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ家族ナキトキハ市町村長ヨリ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ通知スヘシ
第三十七條 豫備役後備役下士卒重罪輕罪(罰金ヲ除ク)ノ刑ニ處セラレタルトキハ刑名及刑期ヲ記シ其ノ戸主(本人戸主ナルトキハ家族中家事ヲ擔當スル者)ヨリ十四日以内ニ市町村長ヲ經テ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ

前項ノ場合ニ於テ家族ナキトキハ市町村長ヨリ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ通知スヘシ
第三十八條 豫備役後備役下士卒正當ノ事由ナク召集ニ應セサルトキ又ハ召集中逃亡シ若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ又ハ犯罪ノ爲召集ヲ缺キタルトキハ其ノ年ヲ服役年期ニ算入セス

第三十九條 第二十七條第二十九條第三十三條第三十五條第三十六條第一項第三十七條第一項ノ届出ヲ爲ササル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス但シ交通不便若ハ天災ノ爲本文ノ届出ヲ爲シ能ハサルトキハ此ノ限ニアラス(全上)

第四十條 第二十七條第二項第二十八條ノ召集通報人正當ノ事由ナクシテ召集ノ命ヲ通報セス若ハ其ノ通報ヲ遲緩シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第二章 雜則

第四十一條 豫備役後備役下士卒ニシテ文官ニ任セラレ若ハ公吏ト爲リ餘人ヲ以テ代フヘカラサル者又ハ運輸通信等ノ事業ニ従事シ戰役ニ關シ必要ナル職務ヲ執ル者ハ海軍大臣ヨリ上裁ヲ經テ充員召集ヲ豫スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ理由ヲ附シ本人ヲ要スル官廳公署若ハ會社船主ヨリ海軍大臣ニ願出ヘシ

第四十二條 徵兵令第二十四條及本條例第三十四條ノ餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル者ハ豫メ當該官廳ヨリ内閣ニ具狀シ演習及簡閱點呼召集免除ノ認可ヲ受ケ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ通報スヘシ其ノ事故止ミタルトキ亦同シ

第四十三條 現役下士卒兵籍上異動ヲ生シタルトキハ其ノ戶主(本人戶主ナルトキハ家族中家事ヲ擔當スル者)ヨリ本籍所在ノ市町村長ヲ經テ本人ノ籍ヲ管スル海兵團長ニ届出ヘシ海兵團長ハ之ヲ本人ノ屬スル艦團要港部其ノ他各部ノ長ニ通知スヘシ

第四十四條 下士卒ノ服役ニ關スル年齢ハ海軍兵籍ニ登載セル誕辰ノ月ヨリ起算ス

第四十五條 下士卒現役若ハ召集中刑ニ處セラレタルトキハ艦團要港部其ノ他各部ノ長ヨリ本人在籍ノ地方廳ニ通知ス(全上)

地方廳ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ市町村長ニ達シ本人ノ家族ニ通達セシムヘシ

第四十六條 本條例ニ依リ町村長ヲ經由スヘキ書類ハ島司郡長支廳長又ハ之ニ準スヘキ者ヲモ經由スヘシ

第四十七條 市町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ本條例中市町村長ノ職務ハ區長戶長又ハ之ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第四十八條 徵兵ニ關シテハ徵兵令及徵兵事務條例ニ規定ナキモノニ限リ本條例ヲ適用ス

附則

第四十九條 明治二十二年勅令第五十六號海軍下士卒服役條例同年勅令第五十七號海軍下士卒再服役條例及明治二十九年勅令第三百二號ハ本條例施行ノ日ヨリ廢止ス

第五十條 本條例ハ發布ノ日ヨリ施行ス

●陸軍召集條例

(明治三十二年十月勅令第三百九十八號)

第一章 總則

第一條 召集及簡閱點呼ハ在郷軍人及國民兵本籍地所管ノ師團長之ヲ掌ル

將官同相當官ノ召集ハ本條例ノ規定ニ依ラヌ師團長直ニ之ヲ行フ

第二條 戒嚴ヲ宣告シ得ル權アル司令官時機切迫シテ命ヲ請フ途無キトキハ獨斷シテ充員召集補充召集及國民兵召集ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テ該司令官ハ召集ニ關シ師團長ト同一ノ職權ヲ有ス

第三條 召集事務ニ關シ師團長ノ定メタル規定ハ警視總監地方長官憲兵隊長及其ノ各所部ノ官吏公吏之ヲ遵行スヘシ

師團長ノ定メタル規定ニシテ公示ヲ要スルモノハ明治二十六年勅令第九十九號ノ規定ヲ準用ス

第四條 師團長ハ定期又ハ臨時ニ地方官廳及公署ニ於ケル召集事務ノ整否ヲ檢閲シ又ハ部下將校ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ

警視總監地方長官憲兵司令官及憲兵隊長ハ其ノ所部召集事務ノ整否ヲ檢閲シ又ハ部下官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ

第五條 在郷軍人ノ召集ニハ召集令狀ヲ用キ召集部隊到着地及到着日時ヲ指定シ簡閱點呼ニハ點呼令狀ヲ用キ點呼場及到着日時ヲ指定ス

國民兵ノ召集ニハ召集令狀ヲ用キシテ召集令ヲ達ス

第六條 應召員ノ到着スル地ニハ召集事務所ヲ設ク

第七條 召集ニ應スル爲旅行ヲ爲ス者ニハ其出發前ニ於テ旅費ヲ給ス但シ一日行程以內ヲ

旅行シタル後之ヲ給スルコトヲ得國民兵ニ在テハ到着地ニ到着シタル後之ヲ給スルコトヲ得

簡閱點呼ニ參會スル者ニハ旅費ヲ給セス

第八條 町村長ハ在郷軍人名簿及第一國民兵名簿ヲ調製シ常ニ其ノ異動ヲ訂正スヘシ

第九條 本條例中在郷軍人トアルハ豫備役後備役ノ將校同相當官准士官下士兵卒雜卒職工ヲ包含ス以下

同 飯休兵及補充兵ヲ謂フ

第十條 本條例中到着地トアルハ召集部隊ノ所在地及應召員ノ召集部隊ニ到ル途中ニ於テ集合場ヲ設ケタル地ヲ謂フ

應召員トアルハ召集ニ應スヘキ者ヲ謂フ

第十一條 本條例中聯隊區司令部トアルハ警備隊司令部又ハ警備隊區司令部、聯隊區トアルハ警備隊區、郡トアルハ島司ヲ置キタル嶋嶼、嶋司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テハ島

司又ハ郡長ニ準スヘキ者島司又ハ郡長ニ準スヘキ者無キ島ノ管轄區、市東京市京都市大阪市及北海道沖繩縣ノ區ニ在テハ區北海道ノ區

制ヲ施行セサル地方ニ該當ス在テハ支廳長ノ管轄區

第十二條 本條例中聯隊區司令部ノ職務ハ警備隊區ニ在テハ警備隊司令部又ハ警備隊區司令部、郡長ノ職務ハ島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ島司、嶋司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ

在テハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳長、郡長及町村長ノ職務ハ市ニ在テハ市長東京市京都市大阪市及北海道及沖繩縣ノ區ニ在テハ區長、島司

郡長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ置カサル島嶼ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者、町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第十三條 嶋嶼ニ於テ本條例中ノ規定ヲ實施スルコト能ハサルトキハ師團長適宜ノ方法ヲ設クルコトヲ得

第十四條 勳員ニ方リ休職停職ノ將校同相當官准士官ヲ就職セシメ及十二月一日以後ニ於テ未タ入營セサル現役兵ヲ徵集スルニハ充員召集ノ方法ニ依ル

第二章 充員召集

第一款 通則

第十五條 充員召集トハ勳員ニ方リ諸部團隊ノ要員ヲ充足スル爲在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第十六條 充員召集事務ニ關シ職責アル者ハ平時之ニ關スル諸件ヲ計畫準備シ召集實施ニ方リ其ノ事務ニ關シ訓示ヲ請フコトヲ許サス

第二款 充員召集準備

第十七條 師團長ハ召集要員ヲ定メテ各聯隊區ニ配當ス聯隊區司令官ハ之ニ基キ各郡ノ充員召集名簿待命員名簿及充員召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第十八條 地方長官東京府ニ在テハ警視總監ハ召集實施ニ方リ應召員ノ宿泊ニ供スル爲軍用旅舎ヲ定メ其ノ他召集ヲ容易ナラシムル措置ヲ爲スヘシ

第三款 充員召集實施

第十九條 充員召集ハ勳員令ニ依リ之ヲ實施ス

第二十條 師團長ハ勳員令ヲ聯隊區司令官ニ達シ警視總監地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第二十一條 聯隊區司令官ハ勳員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡長ニ達スヘシ

第二十二條 地方長官東京府ニ在テハ警視總監ハ勳員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ警察署長警察分署長ヲ包含ス以テニ達シ東京市京都市及大阪市ニ在テハ地方長官之ヲ市長ニ達スヘシ

憲兵隊長ハ勳員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ憲兵分隊長ニ達スヘシ

第二十三條 郡長ハ勳員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀ヲ町村長ニ送付スヘシ但シ演習召集教育召集中ノ者ノ令狀ハ之ヲ送付セサルモノトス

第二十四條 町村長ハ令狀ヲ受ケタルトキハ之ヲ應召員又ハ召集通報人依職停職者ニ軍衙ノ命令ヲ通報スヘキ者ヲ包含ス以テニ交付シ召集通報人ヲ設ケサル不在者ニ在テハ其ノ戶主ニ交付シ受領證ヲ受取ルヘシ

前項ノ場合ニ於テ戶主不在ナルトキハ其ノ家族中家事ヲ擔當スル者ニ令狀ヲ交付シ受領證ヲ受取ルヘシ

召集通報人不在ナルトキハ前二項ニ依ル

第二十五條 應召員ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ハ直ニ確實迅速ナル方法ヲ以テ召集部隊到着

地及到着日時ヲ本人ニ通報本人ノ所在地ト到着地ト遠隔スル爲到着ヲ遅延スルシ其ノ令狀ヲ速ニ交付スルノ處置ヲ爲スヘシ

第二十六條 應召員ハ令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ携ヘ指定ノ日時ニ到着地ニ到着シ召集事務所ニ届出ツヘシ但シ通報ヲ受ケタル者ニシテ令狀ノ交付ヲ受ケタル爲到着ヲ遅延スルノ虞アル場合ニ於テハ令狀ヲ携フルヲ要セム

召集ノ通報ヲ受ケタル應召員ニシテ指定ノ日時ニ到着スルコト能ハサル者ハ所在地ノ憲兵又ハ警察官吏ニ就キ其ノ通報ヲ受ケタル日時及出發日時ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ前項ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到着スヘシ

第二十七條 應召員ニシテ動員ニ方リ演習召集又ハ教育召集中ノ者アルトキハ部隊長其ノ召集ヲ解除シ其ノ部隊ノ充員召集ニ應スヘキ者ハ直ニ之ヲ當該部隊ニ編入シ他ノ部隊ノ充員召集ニ應スヘキ者ニハ聯隊區司令官ヨリ受ケタル令狀ヲ交付スヘシ

第二十八條 應召員中令狀又ハ通報受領ノ際傷痰疾病ノ爲應召スルコト能ハサル者ハ令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ聯隊區司令官ニ宛タル届書ニ醫師ノ診斷證書及令狀ヲ添ヘ之ヲ本籍地町村長ニ差出スヘシ但シ寄留又ハ旅行先ヨリ届出ツル者ハ本籍地町村長ニ宛發送スヘシ

令狀又ハ通報受領後出發迄ノ間ニ於テ傷痰疾病ノ爲應召スルコト能ハサルニ至リタル者

ハ直ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

犯罪所在不明等ノ爲應召スルコト能ハサル者アルトキ又ハ其ノ虞アルトキハ令狀ヲ受領シタル者ヨリ令狀受領後二十四時間以内ニ聯隊區司令官ニ宛タル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ之ヲ本籍地町村長ニ差出スヘシ

第一項第二項ノ手續ヲ爲スニ方リ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後別ニ之ヲ差出スヘシ

第二十九條 前條ノ場合ニ於テ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ本籍地町村長ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

町村長ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ聯隊區司令官ノ指定ニ基キ本人ニ出發ヲ命シ又ハ出發ヲ差止ムヘシ

前項ニ依リ出發スル者集合場ニ到着スヘキ者ナルトキハ直ニ召集部隊ニ到着スヘシ

第三十條 應召員ハ途中ニ於テ傷痰疾病ニ罹リ到着ヲ遅延スルノ虞アルトキハ直ニ醫師ノ診斷證書ヲ添ヘ召集部隊長ニ届出テ出發スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ速ニ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

傷痰疾病ノ外止ムヲ得サル事故ニ因リ到着ヲ遅延スルノ虞アルトキハ其ノ地ノ郡長町村長憲兵警察官吏船長又ハ驛長ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

前二項ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到着スヘシ

第三十一條 應召員ハ非常事變ニ因リ交通斷絶シタル爲到着地ニ到着スルコト能ハサル場

合ニ於テハ其ノ旨ヲ最寄諸部團隊諸部團隊無キ地ニ在テハ郡長町村長憲兵又ハ警察官吏ニ届出ヘシ
前項ノ届出ヲ受ケタル者ハ適宜ノ處置ヲ爲シ本人ヲシテ到着地ニ到着セシメ得ルニ至レ
ハ證明書ヲ與ヘ出發セシムヘシ但シ集合場ニ到着スヘキ者ニ在テハ直ニ召集部隊ニ到着
セシムヘシ

第三十二條 應召員中事故ニ因リ飯郷ヲ命セラレタル者ハ陸軍服役條例第八條第二十九條
第八十條第百十八條第百三十七條ノ例ニ依リ届出ツヘシ補充兵ニ在テハ同條例第百三十
七條ノ例ニ依リ届出ツヘシ其ノ召集ニ應スル以前ノ寄留地ニ飯ル者ノ本籍地聯隊區司令
官ニ差出スヘキ届書ニハ寄留地町村長ノ證明ヲ受ケヘシ

第四款 充員召集ノ解除

第三十三條 充員召集ノ解除ハ復員令ニ依リ之ヲ實施ス

第三十四條 復員令ノ達及通知ニハ第二十條乃至第二十二條ヲ準用ス

第三十五條 郡長ハ復員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第三十六條 召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條ヲ準用ス

第三章 補充召集

第三十七條 補充召集トハ充員召集實施後缺員ヲ補充スル爲在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第三十八條 師團長ハ補充召集令ヲ聯隊區司令官ニ達シ警視總監地方長官及憲兵隊長ニ通
知スヘシ

第三十九條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ直ニ補充召集令狀ヲ作り之ヲ郡長
ニ送付スヘシ

第四十條 郡長ハ令狀ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第四十一條 補充召集ニ關シテハ第十六條第二十四條乃至第三十一條及第三十三條ヲ準用
ス

應召員中事故ニ因リ飯郷ヲ命セラレタル者及召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條
ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第四十二條 國民兵召集トハ國民軍ヲ動員スル爲國民兵ヲ召集スルヲ謂フ

國民兵召集ヲ分テ第一國民兵召集第二國民兵召集ノ二種トス

第四十三條 町村長ハ其ノ管内ニ在籍スル國民兵ノ人員表及退役將校同相當官准士官ノ名
簿ヲ作り之ヲ郡長ニ差出スヘシ

第四十四條 郡長ハ前條ノ人員表及名簿ヲ受ケタルトキハ其ノ管内ニ在籍スル國民兵ノ人
員表及退役將校同相當官准士官ノ名簿ヲ作り之ヲ警視總監地方長官及聯隊區司令官ニ差
出スヘシ

第四十五條 師團長ハ國民兵ヲ召集スルニハ召集スヘキ國民兵ノ種類年齢集合場其ノ他必
要ノ事項ヲ聯隊區司令官ニ達シ其ノ種類年齢及集合場ヲ警視總監地方長官及憲兵隊長ニ

通知スヘシ

第四十六條 聯隊區司令官ハ國民兵召集令ノ達ヲ受ケタルトキハ召集スヘキ國民兵ノ種類
年齢集合場到着日時ヲ郡長ニ達スヘシ

第四十七條 國民兵召集ニ關シテハ第二十二條ヲ準用ス

第四十八條 郡長ハ國民兵召集令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達シ應召員到着日時
前ニ吏員ヲ集合場ニ派遣スヘシ

第四十九條 町村長ハ國民兵召集令ノ達ヲ受ケタルトキハ直ニ應召員ニ其ノ旨ヲ達シ指定
ノ日時迄ニ之ヲ集合場ニ引率シ聯隊區司令官又ハ聯隊區司令部ノ職員ニ交付スヘシ但シ
將校同相當官准士官ハ直ニ集合場ニ到着スヘシ

第五十條 聯隊區司令官又ハ聯隊區司令部ノ職員ハ集合場ニ於テ應召員ノ身體検査ヲ行ヒ
召集ニ適セサル者ハ飯郷セシムヘシ

集合場ニ在ル郡ノ吏員ハ聯隊區司令官又ハ聯隊區司令部ノ職員ノ要求ニ應シ其ノ事務ヲ
補助スヘシ

第五章 演習召集

第五十一條 演習召集トハ演習ノ爲在郷軍人^{第二補充兵ヲ除ク}ヲ召集スルヲ謂フ

演習召集ヲ分テ定期演習召集臨時演習召集ノ二種トス

第五十二條 臨時演習召集ハ本章ノ規定ニ依ラス臨時規定スルモノヲ除ク外第二章第三款

及第四款ヲ準用ス

第五十三條 演習召集ハ本籍所在ノ師管ニ於テス但シ其ノ師管ニ於テ演習ヲ爲スヘキ部隊
無キ者ハ他ノ師管ニ於テス

近衛師團ニハ第一師管外ニ在籍スル者ヲ召集スルコトアルヘシ

第五十四條 寄留地ニ於テ演習召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ハ寄留地所管ノ師團長之
ヲ召集ス

第五十五條 一年志願兵終末試験及第證書ヲ所持スル者ヲ士官ニ任スル爲行フ演習召集ニ
關シテハ陸軍補充條例ニ依ルノ外仍本章ノ規定ニ依ル

第五十六條 師團長ハ演習召集ノ日時人員日數及部隊ヲ定メ之ヲ聯隊區司令官ニ達シ警視
總監地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

前項ノ召集日數ハ演習ノ成績ニ依リ之ヲ増加スルコトアルヘシ

第五十七條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ演習召集令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送
付スヘシ

第五十八條 應召員中傷痍疾病犯罪所在不明等ノ爲應召スルコト能ハサル者ハ應召員又ハ
之ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ到着日時迄ニ聯隊區司令官ニ宛タル届書及其ノ令狀ヲ本
籍地町村長^{寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在テハ寄留地町村長}ニ差出スヘシ但シ傷痍疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診
斷證書犯罪所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添フヘシ

前項ノ手續ヲ爲スニ方リ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後別ニ之ヲ差出スヘシ

第五十九條 應召員中父母ノ疾病危篤又ハ死亡ノ爲召集ノ延期ヲ願ハントスル者ハ將校同
相當官准士官ニ在テハ師團長、下士兵卒及補充兵ニ在テハ聯隊區司令官ニ宛タル願書ヲ
本籍地町村長 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ
受ケタル者ニ在テハ寄留地町村長 ニ差出スヘシ但シ父母ノ疾病危篤ノ者ハ醫師
ノ診斷證書ヲ添フヘシ

第六十條 第五十八條ノ場合ニ於テ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ
本籍地町村長 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘ
キ者ニ在テハ寄留地町村長 ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ

町村長ハ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ聯隊區司令官ノ指定ニ基キ本人ニ出發ヲ命シ又ハ
出發ヲ差止ムヘシ

第六十一條 演習召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第二項第三十條
第一項第二項及第四十條ヲ準用ス

應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者及召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二條
ヲ準用ス

第六章 教育召集

第六十二條 教育召集トハ教育ノ爲第一補充兵ヲ召集スルヲ謂フ

第六十三條 聯隊區司令官ハ教育召集ノ達ヲ受ケタルトキハ教育召集令狀ヲ作り之ヲ郡長
ニ送付スヘシ

第六十四條 教育召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第二項第三十條

第一項第二項第四十條第五十三條第五十四條第五十六條及第五十八條乃至第六十條ヲ準
用ス

應召員中事故ニ因リ返郷ヲ命セラレタル者又ハ召集解除ヲ命セラレタル者ニハ第三十二
條ヲ準用ス

第七章 補缺召集

第六十五條 補缺召集トハ平時ニ於テ臨時ニ兵員ノ補缺ヲ要スルトキ返休兵ヲ召集スルヲ
謂フ

第六十六條 補缺召集ハ陸軍大臣ノ認可ヲ得テ師團長之ヲ行フ

第六十七條 聯隊區司令官ハ補缺召集ノ達ヲ受ケタルトキハ補缺召集令狀ヲ作り之ヲ郡長
ニ送付スヘシ

第六十八條 補缺召集ニ關シテハ第二十四條第二十五條第二十六條第一項第三十條第一項
第二項第四十條第五十六條第一項第五十八條乃至第六十條ヲ準用ス

第八章 簡閱點呼

第六十九條 簡閱點呼トハ豫備役後備役下士兵卒返休兵及第一補充兵ヲ集合シテ之ヲ點檢
査閱スルヲ謂フ

第七十條 師團長ハ簡閱點呼ノ時期ヲ定メ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第七十一條 師團長ハ部下ノ佐官又ハ尉官ニ簡閱點呼執行官ヲ命シ之ニ必要ナル訓示ヲ授クヘシ

簡閱點呼ハ參會スヘキ者僅少ナル僻陬ノ地ニ在テハ之ヲ省略スルコトヲ得

第七十二條 聯隊區司令官ハ第七十條ノ達ヲ受ケタルトキハ點呼場點呼區域及點呼日割ヲ定メ之ヲ師團長ニ差出シ警視總監地方長官憲兵隊長簡閱點呼執行官及郡長ニ通知スヘシ

第七十三條 地方長官東京府ニ在テハ警視總監及郡長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ地方長官東京府ニ在テハ警視總監ハ之ヲ警察署長、郡長ハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

憲兵隊長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵分隊長ニ達スヘシ

第七十四條 聯隊區司令官ハ點呼令狀ヲ作り之ヲ郡長ニ送付スヘシ

第七十五條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十四條第二十五條及第四十條ヲ準用ス

第七十六條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ハ指定ノ日時ニ點呼場ニ到著シ簡閱點呼執行官ニ届出ツヘシ

第七十七條 町村長ハ簡閱點呼ニ參列シ簡閱點呼執行官ノ要求ニ應シ其ノ事務ヲ補助スヘシ又必要アルトキハ點呼參會者ニ訓示ヲ與フルコトヲ得

第七十八條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ニシテ傷痰疾病犯罪所在不明等ノ爲參會スルコト能ハサル者ハ本人又ハ本人ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ參會日時迄ニ簡閱點呼執行官ニ宛タル届書及其ノ令狀ヲ本籍地町村長寄留地ニ在テ簡閱點呼ニ參會スヘキ許ニ在テハ寄留地町村長ニ差出スヘシ

シ傷痰疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷證書、犯罪所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添フヘシ

第七十九條 簡閱點呼執行官ハ遲參ノ爲簡閱點呼ヲ終ラサル者ニハ他ノ點呼場ヲ指定シテ參會ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ令狀ヲ作り之ヲ交付シ受領證ヲ受取ルヘシ

第九章 罰則

第八十條 正當ノ事由無クシテ第二十五條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者並簡閱點呼參會者ニシテ點呼場ニ於テ簡閱點呼執行官ノ命ニ服セス又ハ其ノ職務ノ執行ヲ妨害シタル者ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第八十一條 正當ノ事由無クシテ第二十六條第二項第二十八條第一項乃至第三項第二十九條第一項第三十條第一項第二項第三十一條第一項第五十八條第一項第六十條第一項第七十八條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者並正當ノ事由無クシテ簡閱點呼ニ參會セサル者ハ五十錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處シ又ハ五日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第八十二條 正當ノ事由無クシテ第三十二條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

附則

第八十三條 臺灣ニ於テ演習召集教育召集及簡閱點呼ヲ行フニ際シテハ陸軍大臣適宜其ノ

方法ヲ規定スルコトヲ得

第八十四條 豫備役後備役屯田兵下士卒ノ召集事務ニ關シ郡長及町村長ノ職務ハ屯田兵村監視之ヲ行フ

第八十五條 士官適任證書所持者ヲ士官ニ任スル爲行フ演習召集ニ關シテハ第五十五條ヲ準用ス

第八十六條 當分ノ内第七師團ニ於テハ演習ノ爲他ノ師管任籍ノ者ヲ召集スルコトヲ得

第八十七條 本條例ハ明治三十二年十月二十日ヨリ施行ス但シ師團長ハ七箇月以内一部ノ施行ヲ延期シ舊令ニ依ルコトヲ得

●陸軍召集條例施行細則(明治三十二年十月十一日陸軍省令第二十九號)

第一章 總則

第一條 召集ニ關係アル官吏公吏ハ動員手續ヲ作り之ニ充員召集補充召集及國民兵召集ニ關シ自ラ計畫準備シタル事項ノ要領ヲ記シ召集實施ニ方リ其ノ狀況及參考ト爲スヘキ事項ノ要領ヲ記スヘシ

第二條 召集ニ關係アル官吏公吏ニ於テ召集ニ關シ保管スル諸名簿及諸表ハ其ノ異動ヲ知リタル毎ニ直ニ訂正スヘシ

第三條 動員令(第一様式)及國民兵召集令ノ通達ハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用非ルモノトス其ノ使丁ヲ用非ルトキハ一時間ニ一里半ノ行進速度ヲ以テ基準トス充員召集令狀ヲ郡長ヨリ町村長ニ送付シ及市町村長ヨリ各自ニ交付スル爲ニ用非ル使

丁行進速度ノ基準モ前項ニ依ル

第四條 前條ノ電信ヲ受領シタル者ハ其ノ電信ノ全文(第二様式)ヲ至急官報ヲ以テ返電スヘシ

第五條 充員召集補充召集及國民兵召集實施ニ方リ其ノ事務ニ係ル文書(令狀ヲ除ク)ヲ發送スルニハ動員用封筒(第三様式)ヲ用ウヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位地ニ受領時刻ヲ記入シ捺印ノ上返付スヘシ但シ本人ニ代テ受領シタル者ハ其ノ氏名ヲ記シ捺印スヘシ

令狀ヲ市町村長ヨリ各自ニ交付スルニハ普通ノ封筒ヲモ用非サルモノトス

第六條 市町村長ハ其ノ所管外ニ在郷軍人又ハ第一國民兵ノ轉籍シタル者アルトキハ本人ニ關シ在郷軍人名簿又ハ第一國民兵名簿ニ記載セル事項ヲ轉籍地市町村長ニ通知スヘシ但シ第一國民兵ニ係ルトキハ仍其ノ戦時名簿ヲ送付スヘシ

第七條 郡長ハ令狀送付證(第四様式)ヲ作り令狀ヲ町村長ニ送付スルニ方リ同時ニ送付スヘシ

第八條 師團長警視總監地方長官憲兵司令官及憲兵隊長ハ條例第四條ノ檢閲ヲ爲シタルトキ及爲サシメタルトキハ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ憲兵隊長ノ報告ハ憲兵司令官ヲ經由スヘシ

第九條 師團長ハ召集事務ニ關シ規定ヲ定メタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ其ノ規定ヲ公示シタル場合ニ於テハ仍其ノ旨ヲ報告スヘシ

第十條 本則中何日迄ニ何日以内ニ又ハ前何日ニ達、通知、送付、差出、報告スヘシトアルハ到達ノ期日ヲ謂フ

第十一條 本則中聯隊區司令官ノ職務ハ警備隊區ニ在テハ警備隊司令官又ハ警備隊區司令官、郡長ノ職務ハ島司ヲ置キタル島嶼ニ在テハ島司、島司又ハ郡長ヲ置カサル島嶼ニ在テハ島司又ハ郡長ニ準スヘキ者、北海道ノ區制ヲ施行セサル地方ニ在テハ支廳長、市長ノ職務ハ東京市、京都市、大阪市及北海道沖繩縣ノ區ニ在テハ區長、島司、郡長又ハ之ニ準スヘキ者、大隅、大分、島嶼ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者、町村長ノ職務ハ町村制ヲ施行セサル地方ニ在テハ町村長ニ準スヘキ者之ヲ行フ

第二章 充員召集

第一款 充員召集準備

第十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿、待命員名簿及充員召集令狀(第五樣式)ヲ受ケタルトキハ其ノ令狀ヲ充員召集名簿ニ照較シ、動員ノ區分ニ從ヒ各別(郡長ニ在テハ先ツ動員ノ區分ニ從ヒ町村又ハ之ニ準スヘキモノ毎二分ヲ袋ニ納レ)ニ袋ニ納レ保管スヘシ

第十三條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿、待命員名簿訂正ノ通知及其ノ訂正ニ伴フ令狀ヲ受ケタルトキハ該名簿ヲ訂正シ令狀ハ前條ノ例ニ依リ保管スヘシ不用ニ歸シタル令狀アルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

第十四條 郡市長ハ演習召集教育召集中ノ者及短期在營ノ現役兵ニシテ入營中ノ者ノ充員召集令狀ハ其ノ召集又ハ入營期間別ニ保管スヘシ

第十五條 郡市長ハ在郷軍人死亡簿籍其ノ他異動ノ届書ヲ受ケタルトキハ充員召集名簿、待命員名簿ヲ訂正シ其ノ届書ニ令狀ヲ添ヘ聯隊區司令官ニ送付スヘシ但シ管内ニ於テ轉籍シタル者又ハ氏名ヲ變更シタル者ニ在テハ名簿及令狀ヲ訂正スヘシ

第十六條 警視總監、地方長官ハ集合場ニ於ケル召集事務所ノ準備ニ關シ師團長ヨリ通知ヲ受ケタルトキハ相當ノ處置ヲ爲スヘシ

第十七條 地方長官(東京府ニ在テハ警視總監)ハ軍用旅舎ヲシテ召集實施ニ方リ二十日間旅舎ニ掲クヘキ看板及標旗(第六樣式)又ハ標燈(第七樣式)ヲ準備セシムヘシ但シ平常之ハ掲ケシムルモ妨無シ

第十八條 地方長官(東京府ニ在テハ警視總監)ハ師團長ノ通知ニ基キ必要ノ事項ヲ警察署長及警察分署長ニ指示シテ集合場ニ於ケル召集事務所其ノ他必要ノ地ニ警察官吏ヲ派遣スルノ準備ヲ爲サシムヘシ但シ憲兵ノ配置アル地方ニ在テハ警察官吏ヲシテ豫メ之ヲ協議セシムヘシ

第十九條 憲兵ハ警察官吏ト協議シテ集合場ニ於ケル召集事務所其ノ他必要ノ地ニ部下憲兵ヲ派遣スルノ準備ヲ爲スヘシ但シ衛戍地ニ於ケル召集事務所ニ關シテハ憲兵ノ任務トシテ準備スヘキモノトス

第二款 充員召集實施

第二十條 郡市長ハ動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ到着日數ヲ動員令ニ示ス動員第一日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ令狀表面到着日時ヲ記入スヘキ空位ニ記入シ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ之ヲ各自ニ交付スヘシ但シ第十四條ニ依リ保管スル令狀ハ此ノ限ニアラス

汽車汽船ニ乘ルヘキ日時ヲ記入スヘキ令狀ニハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ之ヲ記入スルモノトス

第二十一條 町村長ハ郡長ヨリ令狀ヲ受ケタルトキハ直ニ豫定ノ方法ヲ以テ之ヲ各自ニ

交付スヘシ

第二十二條 郡長ハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ傷疾疾病其ノ他ノ事故ニ因リ應召スルコト能ハサル者事故止ミ町村長ニ届出テタル場合ニ於テ之ヲ出發セシムヘキ最終期日ヲ町村長ニ達スヘシ

第二十三條 市町村長ハ令狀ノ交付ヲ終リタルトキハ直ニ其ノ發送及交付ヲ終リタル月日時刻及交付人員ヲ市長ハ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ
市町村長ハ令狀ノ受領證ニ依リ令狀ヲ交付シタル者ノ人名及其ノ召集部隊ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名及事由ヲ市長ハ聯隊區司令官及憲兵又ハ警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ
前三項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ前項ノ例ニ依リ報告及通知スヘシ

第二十四條 市町村長ハ傷疾疾病犯罪所在不明等ノ爲應召スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上其ノ届書ハ毎日之ヲ取纏メ市長ハ聯隊區司令官ニ町村長ハ郡長ニ差出シ令狀ハ之ヲ保管スヘシ又其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

前項ノ應召スルコト能ハサル者其ノ事故止ミ市町村長ニ届出タルトキハ市長ハ聯隊區司令官ノ町村長ハ郡長ノ通達ニ基キ出發セシムヘキ期日前ナルトキハ其ノ令狀ノ餘白ニ事由及出發日時ヲ記シ之ヲ本人ニ交付シテ出發セシメ期日後ナルトキハ其ノ出發ヲ

差止メ其ノ旨ヲ市長ハ聯隊區司令官及憲兵又ハ警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第二十五條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及應召セサル爲返付ヲ受ケタル令狀アルトキハ市長ハ其ノ人名及事由ヲ待命員名簿ニ記入シ其ノ令狀ハ召集期日後二十五日以内ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ町村長ハ其ノ令狀ヲ取纏メ召集期日後十五日以内ニ郡長ニ差出スヘシ

市長ハ第十四條ニ依リ保管スル令狀アルトキハ前項ノ令狀ト共ニ送付スヘシ

第二十六條 市町村長ハ令狀ノ受領證ヲ編綴シ召集期日後三十日間保存スヘシ

第二十七條 郡長ハ第二十三條第一項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ一表ニ作り之ニ令狀ノ發送ヲ終リタル月日時刻及各町村長ノ令狀ヲ受領シタル月日時刻ヲ記入シ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第二十八條 郡長ハ第二十三條第三項第四項及第二十四條ノ報告及届書ヲ受ケタルトキハ毎日之ヲ取纏メテ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第二十九條 郡長ハ第二十五條ノ令狀ヲ受ケタルトキハ其ノ人名及事由ヲ待命員名簿ニ記入シ其ノ令狀ハ召集期日後二十五日以内ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第三十條 憲兵又ハ警察官吏ハ動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ軍用旅舎ニ動員ヲ令セラレタル旨ヲ告知シ看板及標旗又ハ標燈ヲ掲ケシムヘシ

第三十一條 憲兵及警察官吏ハ豫定ノ召集事務所其ノ他必要ノ地ニ出張シ應召員ニ便宜ヲ與フヘシ但シ停車場司令部ノ設ケアル停車場ニ在テハ該司令官ノ指揮ヲ受クヘシ

第三十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者及復員ニ先チ召集ヲ解除セラレタル者ノ人名及事由ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ待命員名簿ニ記載(後備役補充兵役又ハ兵役ニ堪ヘサル者ヲ除ク)シ郡長ハ其ノ人名及事由ヲ町村長ニ達シ市長ハ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十三條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十四條 憲兵及警察官吏ハ復員令ノ者無カラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ必要ニ應シ其ノ景況ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三十條 警視總監地方長官憲兵隊長及聯隊區司令官ノ復員令ヲ通達スルニハ電信ヲ川井ス使丁又ハ郵便ニ依ルヲ例トス

第三十六條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ復員ニ方リ召集ヲ解除セサル者召集ヲ解除スルモ販郷セシメサル者ヲ包含ス)ノ人名及事由又ハ召集中部隊ヲ變更シタル爲召集解除ノ期日ヲ異ニスル者又ハ復員ニ方リ現役ヨリ豫備役後備役ニ轉入スヘキ者ノ人名ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十七條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第三十八條 憲兵及警察官吏ハ復員令ノ達ヲ受ケタルトキハ復員令ノ者無カラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ必要ニ應シ其ノ景況ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第三十九條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ補充召集令狀ヲ受ケタルトキハ直ニ待命員名簿ニ照較シ該名簿ニ召集部隊及到着期日ヲ記入シ郡長ハ其ノ令狀ヲ町村長ニ送付シ市長

ハ其ノ令狀ヲ各自ニ交付スヘシ

待命員名簿ニ記載セサル者ヲ召集スル場合ニ於テハ前項ニ依リ該名簿ニ記載スヘシ

第四十條 補充召集ニ關シテハ第二十一條乃至第二十四條第二十五條第一項第二十六條乃至第二十八條第二十九條第三十二條乃至第三十四條及第三十六條乃至第三十八條ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第四十一條 郡長ハ聯隊區司令官ヨリ第一國民兵役ニ轉入スヘキ者ノ人名書ヲ受ケタルトキハ之ヲ十月三十一日迄ニ町村長ニ達スヘシ

第四十二條 郡市長ハ聯隊區司令官ヨリ國民軍編入ヲ許可セラレタル指令ノ送付ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十三條 町村長ハ前條指令ノ送付ヲ受ケタルトキハ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十四條 市町村長ハ國民兵ノ現在員國民兵役ニ轉入スヘキ者及國民軍編入ヲ許可サントナル者ニ基キ國民兵人員表(第八様式)及退役將校名簿(第九様式)ヲ作り市長ハ十一月三十日迄ニ警視總監地方長官及聯隊區司令官ニ町村長ハ十一月十五日迄ニ郡長ニ差出スヘシ

第四十五條 郡長ハ前條ノ人員表及名簿ニ基キ國民兵人員表及退役將校名簿ヲ作り十二月三十日迄ニ警視總監地方長官及聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第四十六條 郡長ハ聯隊區司令官ヨリ第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第四十七條 市町村長ハ第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受ケタルトキハ之ニ

第七類 第三章 陸軍召集條例施行細則

第九二一

依テ其ノ人名及其ノ他ノ事項ヲ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第四十八條 市町村長ハ退役將校同相當官准士官ノ増減アリタルトキハ市長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第四十九條 郡長ハ前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第五十條 市町村長ハ應召員ヲ其ノ集合場ニ引率スルニ方リ應召員ノ人名書退役將校名簿第一國民兵名簿及應召員ノ戰時名簿ヲ携帶スヘシ

第五十一條 警視總監地方長官ハ師團長ヨリ國民兵召集ノ通知ヲ受ケタルトキハ所定ノ國民軍ヲ成立セシムル爲第一條ニ依リ計畫準備シタル事項ノ外臨機適應ノ處置ヲ爲スヘシ

第五章 演習召集教育召集

第五十二條 師團長ハ演習又ハ教育ノ爲召集スヘキ者ノ兵種階級及兵役年級ヲ聯隊區司令官ニ達ス聯隊區司令官ハ之ニ該當スル者ヲ調査シ其ノ管内ニ本籍ヲ有スル者及寄留ノ者ヲ區別シタル人員將校同相當官及士官ニ任スル爲演習ニ召集スヘキ者ハ人名以下同シヲ師團長ニ報告ス師團長ハ之ニ依テ少クモ召集期日前二十日ニ召集ノ日時兵種階級人員日數及部隊ヲ定メテ之ヲ諸部團隊長ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

又聯隊區司令官ノ報告ハ所管師團長ニ差出スヘシ該師團長ハ之ヲ召集部隊所管ノ師團長ニ送付スヘシ

第五十三條 師團長ハ師管内ニ演習召集ヲ爲スヘキ部隊無キ者アルトキハ演習ヲ爲サシ

メントスル部隊所管ノ師團長ニ協議シテ召集日時等ヲ定メ前條第一項ノ例ニ依リ聯隊區司令官ニ達スヘシ部隊所管ノ師團長ハ之ヲ部隊長ニ達スヘシ

第五十四條 師團長ハ士官ニ任スル爲演習ニ召集スヘキ者ノ中他ノ師管ニ居住ノ者ヲ召集スルニハ召集ノ日時人員日數及部隊ヲ定メ少クモ召集期日前二十五日ニ木人居住地所管ノ師團長ニ通知スヘシ該師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ其ノ居住地本籍地師管ナラサルトキハ仍本籍地所管ノ師團長ニ通知スヘシ本籍地所管ノ師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第五十五條 聯隊區司令官ハ第五十二條乃至第五十四條ノ達ニ基キ速ニ召集名簿(第十樣式)及令狀(第十一樣式)ヲ作り其ノ令狀ハ直ニ郡市長ニ送付シ其ノ名簿ハ召集期日前日ヨリ到着時刻迄ノ間ニ於テ召集部隊長ニ送付スヘシ名簿調製後發送迄ノ間ニ異動ヲ生シタルトキハ該名簿應否事故ノ區畫ニ記入シ爾後ニ生シタル異動ニシテ必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ

第五十六條 師團長ハ召集延期又ハ事故ニ因リ應召ヲ遲延スル者ノ最終ノ出發期日ヲ定メテ聯隊區司令官ニ達シ應召員中途中ニ於テ傷疾疾病ニ罹リ到着ヲ遲延スル者アリタルトキ之ニ坂郷ヲ命スヘキ期日ヲ定メテ召集部隊長ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第五十七條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第五十八條 師團長聯隊區司令官ハ召集延期ヲ許可スルニ方リ其ノ期ノ召集ニ應ゼシメサル者ノ指令ニハ令狀ヲ市町村長ニ返付スヘキコトヲ附記スヘシ

第五十九條 師團長ハ進級ノ爲又ハ事故ノ爲召集日數ヲ増加スヘキ者アルトキハ召集部隊長ヲシテ之ヲ各自ニ達セシムヘシ

第六十條 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ヲ召集セントスルトキハ召集ノ日時日數及部隊ヲ將校同相當官ニ在テハ寄留地ノ師團長ヨリ本籍地所管ノ師團長ニ准士官以下ニ在テハ寄留地所管ノ聯隊區司令官ヨリ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ
第六十一條 召集部隊長ハ召集期日ニ至レハ召集事務所ヲ開設シ應召員到着スルトキハ直ニ身體検査ヲ行ヒ召集名簿ニ應召不應召其ノ他ノ事故ヲ記シ之ヲ召集期日後三日以内ニ聯隊區司令官ニ宛發送スヘシ

傷疾疾病ニ因リ演習又ハ教育ニ堪ヘサル者ハ軍隊手牒ニ其ノ旨ヲ記シテ飯郷セシメ召集期日後三日以内ニ其ノ診斷證書(常備役後備役補充兵役又ハ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル)ヲ聯隊區司令官ニ宛發送スヘシ

第一項ニ依リ名簿發送後召集ニ應シタル者アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ其ノ召集ニ應シタル者ニ就テハ前二項ノ手續ニ依ルヘシ

第六十二條 召集部隊長ハ應召員中途ニ於テ傷疾疾病ニ罹リ到着ヲ遲延スル者アリタルトキハ師團長ノ達ニ基キ之ニ飯郷ヲ命ジ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第六十三條 聯隊區司令官ハ召集名簿中ニ他ノ聯隊區ノ者アリタルトキハ第六十一條第六十二條ノ通知ニ基キ其ノ應召不應召ヲ直ニ其ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ本籍地所管ノ聯隊區司令官ハ應召シタル者ノ人名召集期日及日數ヲ郡市長ニ通知ス

スヘシ

第六十四條 聯隊區司令官ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ノ人名及事由並應召セサル者ノ中其ノ届書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第六十五條 郡市長ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第六十六條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第六十七條 召集部隊長ハ召集中ノ者ニシテ父母ノ疾病危篤又ハ死亡其ノ他止ムヲ得サル事故ノ爲休暇ヲ願出ツル者ニ許可ヲ與フルニ方リ其ノ休暇中ニ召集解除ヲ爲スヘキ者ハ直ニ召集ヲ解除スヘシ

第六十八條 召集部隊長ハ演習又ハ教育ヲ終リタルトキハ軍隊手牒ニ所要ノ記入ヲ爲シ在ルヤ否ヲ點檢シテ召集ヲ解除スヘシ

第六十九條 召集部隊長ハ令狀ニ指定スル期日ニ召集ヲ解除(召集ヲ解除スルモ歸郷セシメサル者ヲ包含ス)セサル者アルトキハ其ノ人名事由及解除期日ヲ聯隊區司令官ニ通知シ召集解除ヲ延期スル者ノ中其期日ヲ豫定スルコト能ハサル者ニ在テハ召集ヲ解除(召集解除後ノ者ニ歸郷ヲ命スルヲ包含ス)スルトキ更ニ其ノ通知ヲ爲スヘシ士官ニ任スル爲ノ演習召集ヲ本籍地及寄留地ニアリサル師管ニ於テ行フ場合ニ於テハ居住地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ
前項ニ該ル者ノ居住地本籍地及寄留地所管ノ聯隊區(警備隊區ヲ包含ス)ナラサルトキハ仍本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ
寄留地ニ於テ召集ニ應シタル者ノ中期日ニ先チ召集ヲ解除スル者アルトキハ仍本籍地

所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第七十條 聯隊區司令官ハ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ
前條第三項ノ通知ヲ受ケタルトキ亦同シ

第七十一條 郡市長ハ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長
ハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第七十二條 町村長ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ
第七十三條 演習召集教育召集ニ關シテハ第二十三條第二十四條第二十五條第一項第二

十六條乃至第二十八條第二十九條第一項及第三十四條ヲ準用ス但シ郡長ハ令狀ヲ町村
長ニ郵送シタル場合ニ於テハ第二十七條ニ依リ送付スル表中ニ其ノ旨ヲ附記シ市町村
長ノ第二十三條第二項ニ依リ令狀ヲ交付シタル人名及其ノ召集部隊ヲ通知スルニハ召
集日數ヲ附記スルモノトス

第七十四條 聯隊區司令官ハ郡市長ヨリ令狀ノ送達ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ一表
ニ作り之ヲ師團長ニ差出スヘシ

第六章 補缺召集

第七十五條 師團長ハ補缺召集ヲ行フニハ歸休兵ノ兵種等級人員召集部隊到着日時ヲ定
メ召集部隊長及聯隊區司令官ニ達スヘシ

師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サントスルトキハ其ノ所管
師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第七十六條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ヲ受ケタルトキハ補缺召集令狀(第十一様式ニ準ス)
ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付シ充員召集名簿又ハ待命員名簿ヲ訂正スヘシ

第七十七條 郡市長ハ補缺召集令狀ヲ受ケタルトキハ其ノ召集ヲ令セラレタル者ノ充員
召集令狀ハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付シ充員召集名簿又ハ待命員名簿ヲ訂正スヘシ

第七十八條 補缺召集ニ關シテハ第二十三條第二十四條第二十五條第一項第二十六條乃
至第二十八條第二十九條第三十條第三十四條第五十六條乃至第五十八條第六十一條第一
項第三項第六十二條第六十四條乃至第六十六條及第七十四條ヲ準用ス但シ郡長ハ令狀
ヲ町村長ニ郵送シタル場合ニ於テハ第二十七條ニ依リ送付スル表中ニ其ノ旨ヲ附記ス
ルモノトス

第七章 簡閱點呼

第七十九條 師團長ハ簡閱點呼執行官ニ當該聯隊區司令部書記一名ヲ附屬セシメ點呼ニ
關スル庶務ヲ處理セシムヘシ

第八十條 師團長ハ簡閱點呼執行官ノ官氏名ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ
第八十一條 師團長ハ簡閱點呼ヲ省略スル場合ニ於テハ其ノ狀況ヲ悉シテ陸軍大臣ニ報
告スヘシ

第八十二條 聯隊區司令官ハ簡閱點呼開始前三十日ニ條例第七十二條ノ手續ヲ爲スヘシ
但シ點呼場間ノ里程及參會人員ニ應シ成ルヘク半日間ニ點呼ヲ結了シ他ノ半日ハ旅行
ニ充ツルヲ要ス

第八十三條 聯隊區司令官ハ第十二様式ニ依リ點呼令狀ヲ作ルヘシ

第八十四條 聯隊區司令官ハ各點呼場參會人員概算表及點呼名簿ヲ作り簡閱點呼執行官
ニ送付スヘシ但シ名簿ハ點呼場毎ニ各別ニ作り逐次ニ送付スルモ妨無シ
第八十五條 市町村長ハ令狀ヲ受ケタルトキハ簡閱點呼期日前十五日ニ之ヲ各自ニ交付

シ終ルヘシ

第八十六條 市町村長ハ簡閱點呼ノ免除又ハ猶豫ヲ受ケタル者アルトキハ前條令狀ノ交付ヲ終リタルトキ其ノ人名ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十七條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十八條 市町村長ハ傷疾疾病犯罪所在不明等ノ爲簡閱點呼ニ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メテ其ノ人名及事由ヲ憲兵又ハ警察官吏ニ通知スヘシ

第八十九條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及傷疾疾病其ノ他ノ事故ニ因リ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ携ヘ點呼場ニ於テ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ簡閱點呼參列ノ爲出發後點呼時刻迄ニ受ケタル届書及令狀ハ點呼ヲ終ル迄ニ之ヲ差出スヘシ

第九十條 市町村長ハ簡閱點呼ニ參列スルニ方リ在郷軍人名簿ヲ携帯スヘシ

第九十一條 簡閱點呼執行官ハ呼名點檢ヲ行ヒ平常ニ於ケル異動取扱ノ確否其ノ他所要ノ調査ヲ爲シ參會者ニ必要ノ訓示ヲ與フヘシ

第九十二條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十三條第一項第二十六條第二十七條第三十四條及第七十四條ヲ準用ス

第九十三條 屯田兵下士兵卒ノ演習召集簡閱點呼ニ關シテハ第七師團長本則ニ準シ適宜

附 則

第九十三條 屯田兵下士兵卒ノ演習召集簡閱點呼ニ關シテハ第七師團長本則ニ準シ適宜

其ノ方法ヲ規定シ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第九十四條 本則ハ明治三十二年十月二十日ヨリ施行ス但シ師團長ハ七箇月以内一部ノ施行ヲ延期シ舊則ニ依ルコトヲ得

第一様式

助 第 號

何師團動員(何師團何動員)ヲ令セラル動員第一日ハ何月何日ナリ

明治 年 月 日

師團長(地方長官)(憲兵隊長)(聯隊區司令官氏名)

- 一 發簡番號ノ符號動ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得
- 二 何動員ノ何ハ動員ノ區分ヲ示ス符號ニシテ此ノ符號ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 三 電文中ニ數字ヲ記スニハ假名字ヲ用非其ノ下ニ括弧ヲ置キ之ニ同一ノ數字ヲ記入スヘシ
- 四 電文中ニハ發簡番號及發信年月日ヲ記入セス又發信者ハ官名又ハ職名ノミヲ記シ其ノ氏名ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二様式

ダイサン(三)シグンドウインチレイセラルドウインダイイナ(一)ニチハク(九)ゲツイナ(一)ニチナリ○シヅガカケンチシ

第三師團動員ヲ令セラル動員第一日ハ九月一日ナリ

静岡縣知事

本様式ハ静岡縣知事返電ノ例ヲ示ス

第三樣式

勅 號 通	
受領時刻	年月 日 午前 時 分
受領證	

- 一 封筒用紙ハ適宜ニシテ紅色トス
- 二 勅ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得

第四樣式

勅 號

何師團何動員充員召集令狀何通入
(點呼令狀何通入)

右送付ス

明治 年 月 日

何 郡 長

- 一 發簡番號ノ符號勅ノ字ノ下ニ適宜ノ符號ヲ記入スルコトヲ得但シ勅ノ字ヲ附スル

第五樣式

- 一 充員召集令狀送付ノトキニ限ル
- 二 何動員ノ何ハ動員ノ區分ヲ示ス符號ニシテ此ノ符號ハ必要ニ應ジ記入スルモノトス

表

(尺曲)分五寸七

受領證

一 何月何日何隊へ召集ノ(何隊へ召集ノ爲何月何日何集合場へ到
著スヘキ)充員(補充)召集令狀

右受領ス

明治 年 月 日 午前(後) 時 分

兵役員(兵種等級等何補充兵何兵)何某

召集通報人其ノ他本人ニ代リ受領シタル者ハ左ニ署名捺印ヲ爲ス

何聯隊區司令部 御中

四寸五分(曲尺)

充員(補充)召集令狀

何府縣郡市町村

(兵役員(兵種等級) 何 某)

面

(尺曲)寸四

右充員(補充)ノ爲何部隊ヘ召集ヲ令セラルル明治何年何月何日午何時(午前八時ヨリ午後四時)迄ニ何地ニ到着シ此ノ令狀ヲ以テ當該部隊(集合場)召集事務所ニ届出ツヘシ

但何月何日午何時何分何驛(何港)發ノ汽車(汽船)ニ乗ルヘシ

何聯隊區司令部

召集ニ應スル爲汽車(汽船)ニ乗ルヘキ者ハ指定ノ日時場所以外ニ於テハ乗車(乗船)ノ準備無キヲ注意スヘシ

乗車(乗船)切符ヲ求ムルトキ及乗車(乗船)スルトキハ此ノ令狀ヲ係員ニ示スヘシ

五寸(曲尺)

- 一 用紙ハ適宜ニシテ紅色トス
- 二 字及番地ハ必要ニ應シ記入スルモノトス
- 三 到着地ハ何市何區何町又ハ何國何郡何町村ノ何所ト詳密ニ記載スヘシ
- 四 但書及關外記註ハ一例ヲ示シタルニ過キス聯隊區司令部ニ於テ必要ト認メタル事項ヲ記入スヘキモノトス

第五様式

裏

召集旅費金何圓何拾錢

右何所ニ於テ支給ス依テ此ノ令狀ヲ係員ニ示シテ受領スヘシ代人ヲシテ受領セシムルトキ爲シ得レハ其ノ委任狀中ニ召集部隊及到着地ヲ記入スヘシ

面

- 一 色ハ適宜トス
- 二 聯隊區司令部ニ於テハ令狀裏面ニ應召員及應召員ニ代リ令狀ヲ受領スヘキ者ノ心得ト爲ルヘキ事項ヲ記入スルコトヲ得

